

トリニトロン® カラーテレビ

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



警告

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いが示されています。この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

FD Trinitron **WEGA**



**KV-28DR7/KV-32DR7/
KV-36DR7**

見る

テレビ/BS放送を見る	4
画質を選ぶ(お好み画質).....	6
映像に合ったリアル高画質で見る(DRC-MFモード切換)...	7
節電しながら見る(消費電力).....	8
ワイド画面を楽しむ.....	9
自動でワイド画面にする(オートワイド).....	9
手動でワイド画面に切り換える(ワイド切換).....	10
2画面で見る(2画面).....	11
画面サイズを変える(左拡大/右拡大).....	11
操作する画面を選ぶ(左操作/右操作).....	12
チャンネルを一覧表示する(インデックス).....	14
メモするために画面を静止させる(メモ).....	15
テレビにつないだ機器の画像を見る	16

調整する / 設定する

オートワイドの設定を変える	17
オートワイドの設定について.....	17
オートワイドを設定する/切る	19
画質を調整する	20
音質を調整する	22
音声を切り換える(二重音声).....	23
画面の上下位置/縦サイズを調整する	24
BS放送を録画/予約録画する(BS固定).....	25
自動で電源を切る(オフタイマー).....	27
時刻を設定し表示する	27

テレビの接続と準備

付属品を確かめる	29
接続と準備の早わかり	30
手順1：テレビアンテナをつなぐ	32
手順2：BSアンテナをつなぐ	34
手順3：チャンネルを設定する	35
自動設定する	35
手動設定する	36
手順4：BS受信の設定をする	38
BSアンテナ電源を設定する	38
BSアンテナの向きを調整する	39
数字ボタンの組み合わせでチャンネルを選ぶ(10キー選局).....	40
ゴーストの少ない画像にする(ゴースト・リダクション).....	42
画像の傾きを補正する	43

他機との接続

接続端子の名前とはたらき	45
ビデオをつなぐ	47
BSデコーダー(WOWOW)をつなぐ	51
MUSE-NTSCコンバーターをつなぐ.....	54
デジタルCSチューナーをつなぐ.....	56
テレビゲームをつなぐ	57
DVDプレーヤーをつなぐ	58
オーディオ機器をつなぐ.....	59

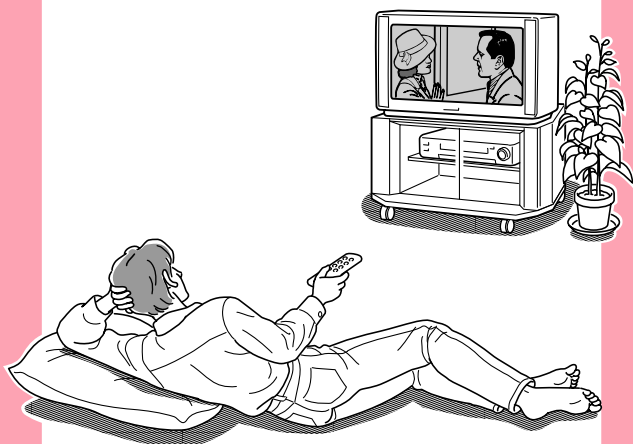
その他

故障かな?と思ったら	60
自己診断表示—画面が消え、スタンバイ/オフタイマーランプが点滅したら ...	60
本機の症状と対処のしかた	61
ブラウン管表面のお手入れについて	64
保証書とアフターサービス	64
主な仕様	65
用語集	66
各部の名前/Identifying parts and controls	68
メニュー一覧	70
索引	71

見る

ここでは、通常のテレビやBS放送をはじめ、ビデオやテレビゲームなどテレビにつないだ機器の映像を見るときに操作を説明しています。

画質を選んだり、節電しながら見たり、ワイド画面や2画面・多画面で見たりするなど、多彩な機能の操作も説明しています。



テレビ/BS放送を見る



消音ボタン
一時的に音を消すときに押します。もう1度押すか、音量+ボタンを押すと音が出ます。

画面表示ボタン
チャンネル表示を出すときに押します。もう1度押すと表示は消えます。

チャンネル数字ボタンには、暗い場所でも操作しやすいように、ほのかに青白く光る蓄光材が入っています。そのため、太陽光や明るい照明の下などに約10分間以上置くと光が蓄えられ、暗くなると数時間光り続けます。暗い場所に放置したときは、光りません。



ちょっと一言

- スタンバイ/オフタイマーランプが点灯しているときは、リモコンのチャンネル数字ボタンやチャンネル+/- ボタン、インデックスボタンを押すと自動的にテレビの電源も入ります(チャンネルポン機能/インデックスポン機能)。

- 省電力のため、放送が終了して(または放送のないチャンネルにしたまま)約10分過ぎると、「オートシャットオフ」と表示されて自動的にスタンバイモードになります。

1

テレビの電源を入れる。



スタンバイ/オフタイマー



スタンバイ/オフタイマーランプが赤く点灯しているときは
リモコンの電源スイッチを押す。

電源

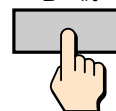


スタンバイ/オフタイマー



スタンバイ/オフタイマーランプが消えているときは
テレビ本体の電源スイッチを押す。

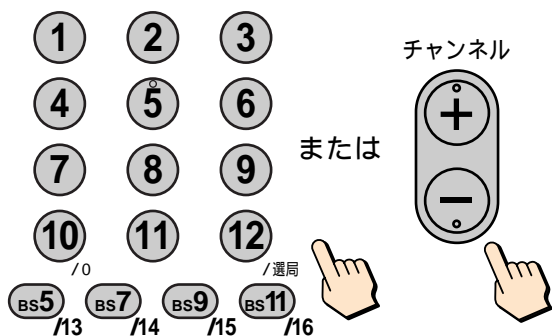
電源



2

チャンネル数字ボタンでチャンネルを選ぶ。

チャンネル+/- ボタンでもチャンネルを選べます。



BS放送は以下のチャンネルになります。

見たい放送	押すボタン
WOWOW (BS5)* ¹	BS5 /13
NHK衛星第一 (BS7)	BS7 /14
ハイビジョン放送 (BS9)* ²	BS9 /15
NHK衛星第二 (BS11)	BS11 /16

*¹ BSデコーダー(WOWOW)の電源を入れてください。なお、WOWOWは、別途WOWOWと受信契約し、専用のBSデコーダー(WOWOW)が必要です。

*² BS9ボタンを押してハイビジョン放送を見るには、別売りのMUSE-NTSCコンバーターが必要です(☎54ページ)。通常のテレビ放送(NTSC)と同じ画質で、見ることができます。1999年5月現在、BS9チャンネルで実用化試験局によるハイビジョン放送が行われています。

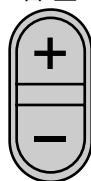
3

音量 +/- ボタンで音量を調節する。

ちょっと一言

音量表示の横にある数値も調節の目安になります。

音量

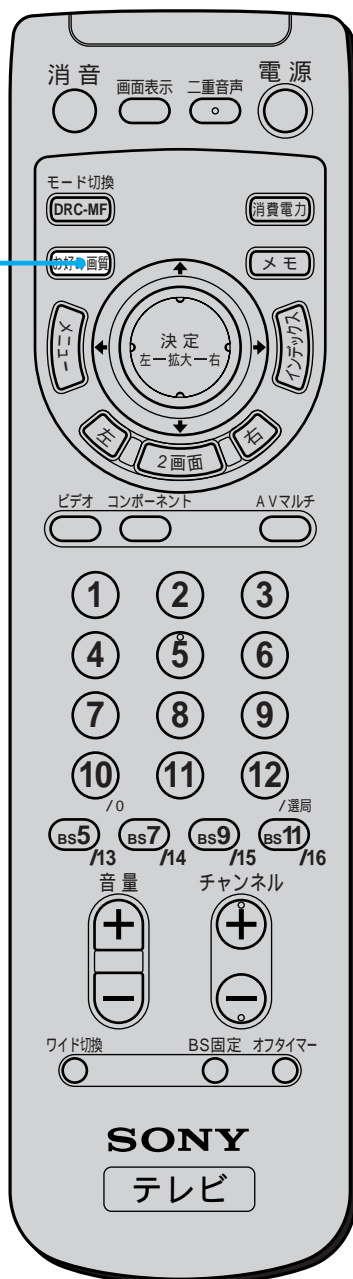


画質を選ぶ

(お好み画質)

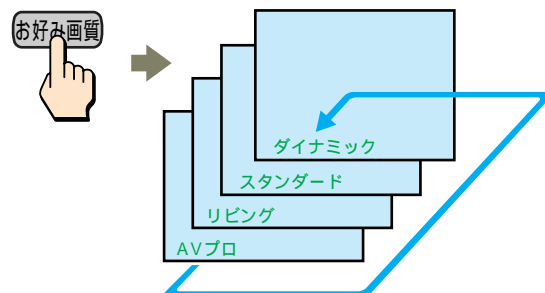
お好み画質ボタンを押すだけで、部屋の明るさや映像の内容に合わせた画質設定を選べます。また、「リビング」や「AVプロ」を選ぶと、画質をより細かく調整できます(☞20ページ)。ご家庭で通常ご覧になるときは、「リビング」を選ぶことをおすすめします。

お好み画質
ボタン



お好み画質ボタンをくり返し押す。

1回押すと、現在の画質設定が表示されます。その後、押すたびに、次のように変わります。



ダイナミック

映像の輪郭とコントラストを最大限に上げたメリハリの非常に強い画質になります。

スタンダード

明るめの部屋に合わせたコントラスト感のある画質になります。

リビング

明るさや色あい、色の濃さなど基本的な調整ができます(☞20ページ)。「標準」では、標準的な部屋の明るさに合わせた適度なコントラストのある画質になります。

AVプロ

色温度や黒補正など、よりきめ細かな調整ができます(☞20ページ)。「標準」では、コントラストと輪郭強調を抑えて、オリジナルにできるかぎり忠実な、DRC(☞7ページ)の性能をより引き出した画質になります。

映像に合ったリアル高画質で見る

(DRC-MFモード切換)

本機搭載の高画質回路「DRC-MF」(デジタル・リアリティー・クリエーション:マルチファンクション)で、大画面で気になる画像の粗さをなくし、きめ細かくて質感のあるリアルな画像を楽しめます。

通常ご覧になるときは、お買い上げ時の設定であるDRC4倍密(標準)モードのまま、お楽しみください。よりきめ細かく自然な映像をお楽しみいただけます。静止画の文字などのチラツキが気になるときは、DRCプログレッシブモードに切り換えてください。

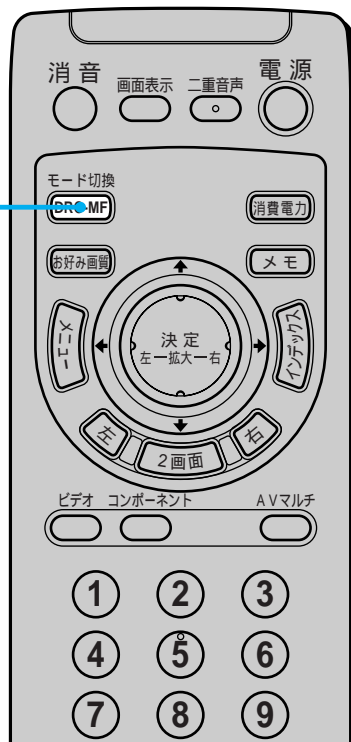
DRC4倍密(標準)モード

通常のNTSC映像を4倍の情報量で映し出し、きめ細かく自然な映像にします。

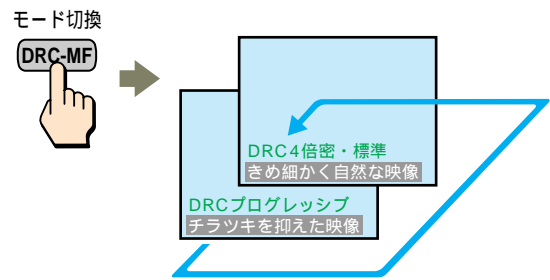
DRCプログレッシブモード

順次走査(プログレッシブ)を行い、チラツキを抑えた映像にします。

DRC-MF
モード切換
ボタン

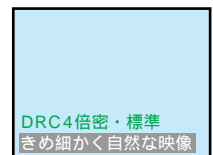


DRC-MFモード切換ボタンをくり返し押す。

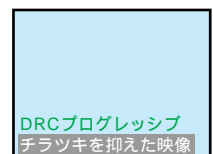


この画像のときは この画面表示を選ぶ

テレビやBS放送、ビデオなどの一般的な映像を見るとき



静止画の文字やグラフィックス、細かい横線などが多い映像で、部分的な映像の揺れやチラツキが気になるとき



ちょっと一言

メニュー画面でも操作できます。メニュー画面の「」(画質/音質)から、「DRC-MF」を選び、「DRC4倍密・標準」か「DRCプログレッシブ」を選んでください。

ご注意

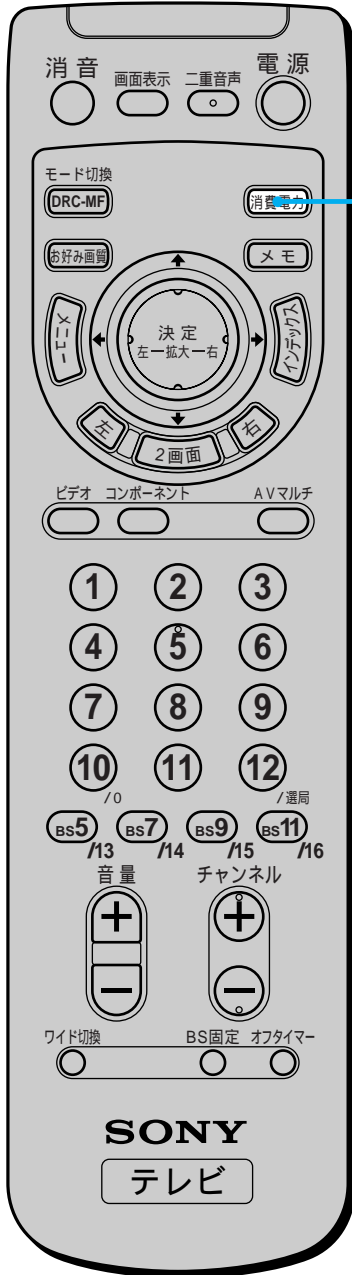
- 2画面やインデックス画面、メモ画面のときは、DRC-MFモード切換ボタンは働きません。
- AVマルチ入力端子につないだ機器の映像のときは、DRC-MFモード切換ボタンが働かないことがあります(☎57ページ)。

映像がざらついて見えるときは

受信信号の状態が良くないときに、ざらついて見えることがあります。好み画質ボタンを押して「リビング」または「AVプロ」を選んでから、画質調整のメニュー画面で「シャープネス」を弱めてください(☎20ページ)。

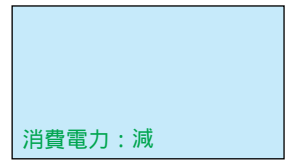
節電しながら見る (消費電力)

画面の明るさを下げて、節電しながら見る
ことができます。



消費電力
ボタン


消費電力ボタンを押す。
節電中になります。



節電をやめるには

もう1度、消費電力ボタンを押す。
「消費電力:標準」と表示されます。

ちょっと一言

- 「消費電力:減」のときに電源を切ると、次に電源を入れたときも「消費電力:減」のままになります。
- メニュー画面でも操作できます。メニュー画面の「 (各種切換)」から、「消費電力」を選び、「標準」か「減」を選んでください。
- お好み画質で「リビング」または「AVプロ」を選んでいるときは、「消費電力:減」でも、画質を調整できます(20 ページ)。ただし、「ピクチャー」や「明るさ」を上げると節電にならなくなる場合があるため、おすすめしません。

ワイド画面を 楽しむ

自動でワイド画面にする (オートワイド)

通常のテレビ放送も、ワイドクリアビジョン放送や映画など横長サイズの映像も、下のイラストのように、本機が最適な画面モードを選び、横縦比16:9のワイド画面いっぱい自動的に拡大します。これをオートワイド機能と言います。下の例では、お買い上げ時の設定*を示しています。

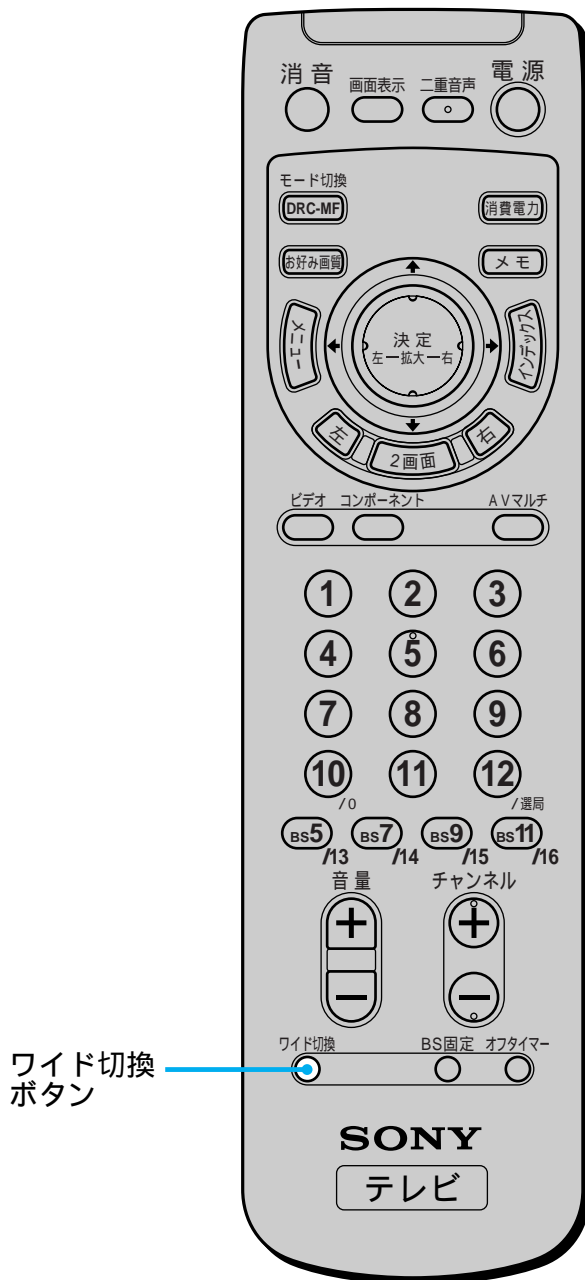
* お買い上げ時は、オートワイドの「2」で、「4:3映像」が「ワイドズーム」に設定されています(☎17ページ)

オリジナルの映像(映像の種類)	画面モード	オートワイドの映像
<ul style="list-style-type: none"> 通常のテレビやBS放送 (画面横縦比4:3) 	ワイド ズーム になる	違和感少なく画面 いっぱいに拡大し ます。
<ul style="list-style-type: none"> ワイドクリアビジョン放送 (横縦比16:9) ビスタビジョンなど映像中に 字幕が入った横長の映画 (横縦比1.85:1) 横縦比情報の入ったDVDソフ トの映像(ID-1方式) 	ズーム になる	画面の左右に合わせ ていっぱいに拡大し ます。(映像の種類 によって、上下に黒 い帯が残ることがあ ります。)
<ul style="list-style-type: none"> シネマビジョンなど映像の外 に字幕のある横長の映画 (横縦比2.35:1) 	字幕入 になる	画面の左右に合わせ ていっぱいに拡大し ながら、字幕部分だ けを圧縮して画面に 入れます。
<ul style="list-style-type: none"> 横縦比情報の入ったビデオカ メラやDVDソフトなどの映 像(ID-1方式やS1方式) 	フル になる	天地はそのまま、 左右を画面いっぱ いに引き伸ばします。
<ul style="list-style-type: none"> オートワイドの「2」で、「4:3 映像」を「ノーマル」(お買い上 げ時は「ワイドズーム」)に設 定したとき(☎17~19ペー ジ) 	ノーマル になる	拡大せずに、横縦比 4:3のままの映像に なります。

ワイド画面を楽しむ (つづき)

手動でワイド画面に切り換える (ワイド切換)

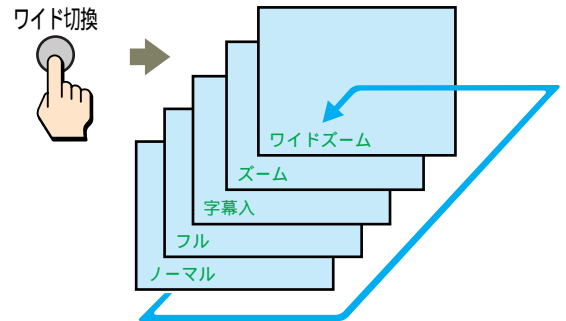
オートワイド機能とは別に好きな画面モードを手動でも選べます。また、電波の受信状態が悪いときや暗い映像のときは、オートワイドが正しく働かないことがあります。このときも、手動で画面モードを切り換えてください。



ワイド切換
ボタン

ワイド切換ボタンをくり返し押す。

1回押すと、映像のサイズや種類に応じて、本機が最適な画面モードをすばやく選んで表示します*。その後、押すたびに、次のように画面モードが変わります。画面モードの詳しい説明については、⑨9ページをご覧ください。



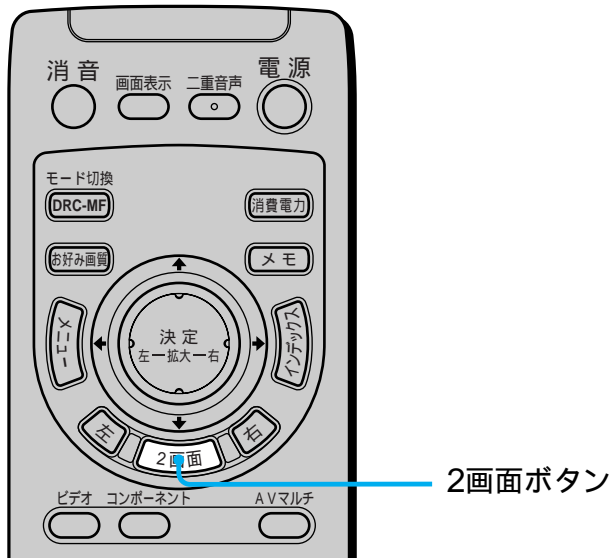
* オートワイド「2」で、「4:3映像」を「ノーマル」に設定しているとき(⑨19ページ)は、ワイド画面にならないで、画面横縦比4:3の映像のまま(「ノーマル」のまま)になります。

ちょっと一言

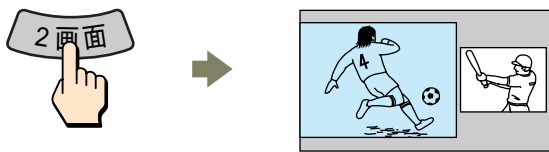
手動でワイド画面を楽しむときは、あらかじめ、オートワイドを切っておいてください(⑨19ページ)。

2画面で見る(2画面)

左右の画面サイズを変えて、2つのチャンネルを同時に見ることができます。また、通常のテレビやBS放送と、テレビにつないだビデオなどの画像も同時に見ることができます。



2画面ボタンを押す。
もう1度押すと、1画面に戻ります。

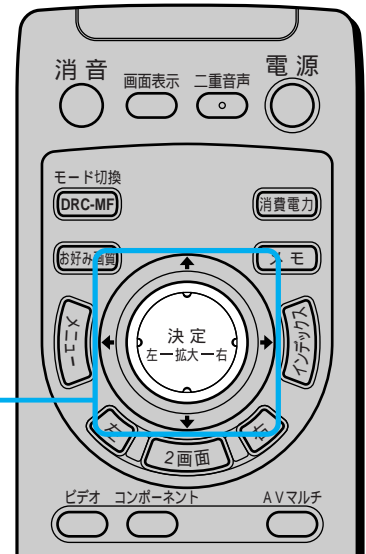


ご注意

- 次の画像は、2画面で同時に見ることはできません。
 - 同じテレビ(VHF/UHF)チャンネル
 - 同じまたは別々のBSチャンネル(BSチューナー内蔵ビデオでBS放送を受信し、その画像を本機のビデオ入力に選べば、表示できます。)
 - 同じ入力の画像(ビデオ1とビデオ1など)
 - コンポーネント入力とAVマルチ入力の画像の組み合わせ
- コンポーネント入力端子とAVマルチ入力端子からの映像は左画面にのみ表示されます。

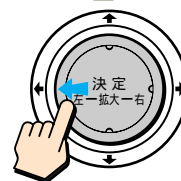
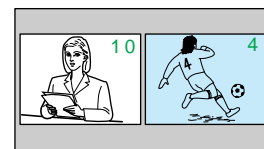
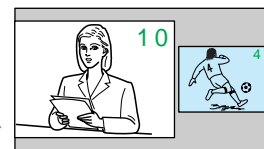
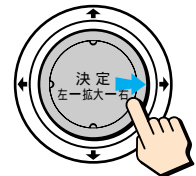
画面サイズを変える(左拡大/右拡大)

左拡大(←)/
右拡大(→)



大きくする側に←/→を押し続け、希望のサイズになったら指を離す。

右画面拡大(左画面縮小)



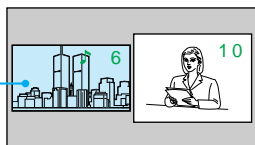
左画面拡大(右画面縮小)

2画面で見る (つづき)

ご注意

- 2画面の映像は録画できません。BS/ビデオ出力端子からは、通常は左画面の映像/音声を出力します。BS固定時(☞25ページ)は、固定したBSチャンネルの映像/音声を出力します。ただし、コンポーネント入力端子につないだ機器の映像は、常に出しませんが、お買い上げ時は、ビデオ1入力端子につないだ機器の映像は、出力しない設定になっています(☞48ページ)。
- 操作画面(ヘッドホンモード「1」のとき)またはスピーカーから音声がでている画面(ヘッドホンモード「2」のとき)で放送が終了すると、両画面とも自動的に消音します。1画面に戻してから、終了していないチャンネルを選ぶと音が出ます。また、省電力のため、操作画面で放送が終了して(または放送のないチャンネルにしたまま)約10分過ぎると、「オートシャットオフ」と表示されて、自動的にスタンバイモードになります。
- 2画面のまま電源を切り、再び電源を入れると1画面に戻ります。
- 2画面では、オートワイド機能は動きません。ただし、左画面では、識別制御信号のある映像はワイド映像のまま表示されます。

識別制御信号
のある映像



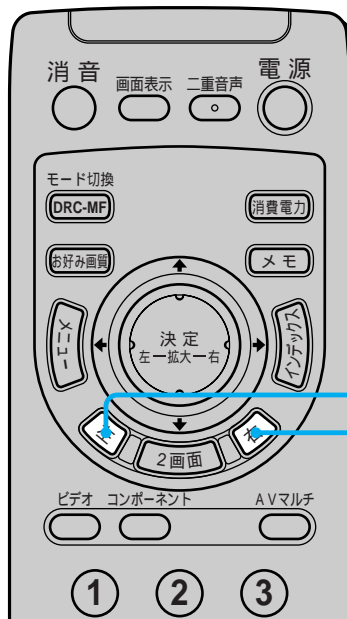
ちょっと一言

左右の画面サイズを変えたときは、その大きさを本体が記憶するため、再び2画面にしたときに、その大きさで表示します。

操作する画面を選ぶ(左操作/右操作)

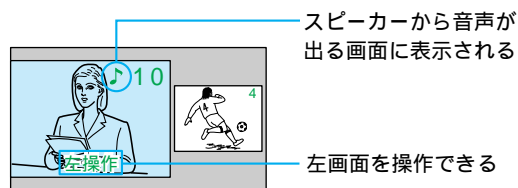
チャンネルや入力を選んだり、音量を調節できる画面(操作画面)を選びます。

2画面を表示した直後は、左画面が操作画面になっています。また、操作画面の音声がスピーカーから出ます(ヘッドホンの音声が☞13ページ)。



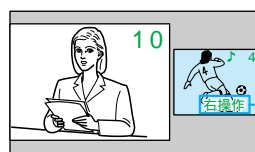
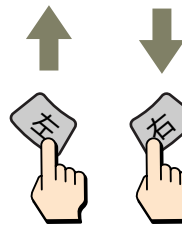
左・右ボタン

操作したい側のボタン(左・右ボタン)を押す。



スピーカーから音声が
出る画面に表示される

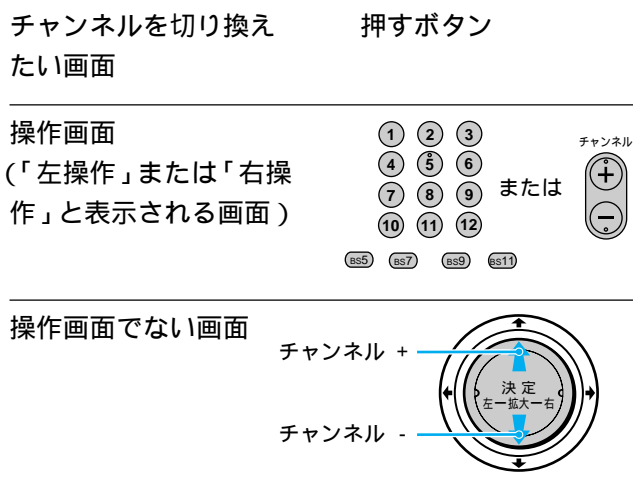
左画面を操作できる



右画面を操作できる

2画面でチャンネルを選ぶには

どちらの画面もそれぞれ別々にチャンネルを選べます。



ちょっと一言

メニュー画面でも操作できます。メニュー画面の「 (2画面)」から、「操作入替」を選び、「左操作」か「右操作」を選んでください。

ヘッドホンの音声を選ぶには

スピーカーから音声を出さずにヘッドホンで聞いたり、ヘッドホンとスピーカーで左右画面の音声を別々に出したりできます。ヘッドホンモードを設定してください。

ヘッドホンモード「1」にすると
操作画面の音声がヘッドホンから聞こえます。
スピーカーからは音声は出ません。
左・右ボタンを押すと、ヘッドホンの音声も切り換わります。

ヘッドホンモード「2」にすると
ヘッドホンとスピーカーから左右それぞれの画面の音声が別々に出ます。
設定後は、左・右ボタンを押して操作画面を切り換えても、ヘッドホンの音声は切り換わりません。

- 1 ヘッドホンモードを「2」に設定するとき
は、左・右ボタンを押して、スピーカーで音声を聞く画面を選ぶ。
(「1」に設定するときには、この操作は不要です。)
- 2 メニューボタンを押して、メニューを出す。
- 3 で「 (2画面)」を選び、真ん中を押しこんで決定する。
- 4 で「ヘッドホンモード」を選び、真ん中を押しこんで決定する。
- 5 で「1」または「2」を選び、真ん中を押しこんで決定する。
「2」を選んだときは、ヘッドホンからはスピーカーとは逆の画面の音声が出ます。
- 6 メニューボタンを押して、メニューを消す。

ちょっと一言

ヘッドホンを抜くと、「ヘッドホンモード」の設定によって、次の音声がスピーカーから出ます。

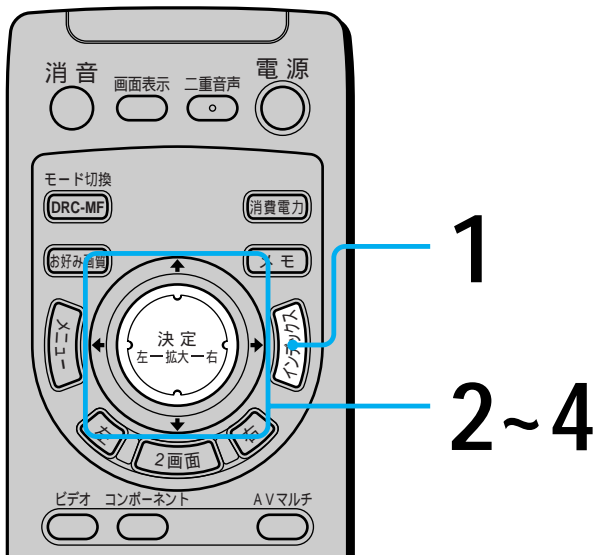
- 「1」のとき:ヘッドホンで聞いていた音声
- 「2」のとき:そのままのスピーカーの音声

チャンネルを一覧表示する (インデックス)

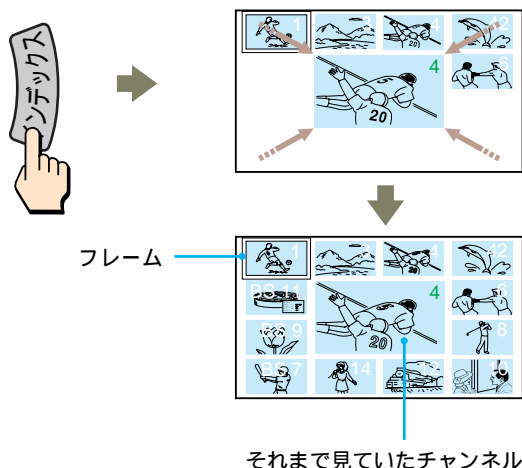
見ているチャンネルのまわりに12画面を表示し、その中から見たいチャンネルをカーソル(↑/↓/←/→)で選んで決定すると、そのチャンネルが中央にズームアップして音声も切り換わります。番組内容のチェックやチャンネル選びが、より簡単に楽しくできます。

ご注意

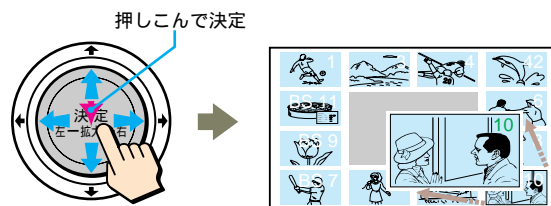
インデックスボタンを押す前に、チャンネル設定しておいてください(☞35ページ)。



1 インデックスボタンを押す。
画面が動画のまま縮小し、周囲に時計まわりで、あらかじめ受信設定されたチャンネルが、12画面まで順番に表示されます。



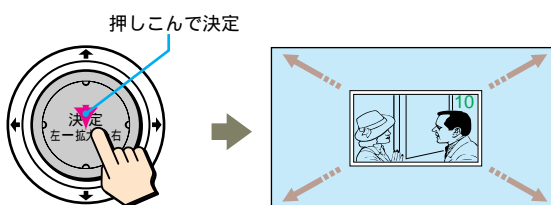
2 ↑/↓/←/→で周囲の見たいチャンネルにフレームを合わせて、真ん中を押しこんで決定する。
選んだチャンネルが中央にズームアップして、音声も切り換わります。



3 他のチャンネルを見たいときは、手順2をくり返す。
↑/↓/←/→で再びフレームを周囲の画面に移動すると、画面中央にはインデックス画面にしたときのチャンネルが表示されます。

手順2で選んだチャンネルを1画面で見るときは
手順4へ進んでください。

4 真ん中を押しこんで決定する。
中央のチャンネルがズームアップして、1画面になります。



途中でインデックス画面を消すときは
インデックスボタンを押すと、インデックス画面にしたときのチャンネルの1画面になります。

ご注意

- インデックス画面は録画できません。BS/ビデオ出力端子からは中央画面の映像/音声のみ出力されます。
- BS/ビデオ出力端子からの信号を録画しているときに、インデックス画面の操作をすると、出力される信号が切り換わることがあります。
- インデックス画面表示中に、チャンネルを選んだり、入力を切り換えたりすると、1画面に戻って、そのチャンネルまたは入力になります。
- 2画面のときにインデックスボタンを押すと、操作画面が中央に移動します。ただし、「ヘッドホンモード」が「2」で(㊦13ページ)ヘッドホンをつないでいると、スピーカーから音声が出ている画面が中央に移動します。
- 中央画面で放送が終了すると、省電力のため、約10分過ぎると、「オートシャットオフ」と表示されて、自動的にスタンバイモードになります。
- BS固定時(㊦25ページ)は固定されたBSチャンネルのみインデックス画面に表示されます。
- 画面中央にBSチャンネルが映っているときは、BSチャンネルはそのチャンネルのみが、インデックス画面に表示されます。
- WOWOWはスクランブルがかかったまま表示されることがあります。

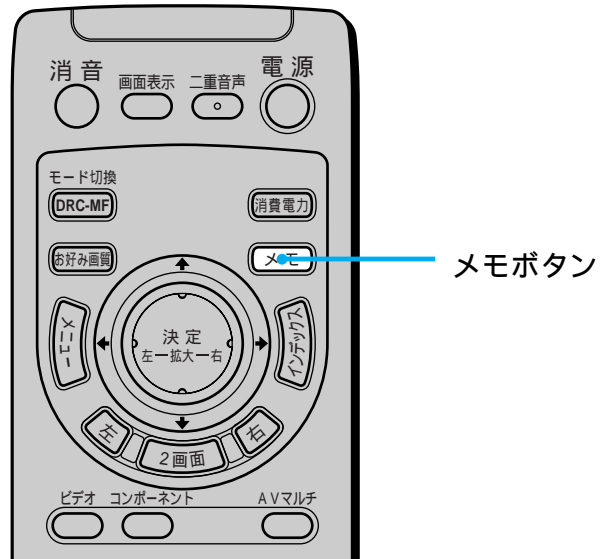
ちょっと一言

- スタンバイ/オフタイマーランプ点灯中にインデックスボタンを押すと、電源が入り、インデックス画面が表示されます(インデックスポン機能)。見たい番組が決まっていないときに便利です。
- チャンネルが13以上設定されているときは、左上の画面から順に上書きされます。
- インデックス画面は、ワイド切換ボタン(㊦10ページ)で「ノーマル」または「フル」に切り換えられます。

メモするために 画面を静止させる

(メモ)

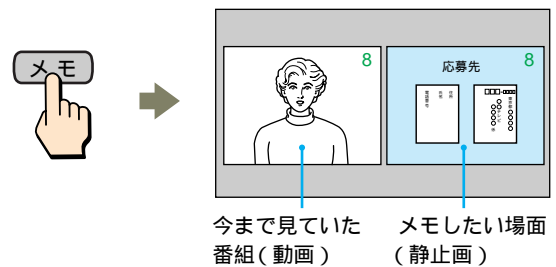
視聴者プレゼントの応募先や料理の材料など、メモしたい場面を静止画で確認できます。同時に今まで見ていた番組もお楽しみいただけます。



メモボタン

メモしたい場面で、メモボタンを押す。

2画面になり、メモしたい場面が右に出ます。もう1度押すと、1画面に戻ります。

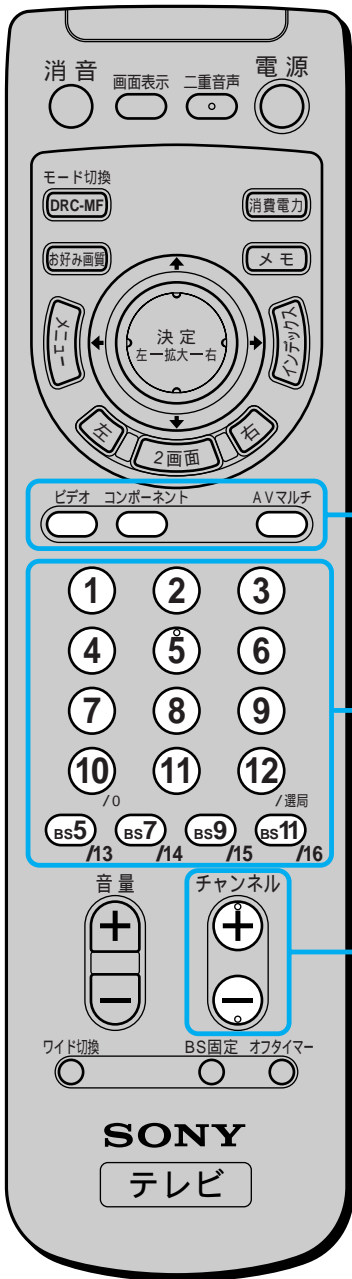


ご注意

- 2画面やインデックス画面を見ているときは、メモはできません。
- メモ中に、チャンネルや入力を切り換えると、1画面に戻ります。
- 省電力のため、左の通常画面で放送が終了して(または放送のないチャンネルにしたまま)約10分過ぎると、「オートシャットオフ」と表示されて、自動的にスタンバイモードになります。

テレビにつないだ機器の画像を見る

入力を切り換えて、テレビにつないだビデオ機器やテレビゲーム、デジタルCS放送などの画像を見ることができます。接続のしかたについては、47～59ページをご覧ください。



1

チャンネル数字ボタン

チャンネル +/- ボタン

1 入力切替用のボタンを押して、見たい画面を選ぶ。

各ボタンを押すたびに、それぞれの端子につないだ機器の画像に切り換わりま

押すたびに	以下につないだ機器の画像になります。	画面表示も変わります。
	• ビデオ1入力端子	ビデオ1*2
ビデオ	• ビデオ2入力端子	ビデオ2*2
	• ビデオ3入力端子	ビデオ3*2
	• BSデコーダー/ビデオ4入力端子*1	ビデオ4
コンポーネント	• コンポーネント入力端子	コンポーネント*3
AVマルチ	• AVマルチ入力端子	AVマルチ

*1 お買い上げ時は、ビデオ4入力は選べない設定になっています。BSデコーダー/ビデオ4入力端子にビデオ機器などをつなぎ、「デコーダー/ビデオ」の設定を「ビデオ」に変えると選べます(48ページ)。

*2 S1映像端子につないでいるときは、「Sビデオ1」、「Sビデオ2」、「Sビデオ3」と表示されます。

*3 コンポーネント入力のD1映像入力端子につないでいるときは、「Dコンポーネント」と表示されます。

2 接続している機器を操作する。

詳しくは、各機器の取扱説明書をご覧ください。

テレビ画面に戻すときは

チャンネル数字ボタンまたはチャンネル +/- ボタンを押す。

ちょっと一言

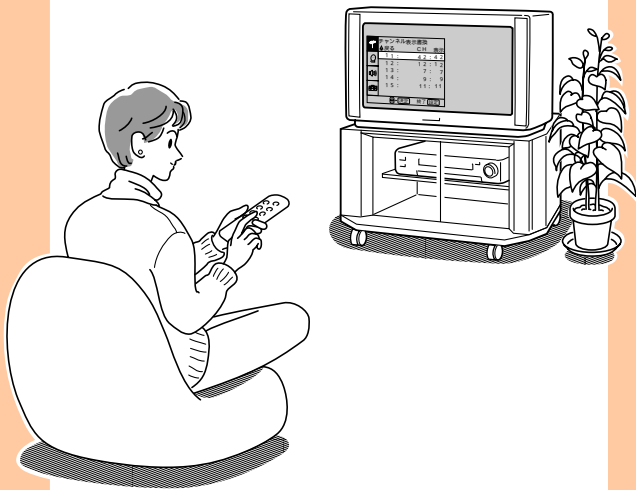
本体の入力切替ボタンをくり返し押して、入力を切り換えることもできます。

調整する/ 設定する

ここでは、画質や音質、および画面の位置やサイズなどを調整する応用的な操作を説明しています。

BS放送をビデオに録画したり、予約録画したりするときの操作も説明しています。

また、本機に内蔵されている時計を使って、自動的に電源を切ったり、時刻表示をしたりする操作も説明しています。



オートワイドの 設定を変える

オートワイドの設定について

オートワイドの設定には、「1」と「2」があります。

オートワイド「1」

テレビ放送では、ワイドクリアビジョン放送や一部の放送局の通常放送(4:3映像)には、映像を判別するための識別制御信号*1が、映像信号に重なって送られています。また、ビデオカメラなど一部のビデオ機器でも同様の識別制御信号が出力されています。

このような識別制御信号を判断して、忠実に再現するのが、オートワイドの「1」です。ただし、識別制御信号がないときに、手動で選んだ画面モードによっては、画面の周囲が黒くなったり、映像の一部が欠けたりすることがあります。

オートワイド「2」

次ページのように、識別制御信号の有無に関係なく、最適な画面モードに切り換えるのが、オートワイドの「2」です。

お買い上げ時はオートワイドの「2」(「4:3映像」の設定も「ワイドズーム」)に設定されています。

*1 識別制御信号とは、オリジナル映像の横縦比をテレビで忠実に再現するためのコントロール信号です。この信号を含んだ映像には、次のものがあります。

- ワイドクリアビジョン放送
- 横縦比情報の入ったビデオカメラなどの記録映像(ID-1方式やS1方式)
- 横縦比を4:3にする信号が入ったテレビ放送

オートワイドの設定を変える (つづき)

映像の種類による「1」と「2」の画面モードの違い

映像の種類	画面モード	
	オートワイド「1」	オートワイド「2」
通常のテレビやBS放送	ワイド切換ボタンで選んだ画面モード	「ワイドズーム」または「ノーマル」*2
横縦比を4:3(「ノーマル」)にする信号が入ったテレビ放送*3	「ノーマル」	「ワイドズーム」または「ノーマル」*2
映像中に字幕が入った横長の映画	ワイド切換ボタンで選んだ画面モード	「ズーム」
映像の外に字幕のある横長の映画	ワイド切換ボタンで選んだ画面モード	「字幕入」
ワイドクリアビジョン放送*3	「ズーム」	
横縦比を16:9(「ズーム」または「フル」)にする信号が入ったビデオカメラやDVDプレーヤー - などの映像(ID-1方式やS1方式)*3	「ズーム」または「フル」	
横縦比を4:3(「ノーマル」)にする信号が入ったビデオカメラやDVDプレーヤーなどの映像(ID-1方式やS1方式)*3	「ノーマル」	「ワイドズーム」または「ノーマル」*2

*2 メニューで設定します(☞19ページ)。お買い上げ時は「ワイドズーム」になっています。

*3 識別制御信号(☞17ページ)の入った映像です。

ちょっと一言

- ワイド切換ボタンで切り換えたあと(☞10ページ)などは、表のようにならないことがあります。
- オートワイドが働いているときにワイド切換ボタンを1回押すと(☞10ページ) 上記のオートワイド「1」、「2」にしたがって、オートワイドが働き続けます。その後、くり返し押すと、識別制御信号の有無により、次のようになります。
 - 識別制御信号のある映像を受信すると、信号に応じた画面モードに切り換わります。
 - 識別制御信号のない映像のときは、オートワイドを「2」に設定していても、オートワイドが働かなくなります。ただし、チャンネルや入力を変えたり電源を入/切したりすると、再び働きます。

オートワイドのときに画面モードが勝手に切り換わる時は

- 識別制御信号のある画像を受信して、自動的に信号に対応した画面モードになる(☞9ページ)ためです。

- オートワイド「2」のときは、CMが入ったり番組が変わったりするときなどに、画面サイズが変わって不自然に見えたり、変わるまでに数秒間かかったりすることがあります。番組に最適なワイド画面を本機が判断している(☞9ページ)ためです。

ワイド画面についてのご注意

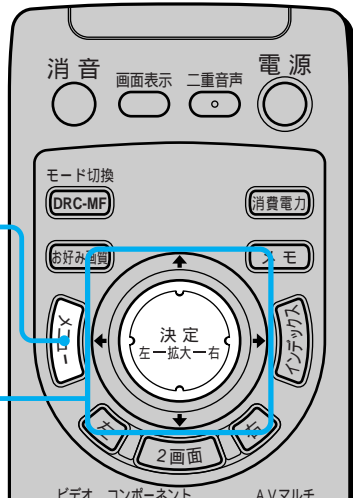
- このテレビは、各種の画面モード切り換え機能を備えています。テレビ番組などソフトの映像比率と異なるモードを選択されると、オリジナルの映像とは見え方に差が出ます。この点にご留意の上、画面モードをお選びください。
- このテレビを営利目的、または公衆に視聴させることを目的として喫茶店、ホテルなどに置き、画面モード切り換え機能等を利用して画面の圧縮や引き伸ばし等を行いますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。
- ワイド映像でない従来の4:3の映像を、ワイドズームモードを利用してテレビの画面いっぱいに表示してご覧になると、周辺画像が一部見えなくなったり変形して見えたりします。制作者の意図を尊重したオリジナルな映像はノーマルモードでご覧になれます。
- オリジナル映像のサイズや種類によっては、画面の上下が欠けたり、字幕が入りきらないことがあります。このときは、上下位置や縦サイズを調整してください(☞24ページ)。ただし、画面モードが「フル」と「ノーマル」のときは調整できません。

オートワイドを設定する/切る

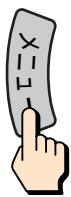
オートワイドについての詳しい説明は、P9ページをご覧ください。


1,8

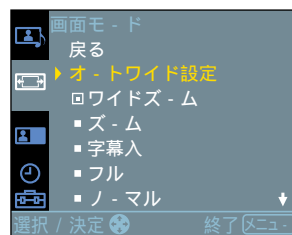
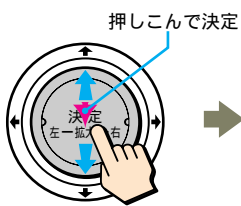
2~7



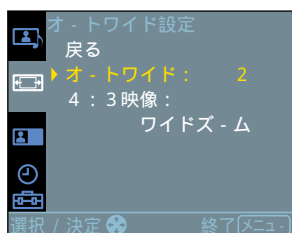
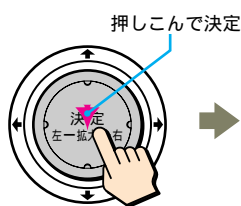
1 メニューボタンを押す。



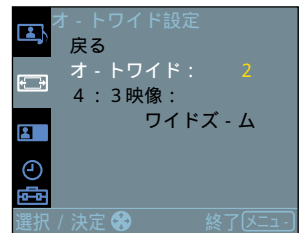
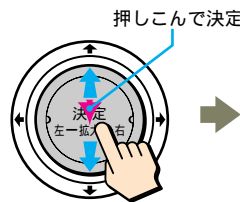
2 ▲/▼で「 (画面モード)」を選び、真ん中を押しこんで決定する。



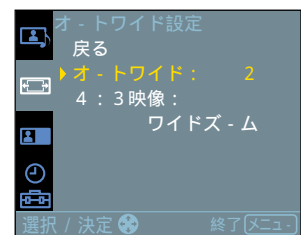
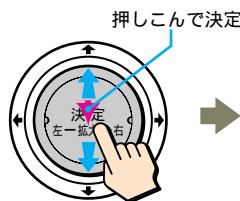
3 「オートワイド設定」を選んでい
ることを確認して、真ん中を押し
こんで決定する。
選ばれていないときは、▲/▼で選
び、真ん中を押しこんで決定する。



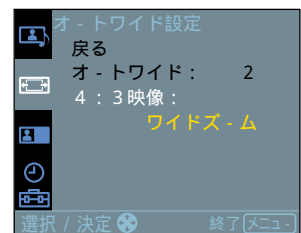
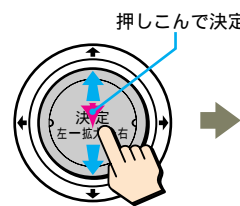
4 ▲/▼で「オートワイド」を選び、真ん中を押しこんで決定する。



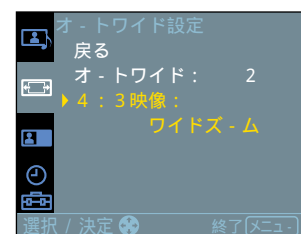
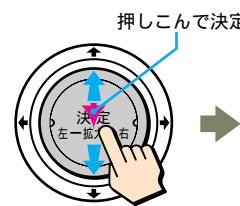
5 オートワイドを切るときは
▲/▼で「切」を選び、真ん中を押しこんで
決定する(手順8へ進んでください)。
オートワイドを「1」に設定するときは
▲/▼で「1」を選び、真ん中を押しこんで
決定する(手順8へ進んでください)。
オートワイドを「2」に設定するときは
▲/▼で「2」を選び、真ん中を押しこんで
決定する。



6 オートワイド「2」のときは、
▲/▼で「4:3映像」を選び、真ん
中を押しこんで決定する。



7 ▲/▼で「ノーマル」か「ワイド
ズーム」を選び、真ん中を押し
こんで決定する。



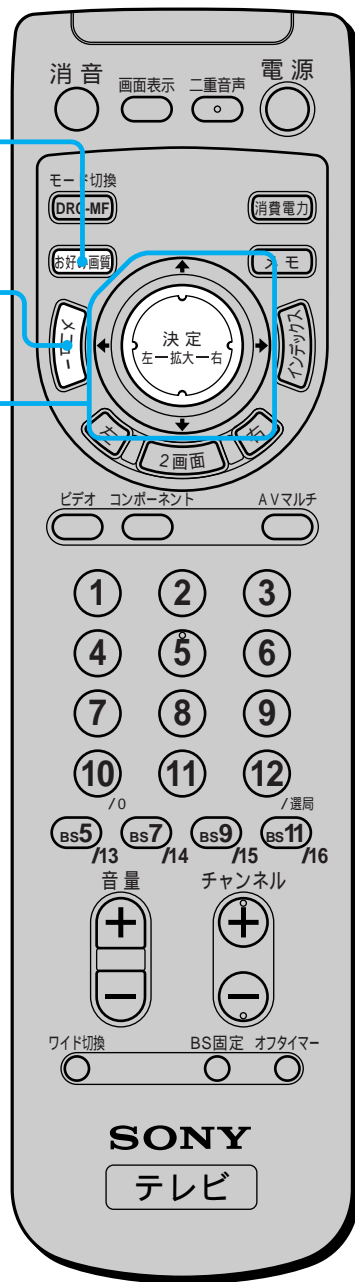
8 メニューボタンを押して、メ
ニューを消す。

調整する / 設定する

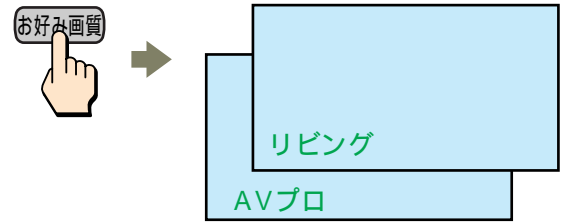
画質を調整する

お好み画質ボタンで「リビング」や「AVプロ」を選ぶ(⑥6ページ)と、画質をより細かく調整できます。画質は、入力切替用のボタンで選べる各入力ごとに設定できます(ただし、通常のテレビ放送とBS放送は共通の設定になります)。

1
2,8
3~7



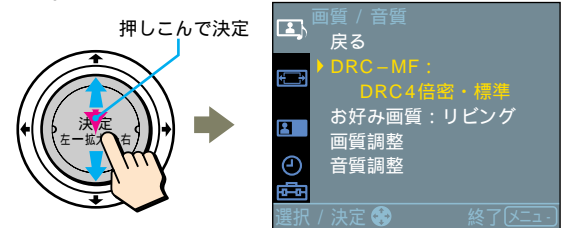
1 お好み画質ボタンをくり返し押しして、「リビング」または「AVプロ」を選ぶ。



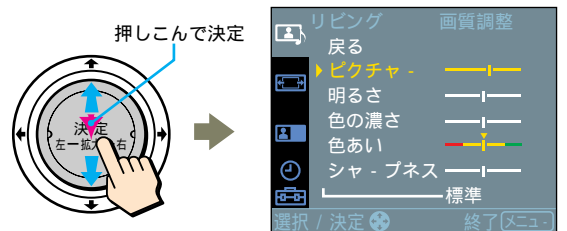
2 メニューボタンを押す。



3 ↑/↓で「画質/音質」を選び、真ん中を押しこんで決定する。



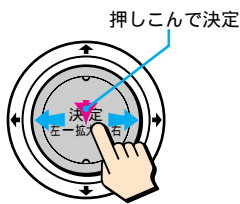
4 ↑/↓で「画質調整」を選び、真ん中を押しこんで決定する。



5 ↑/↓で調整したい項目を選び、真ん中を押しこんで決定する。



6 ◀/▶で調整し、真ん中を押しこんで決定する。



「リビング」 と 「AVプロ」 両方で調整できる項目



項目	◀を押すと	▶を押すと
ピクチャー	明暗の差が小さくなる	明暗の差が大きくなる
明るさ	暗くなる	明るくなる
色の濃さ	薄くなる	濃くなる
色あい	赤みがかかる	緑がかかる
シャープネス	映像の輪郭が柔らかくなる	映像の輪郭がくっきりする

ちょっと一言

調節バーの横に表示される数値も調節の目安になります。

「AVプロ」でのみ調整できる項目

▼を押し続けて「シャープネス」の下まで移動すると、以下の項目が調整できます。



項目	説明	選べる設定
ノイズリダクション NR*	通常は「入」にしておいてください。 「入」:映像のざらつきや色ノイズを軽減する(ゴーストなど電波障害は軽減されない)。 「切」:テレビにつないだ機器の元の映像信号(処理していないオリジナル信号)の状態を確認するときなどに選ぶ。ただし、映像のざらつきや色ノイズが強調されたり、色にじみが出ることもある。	入/切
ベロシティモジュレーション VM (速度変調)	映像の輪郭を強調する。	強/中/ 弱/切
色温度	「高」から「低」にしていくと赤みがかった暖かみのある色調になる。	高/中/低
ハイパー Hホワイト	白の鮮明さを強調する。	入/切
黒補正	黒を強調してコントラストを強くする。	強/中/ 弱/切
ガンマ補正	映像の明暗部分のバランスを調整する。	強/中/ 弱/切

* 通常のテレビ放送とBS放送、およびコンポーネント入力端子、AVマルチ入力端子につないだ機器の映像のときは、調整できません。
ビデオ1、2、3入力端子と、BSデコーダー/ビデオ4入力端子につないだ機器の映像のときは、調整できます。

7 他の項目を調整するときは、手順5と6をくり返す。

8 メニューボタンを押して、メニューを消す。

お買い上げ時の状態に戻すには

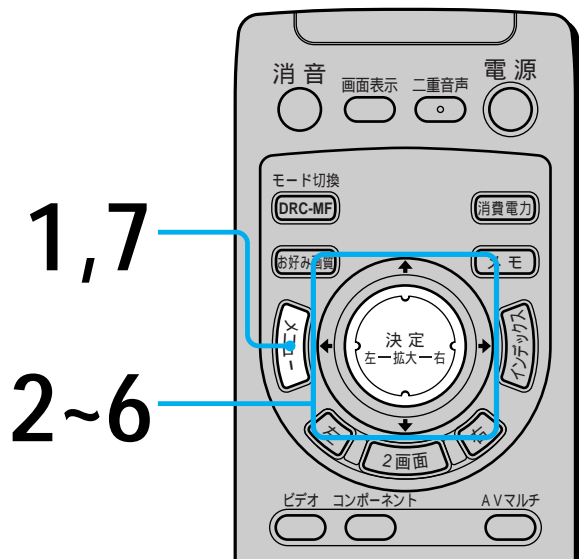
手順5で、「標準」を選び、真ん中を押しこんで決定する。

ご注意

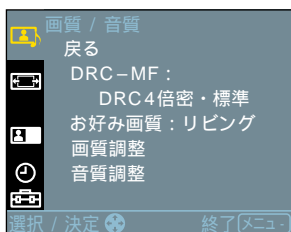
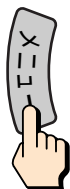
「ダイナミック」と「スタンダード」(㊦6ページ)では、画質調整できません。

音質を調整する

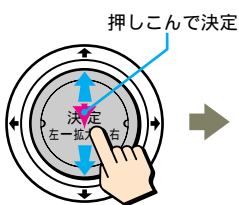
音質は、入力切替用のボタンで選べる各入力ごとに設定できます(ただし、通常のテレビ放送とBS放送は共通の設定になります)。



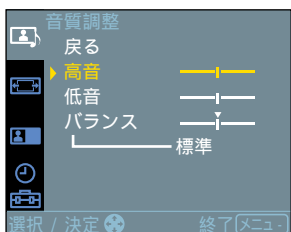
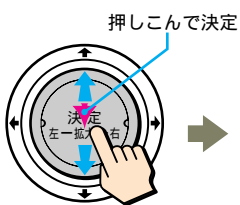
1 メニューボタンを押す。



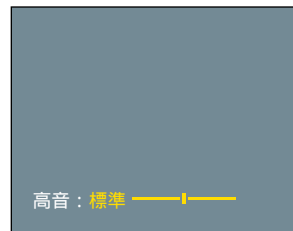
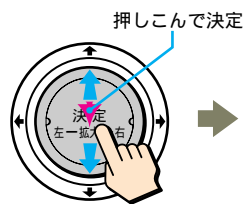
2 ↑/↓で「画質/音質」を選び、真ん中を押しこんで決定する。



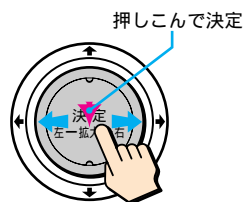
3 ↑/↓で「音質調整」を選び、真ん中を押しこんで決定する。



4 ↑/↓で調整したい項目を選び、真ん中を押しこんで決定する。



5 ←/→で調整し、真ん中を押しこんで決定する。



項目	←を押すと	→を押すと
高音	弱くなる	強くなる
低音	弱くなる	強くなる
バランス	左スピーカーの音が強くなる	右スピーカーの音が強くなる

ちょっと一言

調節バーの横に表示される数値も調節の目安になります。

6 他の項目を調整するときは、手順4と5をくり返す。

7 メニューボタンを押して、メニューを消す。

お買い上げ時の状態に戻すには

手順4で、「標準」を選び、真ん中を押しこんで決定する。


ご注意

ヘッドホンの音質調整はできません。ヘッドホンで聞いているときに音質調整をすると、ヘッドホンを抜いたときに出るスピーカーからの音が調整されます。

それぞれの音を聞き取りやすくする (音像定位エンハンサー機能)

テレビの音源は左右2つずつのスピーカーですが、画像に映った人の声や楽器などの音のイメージ(音像)を、それぞれがそこにあるかのようにするのが「音像定位エンハンサー」です。

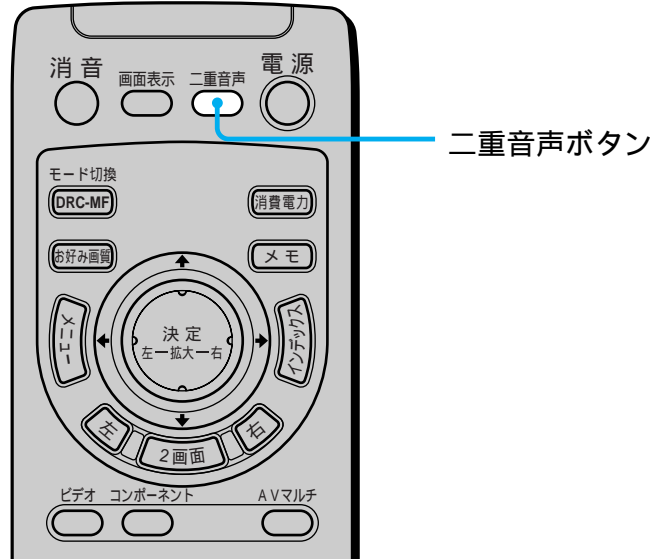
お買い上げ時は、「強」に設定されています。「弱」にして効果を少し弱めることもできますが、通常は「強」のまま使うことをおすすめします。

- 1 メニューボタンを押して、メニューを出す。
- 2 ▲/▼で「 (各種切替)」を選び、真ん中を押しこんで決定する。
- 3 ▲/▼で「音像定位」を選び、真ん中を押しこんで決定する。
- 4 ▲/▼で「強」または「弱」を選び、真ん中を押しこんで決定する。
- 5 メニューボタンを押して、メニューを消す。

音声を切り換える

(二重音声)

二か国語放送など二重音声放送のときに、聞きたい音声を選べます。



調整する / 設定する

二重音声ボタンをくり返し押す。

押すたびに下表のように切り換わります。



画面表示	左スピーカーの音声	右スピーカーの音声
主	主音声	主音声
副	副音声	副音声
主/副	主音声	副音声



例:「主/副」を選んだとき

ちょっと一言

2画面のときは、操作画面の音声切り換わります。

次のページにつづく

音声を切り換える (つづき)

VHF/UHFのステレオ放送で雑音が気になるときは

音声をモノラルにして、チャンネルごとに雑音を軽減できます。

本体のボタンを使います。

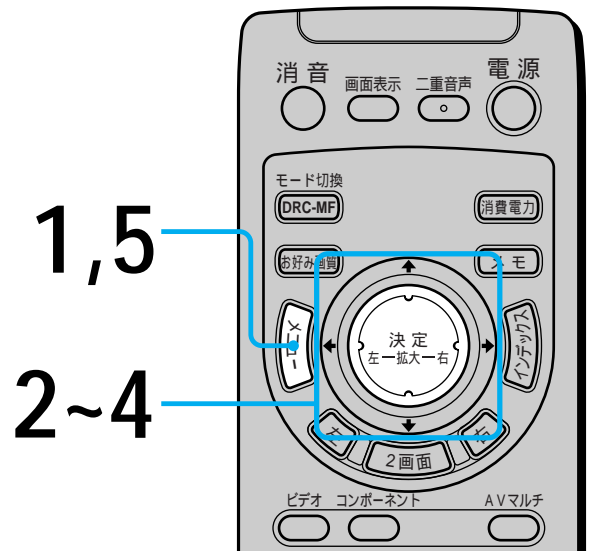
- 1 雑音の多いチャンネルを映した状態で、設定ボタンを押して、設定メニューを出す。
- 2 選択 \uparrow/\downarrow ボタンで「 $\left(\right)\left(\right)\left(\right)$ 」(音声設定)を選び、決定ボタンを押す。
- 3 「オートステレオ」が選ばれていることを確認して、決定ボタンを押す。
- 4 選択 \uparrow/\downarrow ボタンで「切」にして、決定ボタンを押す。
- 5 設定ボタンを押して、設定メニューを消す。

画面の上下位置/縦サイズを調整する

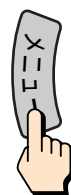
ワイド画像で次のようなときは、画面位置の上下や縦サイズを、画面モード(9ページ)ごとに調整できます。

- 「ワイドズーム」や「ズーム」で画面を見やすい位置にしたいとき
- 「字幕入」で字幕が画面に入りきらないとき

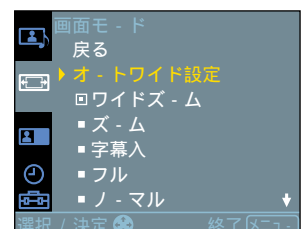
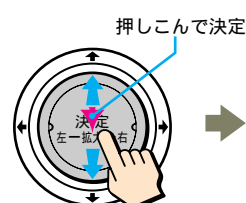
「フル」と「ノーマル」の画面モードでは調整できません。



- 1 調整したい画面を映した状態で、メニューボタンを押す。



- 2 \uparrow/\downarrow で「 $\left(\right)\left(\right)\left(\right)$ 」(画面モード)を選び、真ん中を押しこんで決定する。

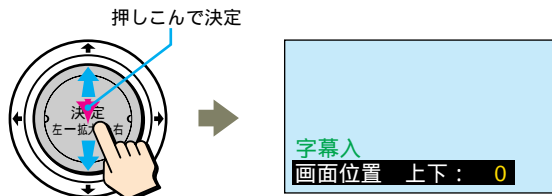


3

▲/▼で調整したい項目を選ぶ。

画面の上下位置を調整するときは▲/▼で「画面位置 上下」を選び、真ん中を押しこんで決定する。

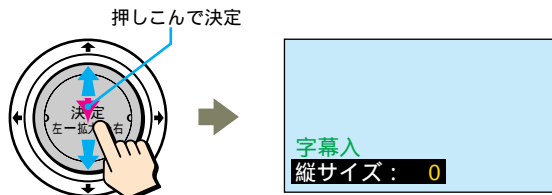
「画面位置 上下」は、▼を押し続けると出てくる画面にあります。



サイズを調整するときは

▲/▼で「縦サイズ」を選び、真ん中を押しこんで決定する。

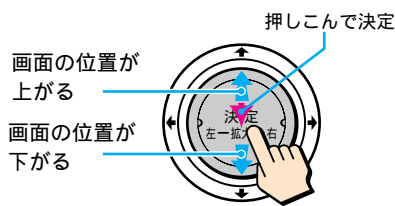
「縦サイズ」は、▼を押し続けると出てくる画面にあります。



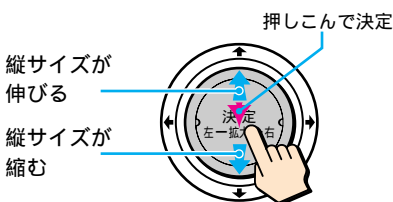
4

▲/▼で調整して、真ん中を押しこんで決定する。

画面の上下位置を調整するときは



縦サイズを調整するときは



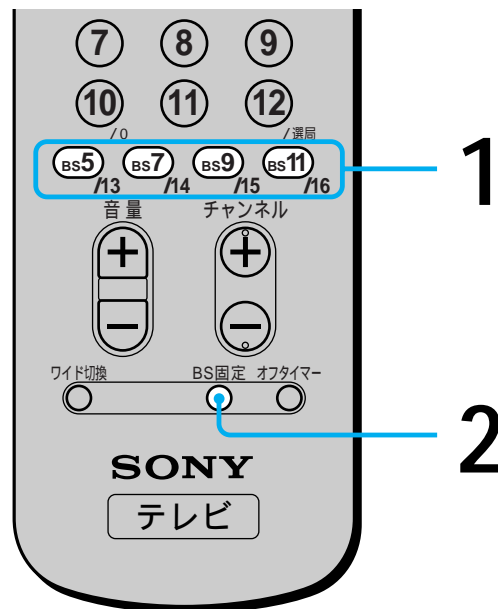
5

メニューボタンを押して、メニューを消す。

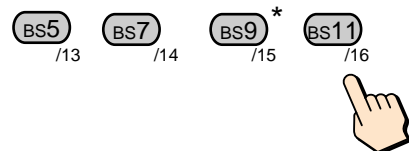
BS放送を録画/予約録画する (BS固定)

本機内蔵のBSチューナーで、BS放送を本機につないでいるビデオに録画できます。また、録画するBSチャンネルを固定させて、裏録画や予約録画もできます。

あらかじめ、「ビデオをつなぐ」(P47ページ)をしておいてください。



1 録画したいBSチャンネルを選ぶ。



* ハイビジョン放送 (BS9チャンネル) を録画するときは

MUSE-NTSCコンバーターをつなぐ必要があります(P54ページ)。詳しくは、必ずMUSE-NTSCコンバーターの説明書をご覧ください。

BS放送を録画/予約録画する (つづき)

- 2** **BS固定ボタンを押す。**
本機BSチューナー部のBSチャンネルとBS/ビデオ出力端子から出る信号が固定されて、他のBSチャンネルに切り換わらなくなります。

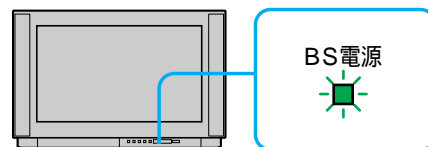


- 3** **S映像入力端子付きビデオのときは、ビデオ側で映像入力端子の信号を優先する設定にする。**
本機のBS/ビデオ出力端子は映像出力端子のため、ビデオ側でS映像入力端子の信号を優先する設定にしてあると、映像信号がビデオに入力されないため、録画されません。
詳しくは、ビデオの取扱説明書をご覧ください。

- 4** **ビデオを「外部入力(ライン入力)」に切り換えて、録画を始める。**
詳しくは、ビデオの取扱説明書をご覧ください。

予約録画するときはビデオで「外部入力(ライン入力)」を録画予約し、本機のリモコンでテレビの電源を切る。

テレビの電源はスタンバイ状態になりますが、BSチューナー部の電源は48時間電源が入ったままになります(BS電源ランプが点灯)。



見ながら録画するときはBS固定したBSチャンネルで、そのままお楽しみください。他のBSチャンネルには、切り換わりません。


裏番組として録画するときはBSを録画しながら、テレビ放送(BS放送は除く)やビデオを見ることができます。見たいチャンネルやビデオ入力などを選んでください。

録画が終わったら/BS固定をやめるには
BS固定したチャンネルを選んでから、BS固定ボタンをもう1度押す。
BS固定が解除され、他のBSチャンネルを選べます。

ご注意

- テレビ本体の電源スイッチで電源を切ったり、電源コードを抜いたりすると、録画できなくなります。
- WOWOWなどスクランブル放送を録画するときは、BSデコーダー(WOWOW)の電源を入れたままにしてください。

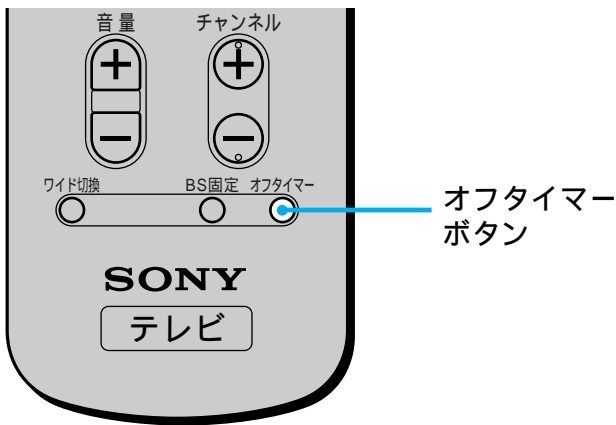
ちょっと一言

St. GIGAなど独立音声放送を録音するときは、メニューの「 (各種切換)」で、「TV/独立音声」を「独立」にしてください。また、BSデコーダー(WOWOW)でも独立音声を選んでください。

自動で電源を切る

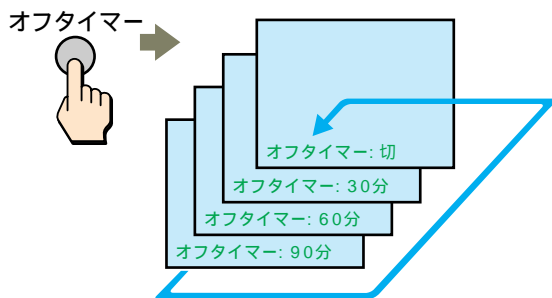
(オフタイマー)

テレビをつけたまま寝てしまっても、設定した時間(30分、60分または90分)が過ぎると、自動的に電源が切れます。



オフタイマーボタンをくり返し押す。

押すたびに、次のように時間が変わります。また、本体のスタンバイ/オフタイマーランプが赤く点灯します。



オフタイマーを途中でやめるには

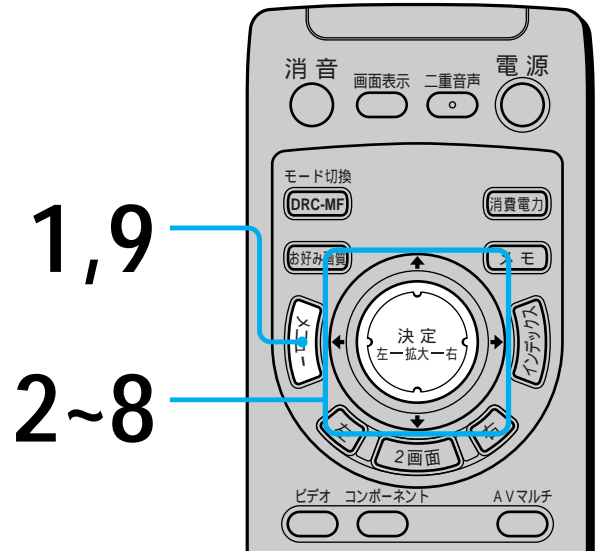
オフタイマーボタンをくり返し押して、「オフタイマー:切」を選ぶ。

ちょっと一言

- ・オフタイマーが働いているときに、オフタイマーボタンを押すと、電源が切れるまでの残り時間(例:「オフタイマー:あと17分」)が表示されて、数秒後に消えます。
- ・電源を入れ直したときは、「オフタイマー:切」に戻ります。
- ・メニュー画面でも操作できます。メニュー画面の「⌚(タイマー)」から「オフタイマー」を選び、時間を選んでください。

時刻を設定し表示する

時刻を合わせて、画面に表示できます。



調整する / 設定する

1 メニューボタンを押す。



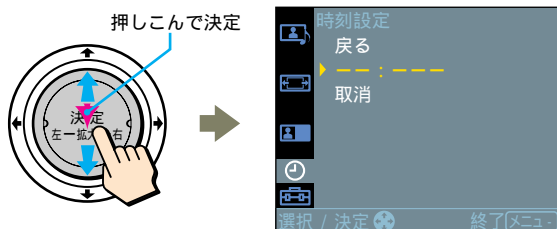
2 ↑/↓で「⌚(タイマー)」を選び、真ん中を押しこんで決定する。



次のページにつづく

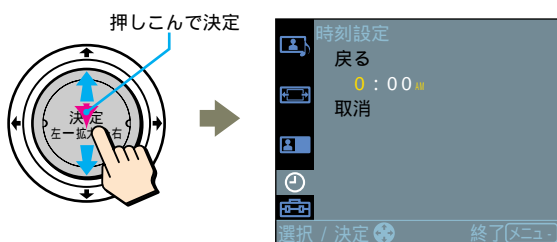
時刻を設定し表示する(つづき)

- 3 ▲/▼で「時刻設定」を選び、真ん中を押しこんで決定する。

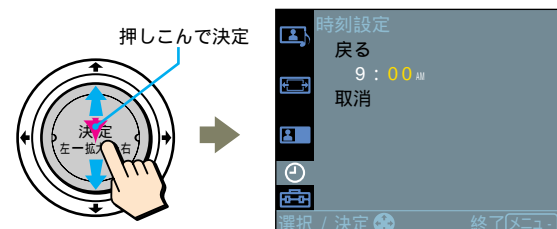


- 4 「--:--」が選ばれていることを確認して、真ん中を押しこんで決定する。

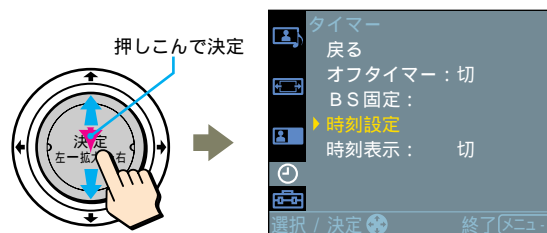
「--:--」が選ばれていないときは、▲/▼で選びます。



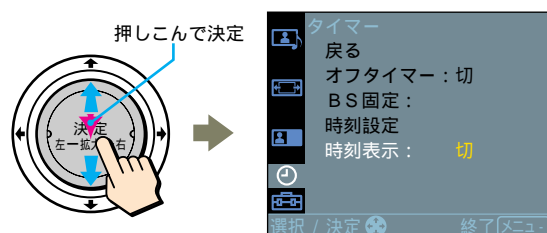
- 5 「時」を設定する。
▲/▼で数字を選び、真ん中を押しこんで決定する。
昼の12時は「0:00PM」、夜の12時は「0:00AM」と表示されます。



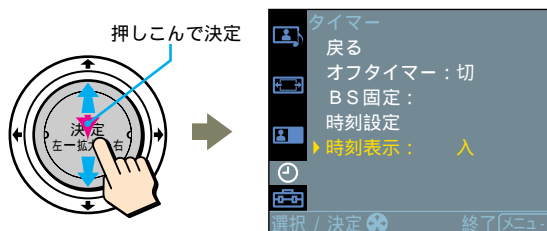
- 6 「分」を設定する。
▲/▼で数字を選び、時計に合わせて真ん中を押しこんで決定する。



- 7 ▲/▼で「時刻表示」を選び、真ん中を押しこんで決定する。



- 8 ▲/▼で「入」を選び、真ん中を押しこんで決定する。



- 9 メニューボタンを押して、メニューを消す。
画面に時刻が表示されます。



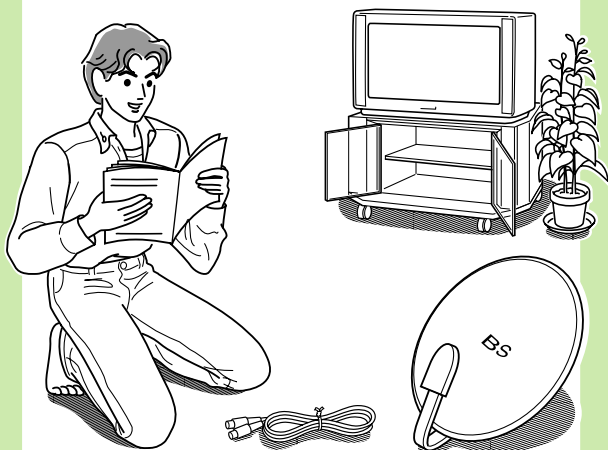
時刻の表示を消すには

「時刻を設定し表示する」(27ページ)の手順1、2を行った後、手順3~6をとばして、手順8で「切」を選ぶ。

テレビの接続と準備

ここでは、テレビアンテナとBSアンテナのつなぎかた、およびチャンネル設定や、BS放送を見るための設定を説明しています。

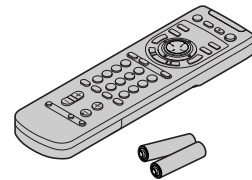
手順1～4(☎32～40ページ)まで済ませれば、テレビを見ることができます。他の機器をつないでお使いになるときは、「他機との接続」(☎45～59ページ)をご覧ください。



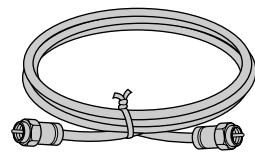
付属品を確かめる

箱を開けたら、付属品がそろっているか確かめてください。

リモコン(1個)と
単3形乾電池(2個)



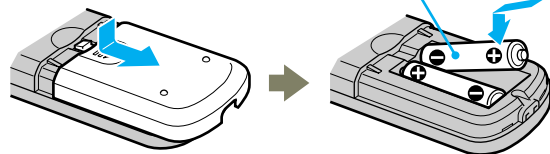
アンテナ接続ケーブル
(約1.5m:1本)



取扱説明書
安全のために
安全点検のおすすめ
ソニーご相談窓口のご案内
保証書
(各1部)

リモコンに電池を入れるには

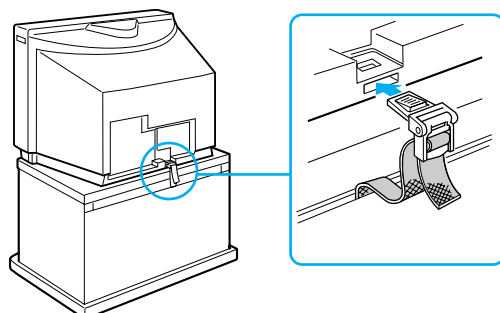
必ずイラストのように●極側から電池を入れてください。



テレビの転倒を防ぐために

お子様が、テレビスタンドに載せた本機に登ったり、本機を押ししたりすると、テレビスタンドから本機が落ちる恐れがあります。必ず下記を使って、転倒を防いでください。

- テレビスタンド固定ベルト(別売り)
BLT-R10
- 固定ベルト付属のテレビスタンド(別売り)
KV-28DR7: SU-F200P、SU-F200、SU-28V
KV-32DR7: SU-F300P、SU-F300、SU-32V
KV-36DR7: SU-F300P、SU-F300



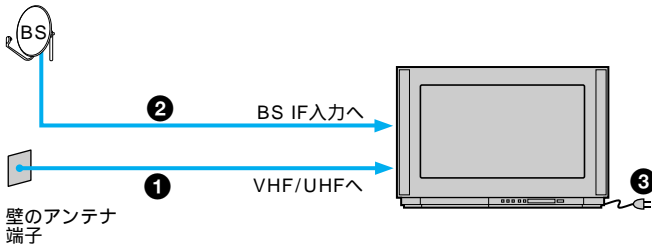
接続と準備の 早わかり

接続と準備のしかたは、放送の種類や接続する機器によって異なります。

ここでは代表的な組み合わせをあげていますので、参考にしてください。詳しくは()内のページ、および接続するビデオなどの取扱説明書もあわせてご覧ください。

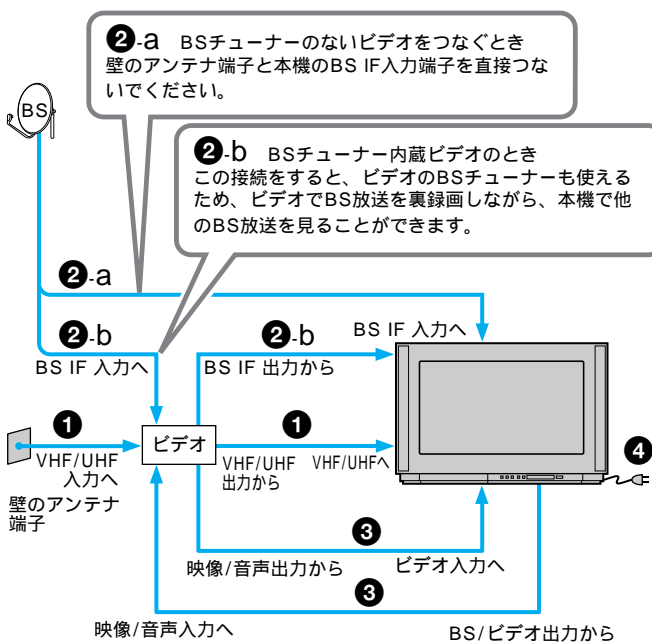
BSアンテナの接続およびBS受信の設定は、BS放送を受信しないときは不要です。

テレビ



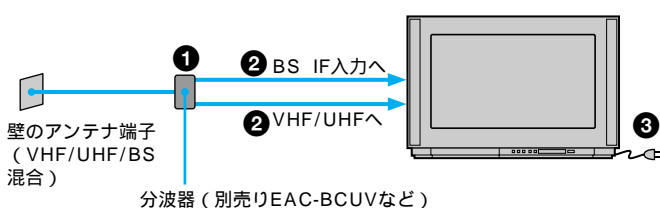
- ① テレビアンテナをつなぐ(④32ページ)
- ② BSアンテナをつなぐ(④34ページ)
- ③ 電源コードをつなぐ
- ④ テレビチャンネルを設定する(④35ページ)
- ⑤ BS受信の設定をする(④38ページ)

テレビ+ビデオ



- ① テレビアンテナを、ビデオを経由してテレビにつなぐ(④47～50ページ、およびビデオの取扱説明書)
- ② BSアンテナをつなぐ
 - ②-a BSチューナーのないビデオのとき:
BSアンテナをテレビにつなぐ(④34ページ)
 - ②-b BSチューナー内蔵ビデオのとき:
BSアンテナをビデオを経由してテレビにつなぐ(④34ページ、およびビデオの取扱説明書)
- ③ ビデオをつなぐ(④47～50ページ)
- ④ 電源コードをつなぐ
- ⑤ テレビチャンネルを設定する(④35ページ)
- ⑥ BS受信の設定をする(④38ページ)

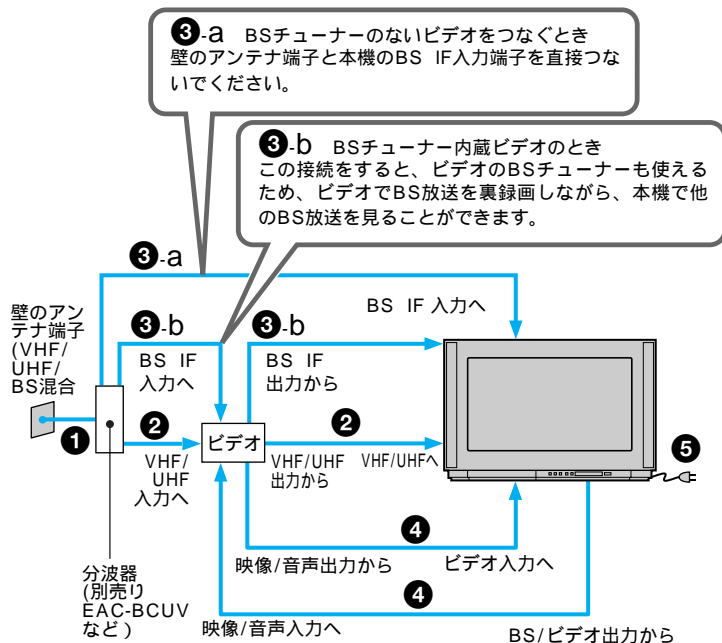
マンションなどの共同受信システム*1



- ① 分波器を使って、VHF/UHFとBSを分ける(④33ページ)
- ② VHF/UHFとBSをつなぐ(④33ページ)
- ③ 電源コードをつなぐ
- ④ テレビチャンネルを設定する(④35ページ)
- ⑤ BS受信の設定をする(④38ページ)

*1 壁のアンテナ端子ひとつでVHF/UHFとBSの両方を受信できる、マンションなどの共同住宅に多いシステムです。

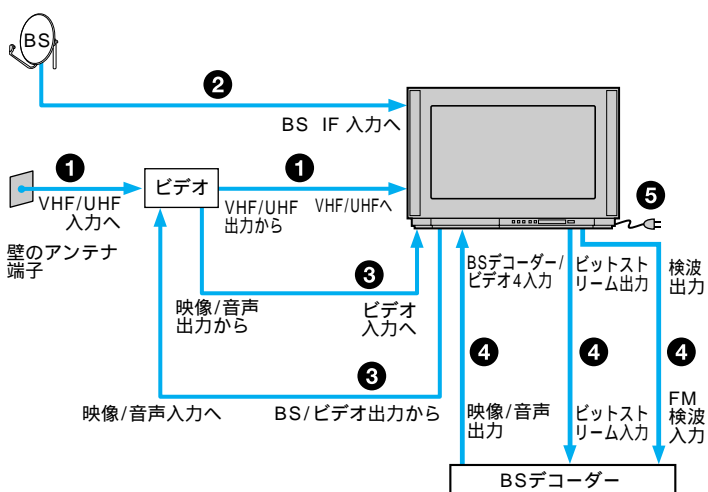
マンションなどの共同受信システム*1 + ビデオ



*1 壁のアンテナ端子ひとつでVHF/UHFとBSの両方を受信できる、マンションなどの共同住宅に多いシステムです。

- ① 分波器を使って、VHF/UHFとBSを分ける (㊧33ページ)
- ② テレビアンテナを、ビデオを経由してテレビにつなぐ(㊧47~50ページ、およびビデオの取扱説明書)
- ③ BSアンテナをつなぐ
 - ③-a BSチューナーのないビデオのとき:
BSアンテナをテレビにつなぐ(㊧34ページ)
 - ③-b BSチューナー内蔵ビデオのとき:
BSアンテナをビデオを経由してテレビにつなぐ(㊧34ページ、およびビデオの取扱説明書)
- ④ ビデオをつなぐ(㊧47~50ページ)
- ⑤ 電源コードをつなぐ
- ⑥ テレビチャンネルを設定する(㊧35ページ)
- ⑦ BS受信の設定をする(㊧38ページ)

テレビ + WOWOW + ビデオ*2



- ① テレビアンテナをビデオを経由してからテレビにつなぐ(㊧47~50ページ)
- ② BSアンテナをつなぐ(㊧34ページ)
- ③ ビデオをつなぐ(㊧47~50ページ)
- ④ BSデコーダー(WOWOW)をつなぐ(㊧51~53ページ)
- ⑤ 電源コードをつなぐ
- ⑥ テレビチャンネルを設定する(㊧35ページ)
- ⑦ BS受信の設定をする(㊧38ページ)

*2 BSチューナー内蔵ビデオのときの接続は、左の図とは異なります。「BSデコーダー(WOWOW)をつなぐ:BSチューナー内蔵ビデオのとき」(㊧52ページ)の接続を行ってください。

テレビの接続と準備

ケーブルテレビ

ケーブルシステムによって接続や準備のしかたが異なります。ケーブルテレビ放送会社にお問い合わせください。

テレビは壁から10cm以上離して設置してください

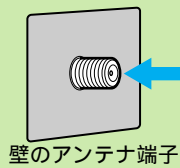
壁から10cm以上離して置いてください。風とおしをよくするためです。壁などに近づけ過ぎて、空気の対流が悪くなると、壁などにホコリが付着し、黒くなることがあります。また、通風孔がふさがれると、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

手順1: テレビアンテナを つなぐ

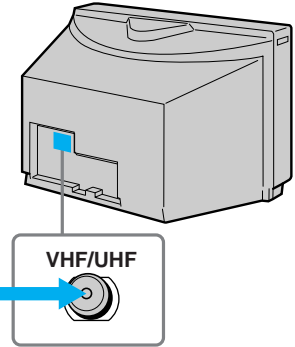
テレビアンテナのつなぎかたは、壁のアンテナ端子の形や、使うケーブルによって異なります。下の例から最も近いものを選び、つないでください。

いずれにも当てはまらない場合は、販売店などにご相談ください。

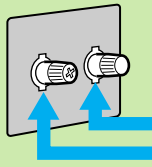
VHF/UHF混合、
またはVHF、
またはUHF



アンテナ接続ケーブル(付属)

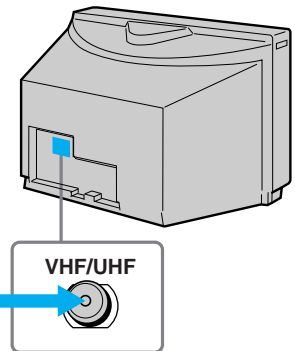


VHF、
またはUHF

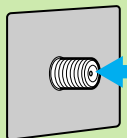


変換コネクター
(別売りEAC-24Aなど)

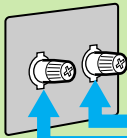
アンテナ接続ケーブル(付属)



VHF



UHF



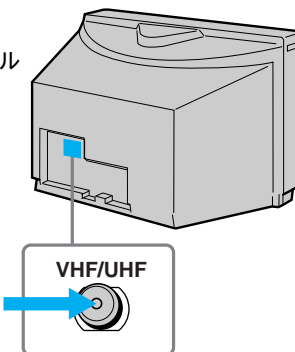
壁のアンテナ端子

同軸ケーブル(別売り)

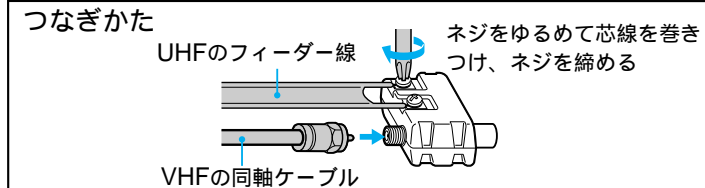
アンテナ接続ケーブル
(付属)

中継コネクター
(別売りEAC-40など)

アンテナ混合器(別売りEAC-68など)



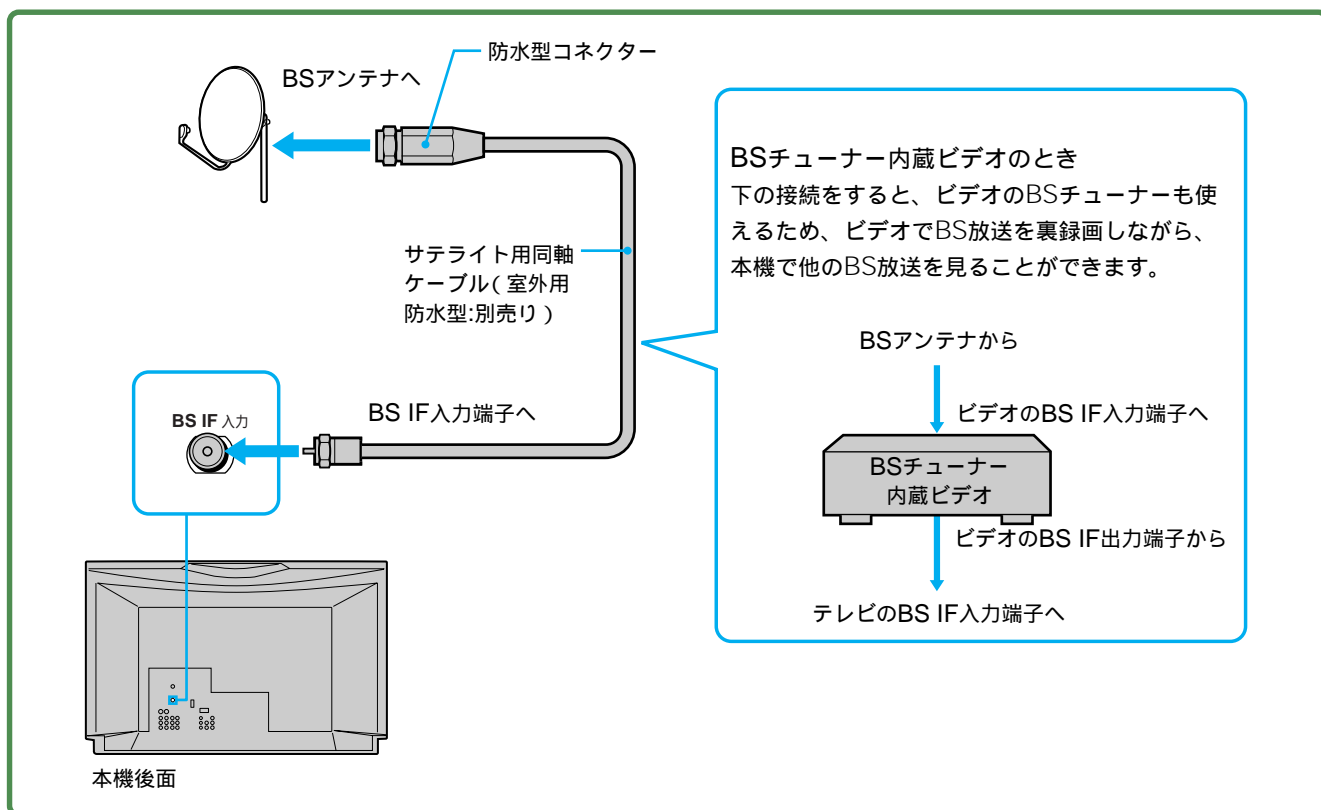
フィーダー線
(別売り)



手順2: BSアンテナを つなぐ

BSアンテナをテレビに直接つなぎます。マンションなどの共同受信システムなどVHF/UHF/BS混合のときは、④33ページをご覧ください。BSアンテナの設置には技術が必要なため、お買い上げ店などに依頼することをおすすめします。

WOWOWをご利用になるときは、「BSデコーダー(WOWOW)をつなぐ」(④51ページ)もあわせてご覧ください。



ご注意

- BS IF入力端子には、必ず衛星用同軸ケーブルをつないでください。BS IF入力端子からはBSアンテナ用の電源(DC 15V)が供給されているため、衛星用同軸ケーブル以外のケーブルをつなぐと、ショートして火災などの原因となります。

推奨ケーブル

- 室外用防水型:SAK-C10/C20/C30など
- 次のようなときはBSを受信できなかったり、受信状態が悪かったりしますが、故障ではありません。
 - 雷、雨、強風などの悪天候のとき
 - BSアンテナに雪が付着しているとき
 - 強風などでアンテナの向きが変わったとき(BSアンテナの向きを調整してください。④39ページ)
 - 春分や秋分、日食など、太陽と地球とBS衛星が並んだ(食)とき
- BS IF入力端子につないだ衛星用同軸ケーブルの芯線と端子のまわりの金属部分が触れて、ショートしないようご注意ください。

- 衛星分波器を使って複数のBS機器をつなぐときは、どの端子からも電源を供給するタイプ(別売りEAC-BC2またはEAC-BC4など)を必ずお使いください。特定の端子からのみBSアンテナ電源を供給する衛星分波器を使うと、BSチューナー内蔵ビデオでも、テレビの電源を入れないと衛星放送を録画できないなどの不都合が生じます。
- BSアンテナをつなぐときは、工具を使わずに手でしっかりと締めてください。工具を使うと、端子を傷めることがあります。

「BSアンテナ電源を確認してください」という表示が出たら

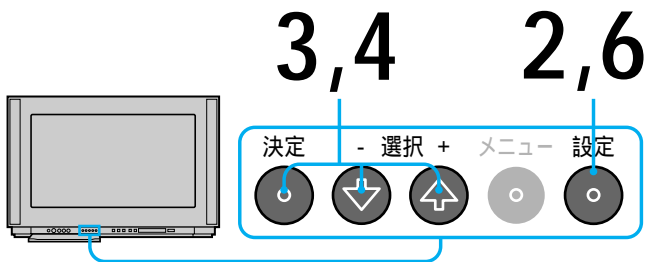
- マンションなどの共同受信システムのときは、設定メニューの「 (BS設定)」で、「BSアンテナ電源」を「切」にしてから、いったんテレビの電源を切ってください(④38ページ)。
- BSアンテナをつないでいるときは、BSアンテナのアンテナ線がショートしています。テレビ本体の電源を切って、お買い上げ店またはサービス窓口にご相談ください。

手順3: チャンネルを設定 する

VHF/UHF放送は、自動でも手動でも受信設定
できます。はじめに自動設定することをおすす
めします。

自動設定する

受信できるVHF/UHF放送を、リモコンの数字
ボタンに自動的に設定します。
放送のある時間帯に行ってください。BS放送
はお買い上げ時に設定されています。
自動設定したチャンネルを変更したり、放送の
ないチャンネルをとばすときは、[④36](#)、[37](#)
ページをご覧ください。



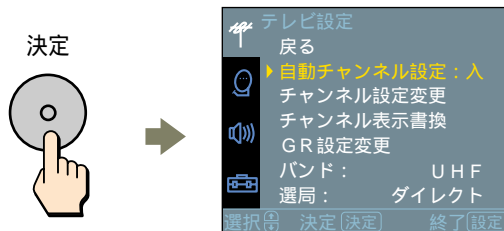
本体のボタンを使います。

1 電源を入れ、VHF/UHF放送を
映す。

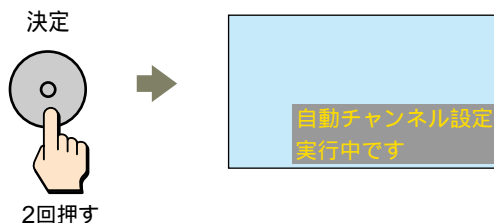
2 設定ボタンを押す。



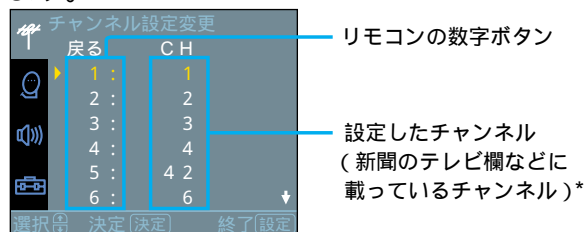
3 「」マークが黄色になっている
ことを確認した後、決定ボタン
を押す。



4 「自動チャンネル設定」が選ばれ
ていて(黄色になっていて)
「入」になっていることを確認し
た後、決定ボタンを2回押す。
「切」になっているときは、決定ボタンを
1回押した後、選択/ボタンで「入」を
選び、決定ボタンを押す。



「自動チャンネル設定実行中です」と表示
され、自動的に設定が始まります。
設定が終わると、下のメニューに変わ
ります。



* 地域によっては、これまでご覧になっていたチャン
ネル番号と異なる場合があります。

5 設定されたチャンネルを確認す
る。

手動で設定し直したいときは
[④36](#)ページをご覧ください。
ゴーストの少ない画像にしたいときは
[④42](#)ページをご覧ください。

6 設定ボタンを押して、設定メ
ニューを消す。

チャンネル設定を途中でやめるには

手順4で「自動チャンネル設定実行中です」の
メッセージが出ている間に、設定ボタンを押す。

手順3:


チャンネルを設定する(つづき)

ケーブルテレビを見るには

ケーブルテレビ放送会社との受信契約が必要です。なお、ケーブルテレビを受信できない地域もあります。本機では、C13～C35までのケーブルテレビチャンネルを受信できます。

詳しくは、お近くのケーブルテレビ放送会社にお問い合わせください。

本体のボタンを使います。

- 1 ダイレクト選局になっていることを確認する(④40ページ)。
- 2 設定ボタンを押して、設定メニューを出す。
- 3 選択⇄ボタンで「 (テレビ設定)」を選び、決定ボタンを押す。
- 4 選択⇄ボタンで「バンド」を選び、決定ボタンを押す。
- 5 選択⇄ボタンで「CATV」を選び、決定ボタンを押す。
- 6 選択⇄ボタンで「チャンネル設定変更」を選び、決定ボタンを押す。
- 7 選択⇄ボタンでケーブルテレビを映したいリモコンの数字ボタンを選び、決定ボタンを押す。
- 8 選択⇄ボタンで「CH」の数字をケーブルテレビのチャンネルにし、決定ボタンを押す。
ケーブルテレビのチャンネルには、表示の前に「C」がつきます。
例:C24
- 9 設定ボタンを押して、設定メニューを消す。

ご注意

- ケーブルテレビとUHF放送を同時に受信したり、チャンネル設定したりすることはできません。
- ケーブルテレビで「10キー選局」(④40ページ)をするときは、上記で受信設定をした後、「10キー選局」に切り換えてください。

手動設定する

自動設定したチャンネルを変えたり、表示を書き換えたり、放送のないチャンネルをとばすことができます。

1～12のチャンネル数字ボタンと、BS5、7、9、11のBSチャンネルボタンの合計16チャンネルのすべてを、手動で設定できます。


ご注意

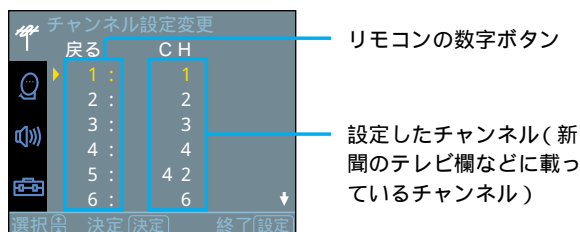
BS5、7、9、11ボタンは、ボタン名と同じBSチャンネル用としてだけでなく、13、14、15、16チャンネルボタンとしても使えます。ただし、ボタン名と異なる他のチャンネルに設定し直すと、各ボタンを押しても、BS5、7、9、11チャンネルを直接選局できなくなります。

リモコンの数字ボタンに設定したチャンネルを変えるには

リモコンの数字ボタンに好きなチャンネルが映るように変えられます。

本体のボタンを使います。

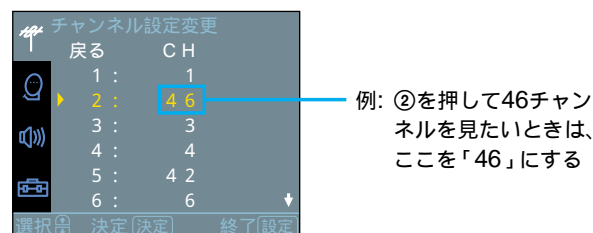
- 1 設定ボタンを押して、設定メニューを出す。
- 2 選択⇄ボタンで「 (テレビ設定)」を選び、決定ボタンを押す。
- 3 選択⇄ボタンで「チャンネル設定変更」を選び、決定ボタンを押す。



- 4 選択⇄ボタンで変更したいリモコンの数字ボタンを選び、決定ボタンを押す。



- 5 選択⇄ボタンで設定したチャンネルを変更し、決定ボタンを押す。



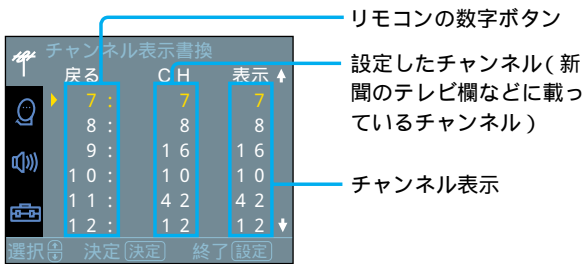
- 6 設定ボタンを押して、設定メニューを消す。

チャンネル表示を書き換えるには

画面に出るチャンネル表示は、新聞のテレビ欄などに載っているチャンネルになっています。これを、好きなチャンネル番号などを書き換えることができます。

本体のボタンを使います。

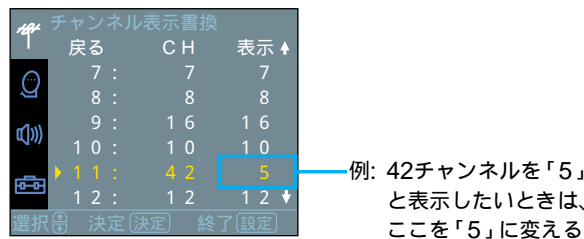
- 1 設定ボタンを押して、設定メニューを出す。
- 2 選択⇄/⇄ボタンで「 (テレビ設定)」を選び、決定ボタンを押す。
- 3 選択⇄/⇄ボタンで「チャンネル表示書換」を選び、決定ボタンを押す。



- 4 選択⇄/⇄ボタンで書き換えたいチャンネルを選び、決定ボタンを押す。



- 5 選択⇄/⇄ボタンでチャンネル表示を書き換え、決定ボタンを押す。



- 6 設定ボタンを押して、設定メニューを消す。

ちょっと一言

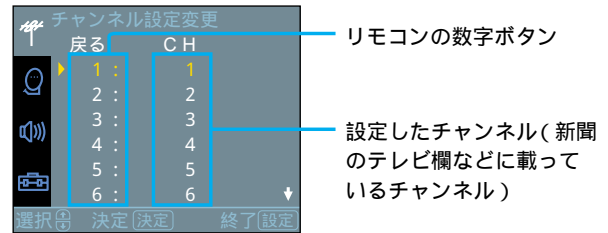
- チャンネルと表示が1対1で対応するように、チャンネル表示を書き換えてください。複数のチャンネルを同一のチャンネル表示にすることもできますが、おすすめしません。
- BS放送のチャンネル表示は書き換えられません。

放送のないチャンネルをとばすには

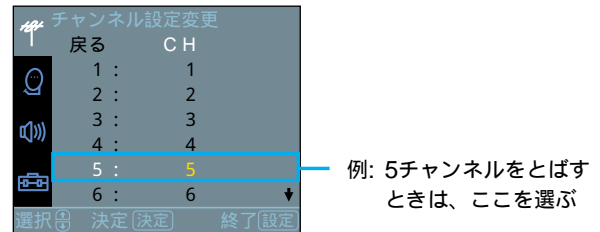
チャンネル+/- ボタンでチャンネルを選ぶときや、チャンネルを一覧表示する(14ページ)ときに、放送のないチャンネルをとばす(選局しない)ように設定できます。

本体のボタンを使います。

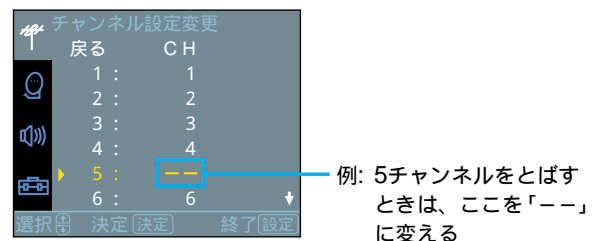
- 1 設定ボタンを押して、設定メニューを出す。
- 2 選択⇄/⇄ボタンで「 (テレビ設定)」を選び、決定ボタンを押す。
- 3 選択⇄/⇄ボタンで「チャンネル設定変更」を選び、決定ボタンを押す。



- 4 選択⇄/⇄ボタンでとばしたいチャンネルを選び、決定ボタンを押す。



- 5 選択⇄/⇄ボタンで「CH」を「--」に変えて、決定ボタンを押す。



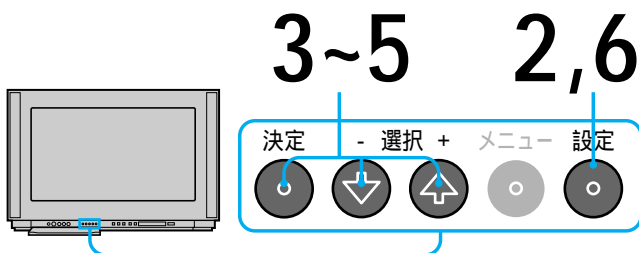
- 6 設定ボタンを押して、設定メニューを消す。

手順4: BS受信の設定をする

BS放送を見るときは、BSアンテナ電源の設定と、BSアンテナの向きを調整してください。

BSアンテナ電源を設定する

BSアンテナのつなぎかた(マンションなどの共同受信システムか、テレビなどに直接つないでいるかなど)に合わせて、BSアンテナへの電源供給を設定します。



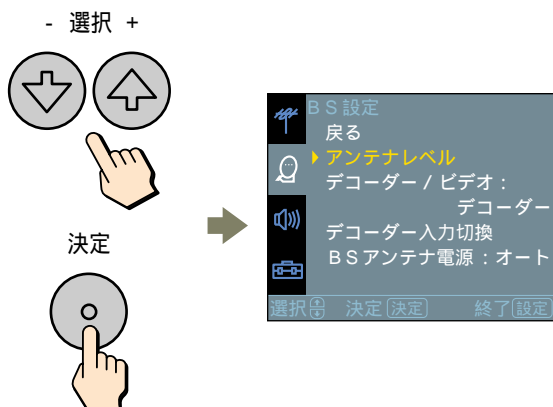
本体のボタンを使います。

1 電源を入れ、BS放送を映す。

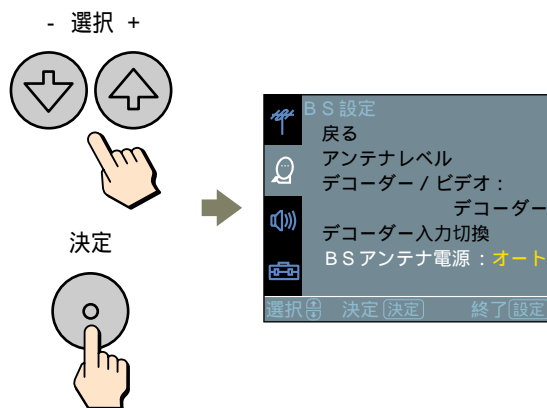
2 設定ボタンを押す。



3 選択/決定ボタンで「BS設定」を選び、決定ボタンを押す。



4 選択/決定ボタンで「BSアンテナ電源」を選び、決定ボタンを押す。



5 マンションなどの共同受信システムの場合は

選択/決定ボタンで「切」を選び、決定ボタンを押す。

BSアンテナをつないでいるときは
選択/決定ボタンで「オート」または「連動」を選び、決定ボタンを押す。

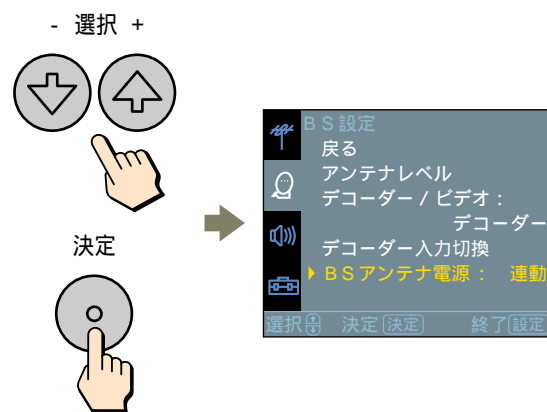
設定	BSアンテナへの電源供給のしかた
●オート	テレビの電源が入っているときに、テレビがBSアンテナに電源を供給するかどうかを自動的に判断する。テレビの電源が切れているときは供給しない。
連動	テレビの電源が入っているときはつねに電源を供給する。テレビの電源が切れているときは供給しない。BSが映ったり消えたりするときに選んでください。
切	電源を供給しない。

●: お買い上げ時の設定

連動

切

●: お買い上げ時の設定



6 設定ボタンを押して、設定メニューを消す。

ご注意

- 「オート」にしている場合、BSアンテナの電源供給システムによっては、うまく働かないことがあります。このときは「連動」にしてください。
- 1本のBSアンテナに分波器などをつないでBS電波を分け、本機と他のテレビやビデオ機器の両方でBSを受信できるようにしているときは、本機を「オート」に、他の機器を「連動」にしてください。このようにしないと、本機の電源を切ると他のテレビやビデオ機器からBSアンテナに電源が供給されないことがあります。他の機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

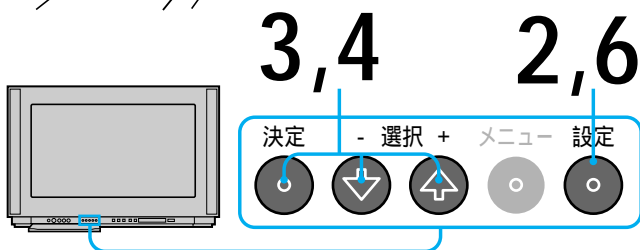
BSアンテナの向きを調整する

BSアンテナをテレビに直接つないだときは、アンテナの向きを2人で調整します。1人がテレビ画面の画像とレベル表示を見て、もう1人がレベル表示が最大になるように、BSアンテナを動かしながら調整します。

向きや角度については、BSアンテナの取扱説明書もあわせてご覧ください。

ご注意

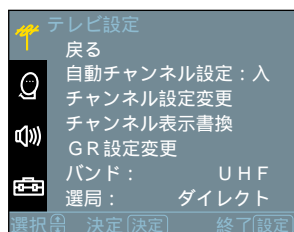
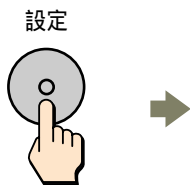
「BSアンテナ電源」が「切」になっているときは、「BSアンテナ電源」を「オート」または「連動」にしてください(☞38ページ)。



本体のボタンを使います。

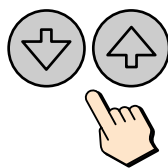
1 電源を入れ、BS放送を映す。

2 設定ボタンを押す。

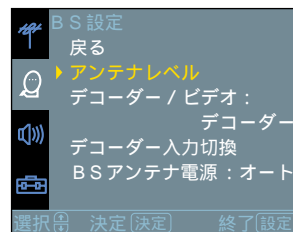


3 選択 Δ / ∇ ボタンで「 (BS設定)」を選び、決定ボタンを押す。

- 選択 +

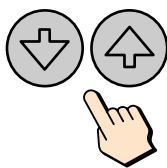


決定

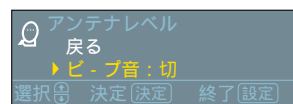


4 選択 Δ / ∇ ボタンで「アンテナレベル」を選び、決定ボタンを押す。

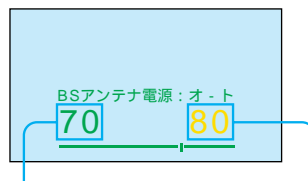
- 選択 +



決定



5 BSアンテナを動かして調整する。受信中のアンテナレベルが最大値と一致、または一番近づいたところでBSアンテナを固定します。



受信中のアンテナレベル (緑色の数字) 最大値(黄色の数字)

6 設定ボタンを押して、設定メニューを消す。

音を聞いて調整するには

画面で確認できないときに便利です。

1 手順4のあと、選択 Δ / ∇ ボタンで「ビープ音」を選び、決定ボタンを押す。

2 選択 Δ / ∇ ボタンで「入」を選び、決定ボタンを押す。

3 手順5で連続した最大音になるよう、BSアンテナを調整する。

ちょっと一言

1つのBSチャンネルで調整すれば、他のBSチャンネルの調整は不要です。

次のページにつづく

手順4: BS受信の設定をする(つづき)

デコーダー入力を設定する

お買い上げ時は、すべてのBSチャンネルが「オート」に設定されているため、設定しなおす必要はありません。「オート」になっていると、BSデコーダー/ビデオ4入力端子につないだBSデコーダー(WOWOW)などのスクランブルを自動的に判別するからです。あえて、設定を変更する場合は下記の手順で操作してください。

ちょっと一言

MUSE-NTSCコンバーターをBSデコーダー/ビデオ4入力端子につなぐときは、54ページの設定をしてください。本体のボタンを使います。

- 1 本機でBS放送を映す。
- 2 設定ボタンを押して、設定メニューを出す。
- 3 選択⇄ボタンで「⑩(BS設定)」を選び、決定ボタンを押す。
- 4 選択⇄ボタンで「デコーダー入力切替」を選び、決定ボタンを押す。
- 5 選択⇄ボタンでチャンネルを選び、決定ボタンを押す。
BS9~15を設定するときには、⇄ボタンを押し続けると出てくる画面にあります。
- 6 選択⇄ボタンで「テレビ」、「デコーダー」、「オート」を選び、決定ボタンを押す。

設定	内容
オート	BSデコーダー(WOWOW)などのスクランブルを自動判別
テレビ	受信した映像・音声をそのまま映す
デコーダー	デコーダー入力端子からの映像・音声を映す

- 7 他のBSチャンネルを設定するときには、手順5と6をくり返す。
- 8 設定ボタンを押して、設定メニューを消す。

数字ボタンの組み合わせでチャンネルを選ぶ(10キー選局)

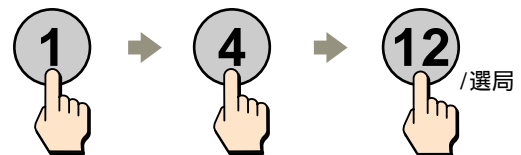
お買い上げ時は「ダイレクト選局」になっています。「ダイレクト選局」は、リモコンの数字ボタンと同じチャンネルが映る選局方法で、受信できるチャンネル数は最大16局です。そのため、ケーブルテレビなど見たいチャンネルの数が16局を越えるときは、「10キー選局」に変えてください。

「10キー選局」では、数字ボタンを十の位・一の位の順に押した後、⑫(=選局)ボタンを押して、チャンネルを選びます。0は⑩ボタンを使います。

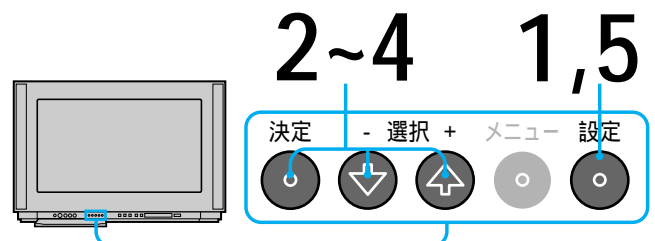
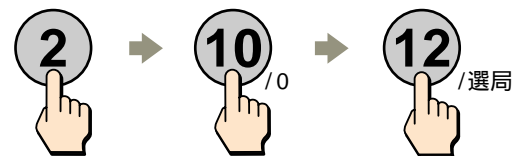
ちょっと一言

BS放送は、「10キー選局」に変えても、リモコンのBS5~11ボタンを押して、直接選べます。

例)14チャンネル



20チャンネル

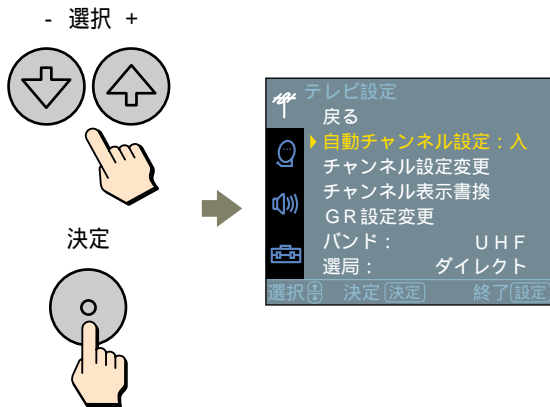


本体のボタンを使います。

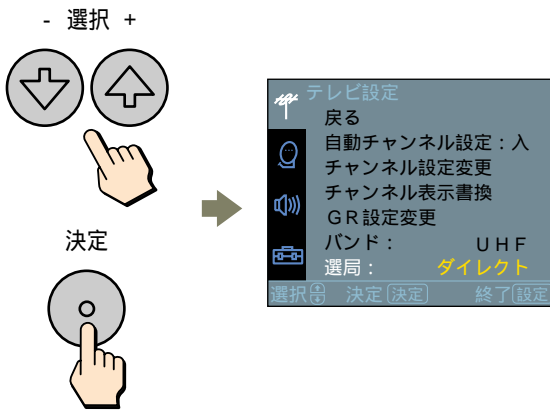
1 設定ボタンを押す。



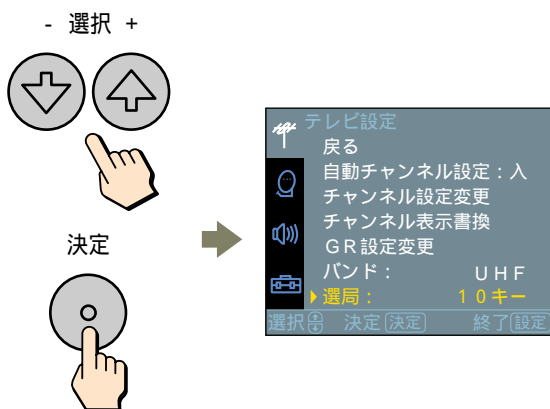
2 選択(上下)ボタンで「 (テレビ設定)」を選び、決定ボタンを押す。



3 選択(上下)ボタンで「選局」を選び、決定ボタンを押す。



4 選択(上下)ボタンで「10キー」を選び、決定ボタンを押す。



5 設定ボタンを押して、設定メニューを消す。

ダイレクト選局に戻すには

手順4で「ダイレクト」を選ぶ。

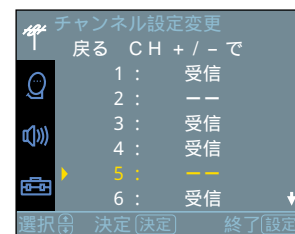
ご注意

- チャンネルを自動設定する(35ページ)ときは、ダイレクト選局に戻してから行ってください。
- ケーブルテレビのときは、手順2の後に下記の操作をした後、手順3以降を行ってください。
 - 1 選択(上下)ボタンで「バンド」を選び、決定ボタンを押す。
 - 2 選択(上下)ボタンで「CATV」を選び、決定ボタンを押す。
 - 3 手順3以降を行う。

チャンネル+/- ボタンで選ぶ放送を設定するには

お買い上げ時は1~12チャンネルとBS5、BS7、BS9、BS11が順に選ばれるように設定されています。ケーブルテレビなどでこれ以外のチャンネルを選ぶときや、放送がないチャンネルをとばすときは、次のように設定します。本体のボタンを使います。

- 1 設定ボタンを押して、設定メニューを出す。
- 2 選択(上下)ボタンで「 (テレビ設定)」を選び、決定ボタンを押す。
- 3 選択(上下)ボタンで「チャンネル設定変更」を選び、決定ボタンを押す。
- 4 選択(上下)ボタンで見たいチャンネル、またはとばしたいチャンネルを選び、決定ボタンを押す。
- 5 選択(上下)ボタンで見たいチャンネルのときは「受信」を、とばしたいチャンネルのときは「--」を選び、決定ボタンを押す。



- 6 複数のチャンネルを設定するときは、手順4と5をくり返す。
- 7 設定ボタンを押して、設定メニューを消す。

ゴーストの少ない 画像にする

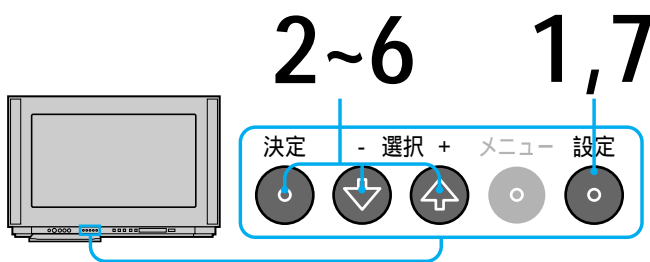
(ゴースト・リダクション)

本機では、建物や地形などによる妨害波で起こるゴーストを、放送局から送信されるゴースト除去基準信号を感知して、少なくする(リダクション)ように、チャンネルごとに設定できます。

「GR」はゴースト・リダクションの略です。

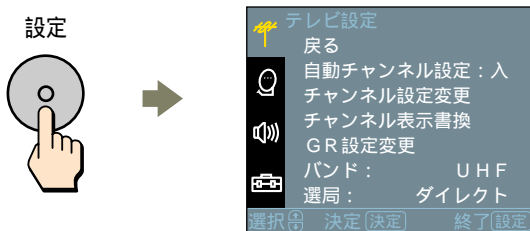
ご注意

- BS放送にはゴースト除去基準信号が含まれていないため、設定できません。
- ビデオ機器の再生画像などテレビにつないだ機器の映像に対しても設定できません。

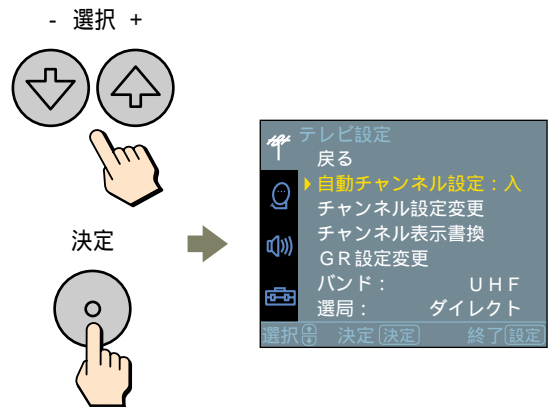


本体のボタンを使います。

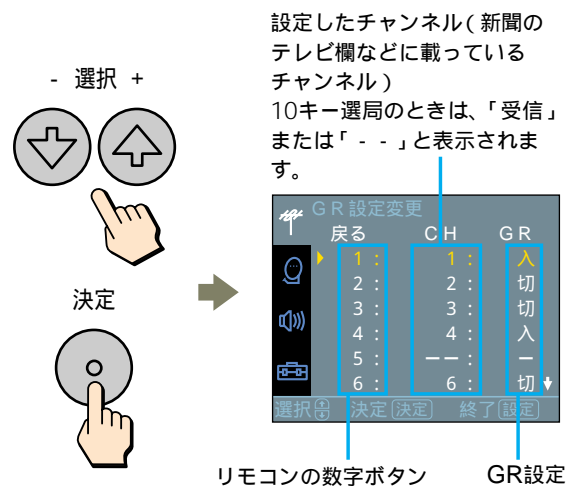
1 設定ボタンを押す。



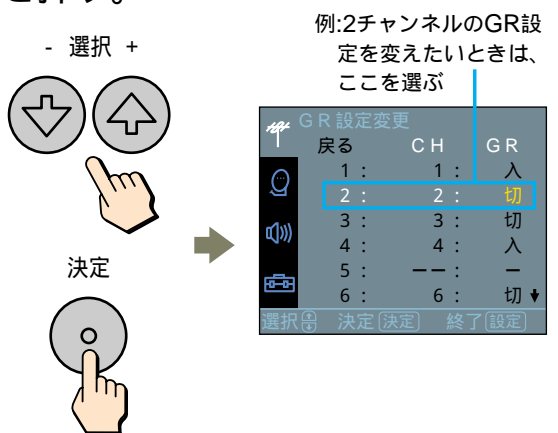
2 選択⇅ボタンで「 (テレビ設定)」を選び、決定ボタンを押す。



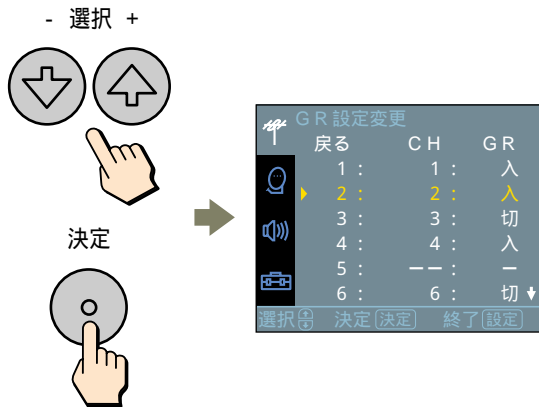
3 選択⇅ボタンで「GR設定変更」を選び、決定ボタンを押す。



4 選択⇅ボタンで設定を変えたいチャンネルを選び、決定ボタンを押す。



5 選択 Δ / ∇ ボタンで「入」または「切」を選び、決定ボタンを押す。



6 複数のチャンネルを設定するとき、手順4と5をくり返す。

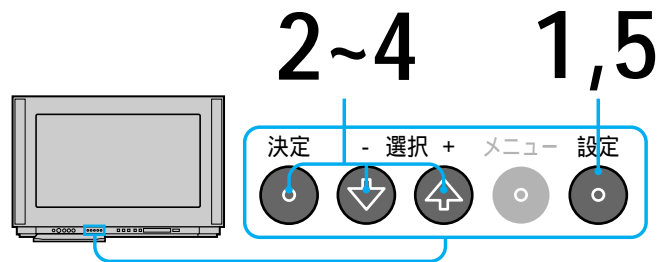
7 設定ボタンを押して、設定メニューを消す。

ご注意

- ゴースト・リダクションは、チャンネルを切り換えた後、数秒してから働き、大きなゴーストから順々に小さくなっていきます。このとき、画像が一瞬またたくことがあります。
- 受信している電波が弱いときは、大きなゴーストに働くと別のゴーストが起きることがありますが、徐々に小さくなっていきます。
- アンテナの設置や調整のときは「GR」を「切」にすると、ゴーストの少ない方向を確認できます。
- 次のときは効果が十分に出ないため、「GR」を「切」にしてください。
 - ゴーストが大きすぎる時
 - ゴーストが同時に10波以上起きているとき
 - 飛行機に反射して起きるゴーストなど、一定でないゴーストのとき
 - 室内アンテナなどアンテナの設置や調整が適切に行われていないとき
- 2画面(☎11ページ)のときは左画面のみ、インデックス画面(☎14ページ)のときは中央画面のみ、ゴースト・リダクションは働きます。

画像の傾きを補正する

地磁気の影響で、画像が傾いたり、画面の上下位置がずれることがあります。このときは、テレビの向きを変えてみるか、次のように補正してください。

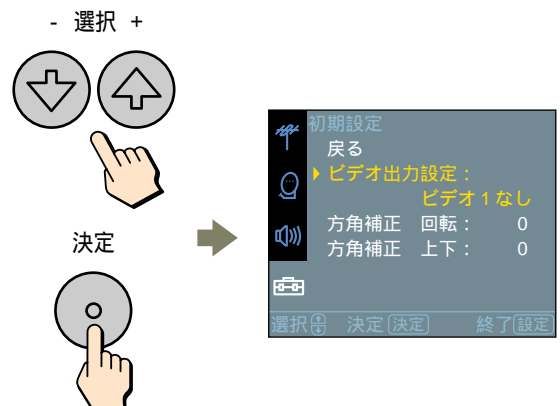


本体のボタンを使います。

1 設定ボタンを押す。



2 選択 Δ / ∇ ボタンで「初期設定」を選び、決定ボタンを押す。

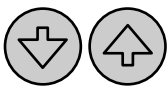


画像の傾きを補正する(つづき)

3 選択 \square / \square ボタンで「方角補正 回転」または「方角補正 上下」を選び、決定ボタンを押す。

画像が傾いているときは「方角補正 回転」を、画面の上下位置がずれているときは「方角補正 上下」を選びます。

- 選択 +



決定



4 選択 \square / \square ボタンで調整する。

手順3で「方角補正 回転」を選んだとき画像を見ながら、画面内の水平の線ができる限り水平になるようにします。数値は - 10 ~ + 10 の範囲で変わります。

手順3で「方角補正 上下」を選んだとき画面の上下位置を補正します。数値は - 5 ~ + 5 の範囲で変わります。

5 設定ボタンを押して、設定メニューを消す。

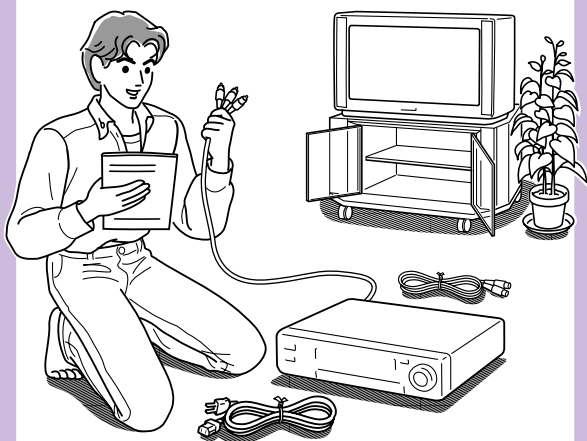
ご注意

高圧線の近くや鉄筋コンクリート造りの家などでは、磁界の影響のため、うまく補正されないことがあります。このときは、ソニーサービス窓口またはお買い上げ店などにご相談ください。

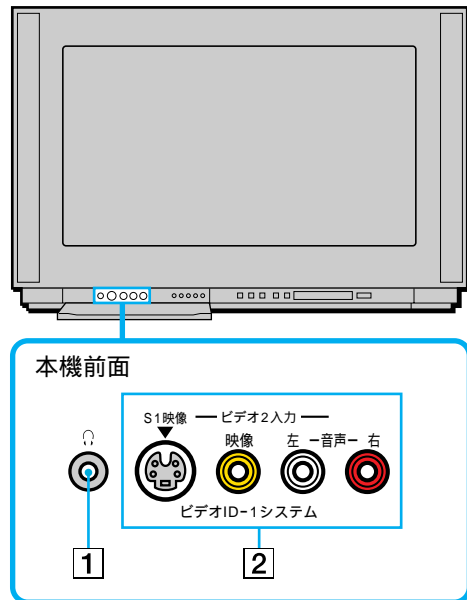
また、テレビの近くに大きなスピーカーがあると、うまく補正されません。スピーカーからテレビを離して置いてください。それでも、うまく補正されないときも、ご相談ください。

他機との接続

ここでは、接続端子の名前とはたらき、およびビデオデッキなど他の機器のつなぎかたについて説明しています。テレビを見るための接続と準備については、「テレビの接続と準備」(29 ~ 44 ページ) をご覧ください。



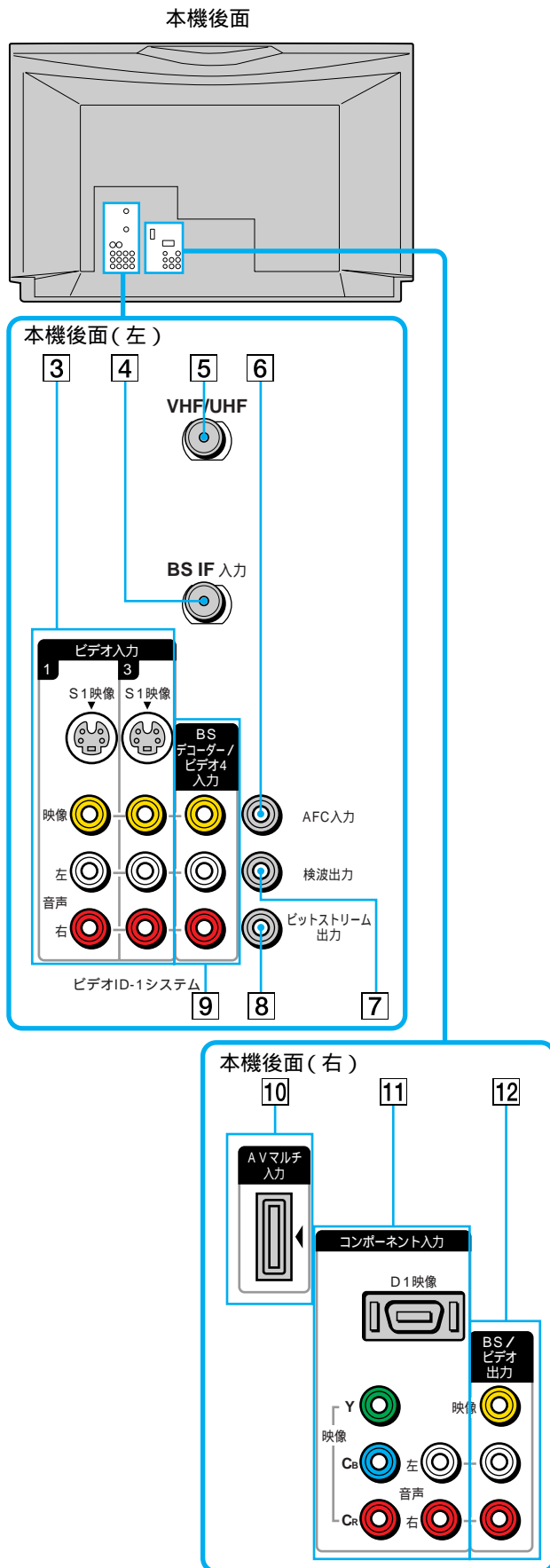
接続端子の名前とはたらき



29のページに詳しい説明があります。

- 1 ヘッドホン端子 (13 ページ)
ヘッドホンをつなぎます。
- 2 ビデオ2入力端子 (S1映像/映像/音声)(ID-1システム)(58 ページ)
テレビゲームやビデオカメラレコーダーなどのビデオ出力端子につなぎます。

接続端子の名前とはたらき (つづき)



④のページに詳しい説明があります。

- ③ ビデオ1、3入力端子 (S1映像/映像/音声) (ID-1システム) (④47～50ページ)

ビデオデッキやレーザーディスクプレーヤー、DVDプレーヤーなどのビデオ機器、およびデジタルCSチューナーなどのビデオ出力端子につながります。

- ④ BS IF入力端子 (④34ページ)

BSアンテナからの同軸ケーブルをつなぎます。BSアンテナ用の電源を供給するため、DC15Vの直流電圧が出ています。VHF/UHF用のアンテナ接続ケーブルは絶対につながないでください。

- ⑤ VHF/UHFアンテナ端子 (④32～33ページ)

VHF/UHF用のアンテナ接続ケーブルやケーブルテレビのケーブルをつなぎます。

- ⑥ AFC入力端子 (④54～55ページ)

MUSE-NTSCコンバーターなどハイビジョン機器のAFC出力端子につながります。

- ⑦ 検波出力端子 (④51～53ページ)

BSデコーダー (WOWOW) のFM検波入力端子につながります。

- ⑧ ビットストリーム出力端子 (④51～53ページ)

BSデコーダー (WOWOW) のビットストリーム入力端子につながります。また、将来的に考えられている新放送システムにも対応します。

- ⑨ BSデコーダー/ビデオ4入力端子 (映像/音声) (ID-1システム) (④51～55ページ)

設定メニューの「④ (BS設定)」の「デコーダー/ビデオ」の設定によって、働きかたが異なります。

「デコーダー」に設定したとき (④53ページ)

BSデコーダー入力端子として働きます。

BSデコーダー (WOWOW) やMUSE-NTSCコンバーターの映像/音声出力端子につながります。

「ビデオ」に設定したとき (④48ページ)

ビデオ4入力端子として働きます。

ビデオデッキやレーザーディスクプレーヤー、DVDプレーヤーなどのビデオ機器、およびデジタルCSチューナーなどのビデオ出力端子につながります。

ビデオをつなぐ

10 AVマルチ入力端子(㊦57ページ)

別売りのAVマルチケーブル(VMC-AVM250)を使って、“プレイステーション”のAVマルチ出力端子につなぎます。RGB接続になり、よりきれいな映像でゲームを楽しめます。

11 コンポーネント入力端子(D1映像/映像/音声) (㊦58ページ)

D1映像入力端子

BSデジタル放送受信アダプターなど将来放送が予定されている機器のD映像出力端子につなぎます。525i(525インターレース)*の信号フォーマットのBSデジタル放送に対応しています。

* 480iと呼ばれることもあります。

映像入力端子

DVDプレーヤーのコンポーネントビデオ出力端子(Y/C_B/C_Rまたは、Y/B-Y/R-Y、Y/P_B/P_R)につなぎます。

音声入力端子


BSデジタル放送受信アダプターやビデオ機器の音声出力端子につなぎます。

ご注意

- コンポーネント入力のD1映像入力端子と映像入力端子は同時につなげません。つなぐと映像が乱れることがあります。
- コンポーネント映像入力端子にハイビジョン機器はつなげません。

12 BS/ビデオ出力端子(映像/音声)(ID-1システム) (㊦49ページ)

ビデオデッキなどのビデオ入力端子につなぎます。VHF/UHF、BS、ビデオ1~4入力*、AVマルチ入力の信号を出力します。

* ただし、ビデオ1入力の信号については、設定メニューの「 (初期設定)」の「ビデオ出力設定」で出力されるように設定する必要があります(㊦48ページ)。

また、ビデオ4入力の信号のときは、BSデコーダー/ビデオ4入力端子をビデオ入力端子として働くように設定する必要があります(㊦48ページ)。

ご注意

- BSデコーダー(WOWOW)をつないでいるときは、スクランブルを解除した信号を出力します。
- コンポーネント入力端子につないだ機器の映像信号は出力しません。

BS固定(㊦25ページ)のときのご注意

以下の信号を出力します。

- BS固定が「切」のとき:
テレビに映っている映像と音声を出力します。
- BS固定が「入」のとき:
テレビに映っている映像と音声には関係なく、BS固定したBSチャンネルの映像と音声を出力します。

多画面のときのご注意

- 2画面(㊦11ページ)のときは、左画面の信号を出力します。
- インデックス(㊦14ページ)のときは、中央画面の信号を出力します。

ビデオデッキ、ビデオカメラ、またはレーザーディスクプレーヤーなどをつなぎます。それぞれの機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

S1映像端子と映像端子のどちらにつなぐか迷ったときは

よりよい画質でご覧いただくために、下表の端子につないでください。

つなぐ機器にS映像端子がない場合は、映像端子につなぎます。

つなぐ機器	つなぐ端子
テレビチューナー	映像
BSチューナー	映像
レーザーディスクプレーヤー *1	映像
ビデオデッキ*2	S1映像
ビデオカメラの再生	S1映像
デジタルCSチューナー	S1映像
DVDプレーヤー*3	S1映像
テレビゲーム	S1映像

*1 三次元Y/C分離回路搭載のレーザーディスクプレーヤーのときは、接続による画質の差はほとんど生じません。再生モードにはノーマルを選び、デジタルで再生しないでください。詳しくは、レーザーディスクプレーヤーの取扱説明書をご覧ください。





*2 TBC(タイムベースコレクター)内蔵ビデオデッキでNTSC標準信号化できる場合も含まれます。

*3 コンポーネントビデオ出力端子のあるDVDプレーヤーのときは、本機のコンポーネント入力の映像入力端子につないでください(㊦58ページ)。

ビデオをつなぐ(つづき)

本機ビデオ1～3入力のS1映像入力端子と映像入力端子の両方につないだときは


ビデオの映像信号をどちらの端子から入力するかを、ビデオ入力ごとにメニュー画面で設定できます。お買い上げ時は、S1映像入力端子から入力された画像が映ります。

- 1 ビデオボタンをくり返し押しして、切り換えたいビデオ入力を選ぶ。
- 2 メニューボタンを押しして、メニューを出す。
- 3  (各種切換) を選び、真ん中を押しこんで決定する。
- 4  「S映像」を選び、真ん中を押しこんで決定する。
- 5 S1映像入力端子から入力された画像を見るときは
 「入」を選び、真ん中を押しこんで決定する。
映像入力端子から入力された画像を見るときは
 「切」を選び、真ん中を押しこんで決定する。
- 6 メニューボタンを押しして、メニューを消す。

本機BSデコーダー/ビデオ4入力端子にビデオ機器をつなぐときは

ビデオ4入力端子として働くように、以下の設定をしてください。

本体のボタンを使います。


- 1 設定ボタンを押して、設定メニューを出す。
- 2 選択 \triangle / \square ボタンで「 (BS設定)」を選び、決定ボタンを押す。
- 3 選択 \triangle / \square ボタンで「デコーダー/ビデオ」を選び、決定ボタンを押す。
- 4 選択 \triangle / \square ボタンで「ビデオ」を選び、決定ボタンを押す。
- 5 設定ボタンを押して、設定メニューを消す。

ビデオ1入力の信号をBS/ビデオ出力端子から出力するときは

お買い上げ時は、ビデオ1入力端子につないだ機器の信号は、BS/ビデオ出力端子から出力されないようになっています。

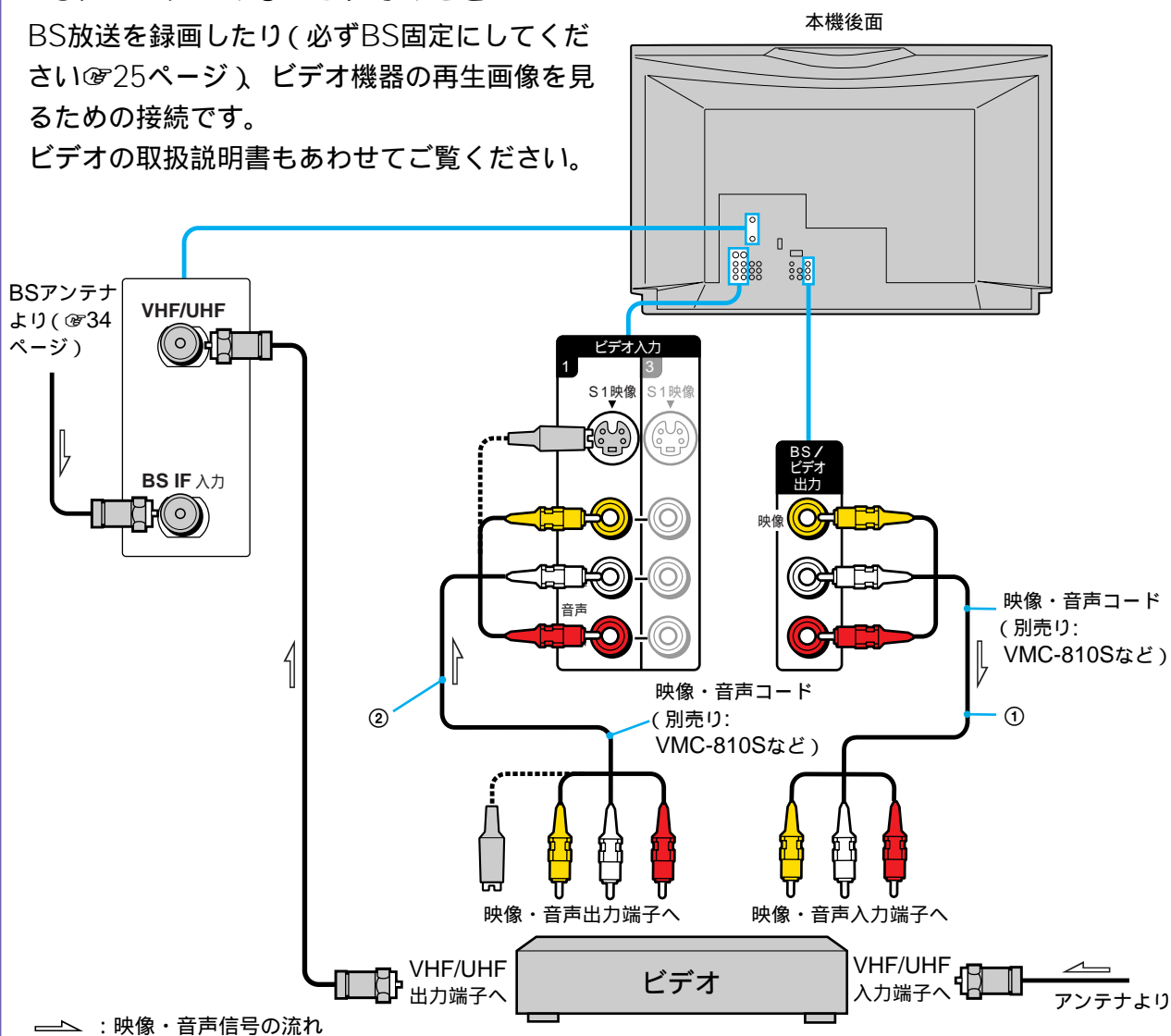
そのため、BS/ビデオ出力端子につないだオーディオ機器などで、ビデオ1入力の音声を楽しむときなど(⑤59ページ)は、以下の設定をしてください。ビデオ1入力端子につないだ機器の映像および音声はBS/ビデオ出力端子から出力されます。

本体のボタンを使います。

- 1 設定ボタンを押して、設定メニューを出す。
- 2 選択 \triangle / \square ボタンで「 (初期設定)」を選び、決定ボタンを押す。
- 3 選択 \triangle / \square ボタンで「ビデオ出力設定」を選び、決定ボタンを押す。
- 4 選択 \triangle / \square ボタンで「ビデオ1あり」を選び、決定ボタンを押す。
- 5 設定ボタンを押して、設定メニューを消す。

BSチューナーのないビデオのとき

BS放送を録画したり(必ずBS固定にしてください②5ページ)、ビデオ機器の再生画像を見るための接続です。
ビデオの取扱説明書もあわせてご覧ください。



①BS放送をビデオに録画するための接続です(②25ページ)。

②ビデオの再生画像を見るための接続です(②16ページ)。ビデオにS映像出力端子があるときはS映像・音声コード(別売り:YC-810Sなど)でつなぐと、よりきれいな画像を楽しめます。

ビデオを見るには

ビデオボタンを押して、ビデオをつないだビデオ1入力(「ビデオ1」)を表示させる。
詳しくは、②16ページをご覧ください。

ご注意

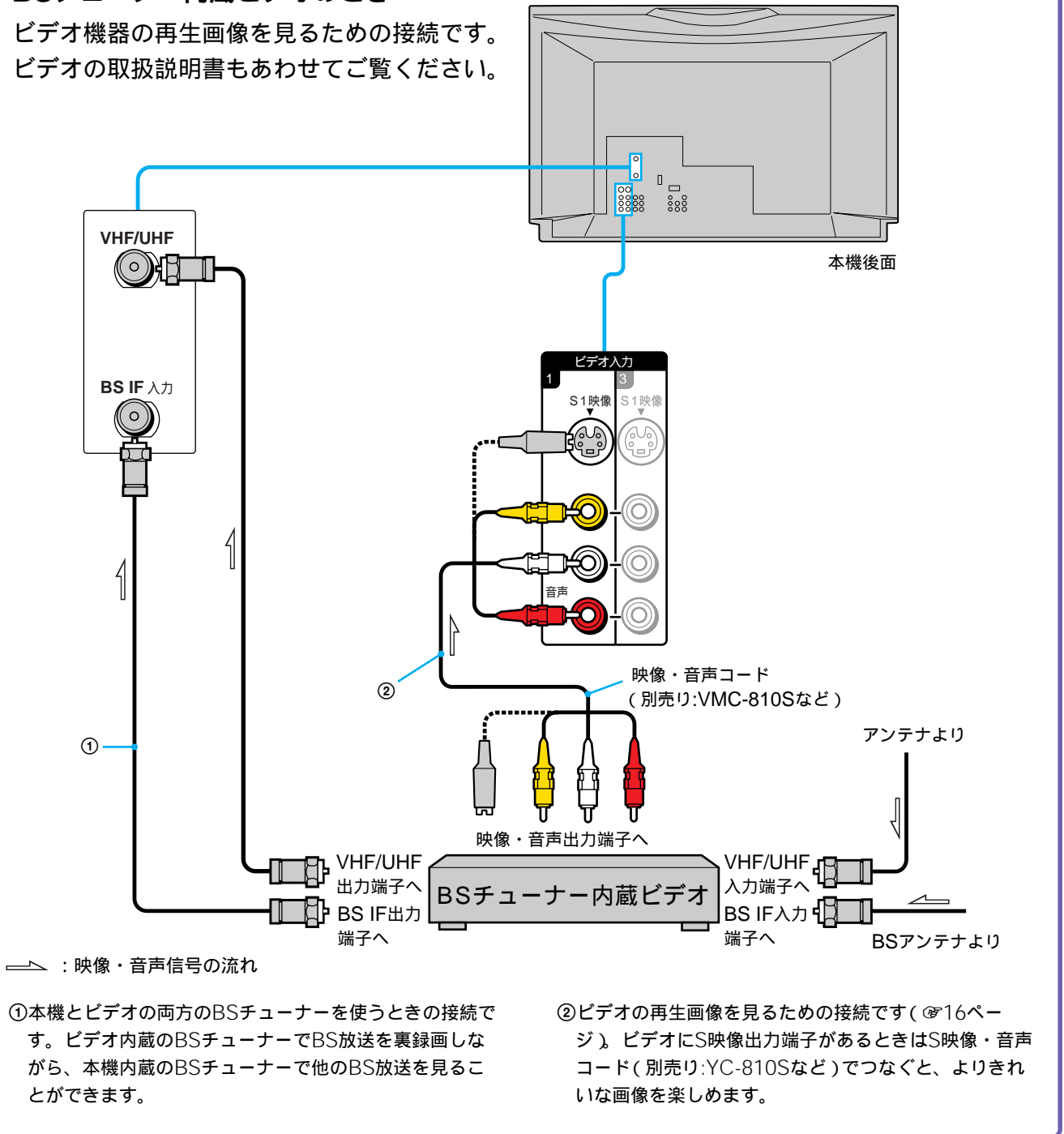
- BS放送を録画するときは、BS固定をしてください(②25ページ)。BS固定をすると、ビデオをつないだ端子のビデオ入力を選んで、録画している画像を確認し、本機で受信しているBS放送がビデオに正しく録画されているかをチェックできます。
BS固定をしないと、画像が乱れることがあります。
- テレビをモニターとして使い、ビデオなどで編集するときは、再生機をビデオ1入力を除いたビデオ2、3入力端子、またはBSデコーダー/ビデオ4入力端子につないでください。お買い上げ時は、ビデオ1入力端子につないだ機器の信号はBS/ビデオ出力端子から出力されない設定になっているためです(②48ページ)。

次のページにつづく

ビデオをつなぐ(つづき)

BSチューナー内蔵ビデオのとき

ビデオ機器の再生画像を見るための接続です。
ビデオの取扱説明書もあわせてご覧ください。



ビデオを見るには

ビデオボタンをくり返し押して、ビデオをつないだビデオ1入力(「ビデオ1」)を表示させる。
詳しくは、④16ページをご覧ください。

ご注意

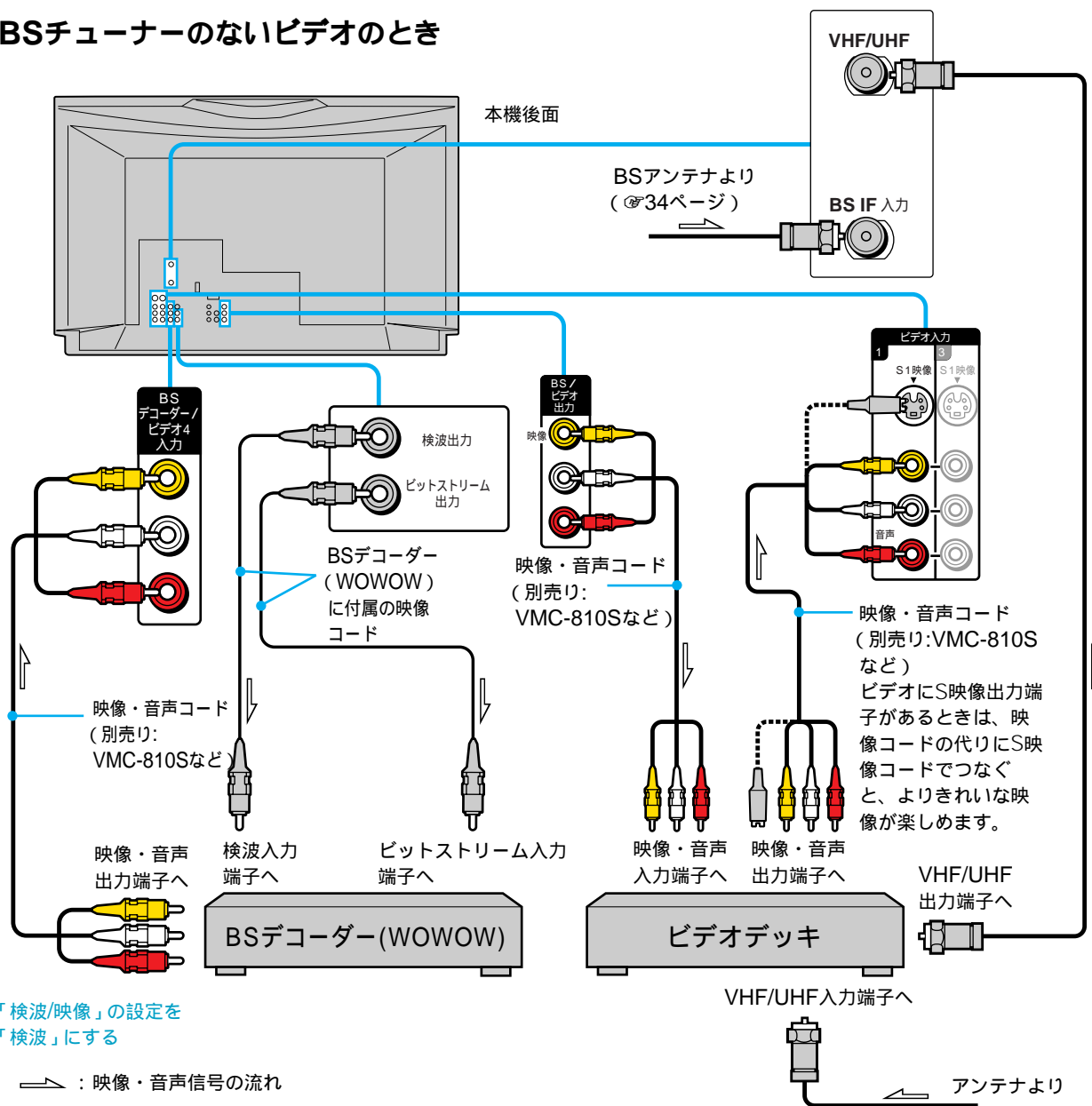
テレビをモニターとして使い、ビデオなどで編集するときは、再生機をビデオ1入力を除いたビデオ2、3入力端子、またはBSデコーダー/ビデオ4入力端子につないでください。お買い上げ時は、ビデオ1入力端子につないだ機器の信号はBS/ビデオ出力端子から出力されない設定になっているためです(④48ページ)。

BSデコーダー (WOWOW)を つなぐ

WOWOWを見るには、WOWOWと受信契約が必要です。詳しくはWOWOWへお問い合わせください。WOWOWを見るには、④53ページをご覧ください。

WOWOWと受信契約をすると送られてくるBSデコーダー(WOWOW)の取扱説明書もあわせてご覧ください。また、BSデコーダー(WOWOW)とMUSE-NTSCコンバーターの両方をつなぐときは、④55ページもあわせてご覧ください。

BSチューナーのないビデオのとき



他機との接続

ご注意

- WOWOWを録画するときは、テレビ側でWOWOWを受信し、録画してください。
- WOWOWも含めたBS放送を録画するときは、BS固定をしてください(④25ページ)。BS固定をしないと、ビデオをつないだ端子のビデオ入力を選んで、録画している画像を確認し、本機で受信しているBS放送がビデオに正しく録画されているかをチェックできます。BS固定をしないと、画像が乱れることがあります。

- BSデコーダー(WOWOW)は、必ず本機のBSデコーダー/ビデオ4入力端子につないでください。BSデコーダー/ビデオ4入力端子以外につなぐと、チャンネルボタン(例:BS5)を押しても選局できません。

次のページにつづく

本機BSデコーダー/ビデオ4入力端子にBSデコーダー(WOWOW)をつなぐときは

お買い上げ時は、デコーダー入力端子として働くように設定されているため、設定し直す必要はありません。

ビデオ4入力端子としてビデオデッキなどをつないでいた代わりに、新たにBSデコーダー(WOWOW)をつなぎ直したときは、設定し直してください。

本体のボタンを使います。

- 1 設定ボタンを押して、設定メニューを出します。
- 2 選択 \triangle / \square ボタンで「 \odot (BS設定)」を選び、決定ボタンを押す。
- 3 選択 \triangle / \square ボタンで「デコーダー/ビデオ」を選び、決定ボタンを押す。
- 4 選択 \triangle / \square ボタンで「デコーダー」を選び、決定ボタンを押す。
- 5 設定ボタンを押して、設定メニューを消す。

WOWOWを見るには

BSデコーダー(WOWOW)の電源を入れて、本機リモコンのBS5ボタンを押す。

St.GIGAを聞くには

St.GIGAは、WOWOWとは別に受信契約をしないと聞けません。

- 1 メニューボタンを押して、メニューを出します。
- 2 \blacktriangle / \blacktriangledown で「 \square (各種切替)」を選び、真ん中を押しこんで決定する。
- 3 \blacktriangle / \blacktriangledown で「TV/独立音声」を選び、真ん中を押しこんで決定する。
- 4 \blacktriangle / \blacktriangledown で「独立」を選び、真ん中を押しこんで決定する。
スクランブルがかかっているときは、デコーダー側で独立音声に切り換えます。
- 5 メニューボタンを押して、メニューを消す。

ご注意

WOWOWを見ているときは、「独立」などの音声モードはテレビ画面に表示されません。デコーダー側で切り換えてください。

ちょっと一言

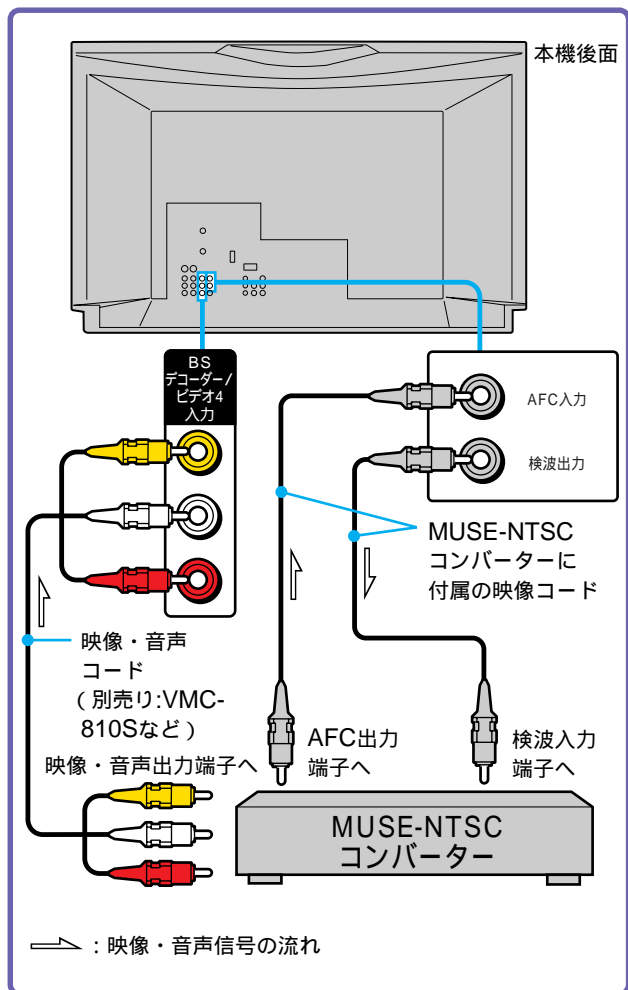
1999年5月現在、St.GIGAはBS5チャンネルでのみ放送されています。

MUSE-NTSC コンバーターを つなぐ

通常のテレビ放送と同等の画質（NTSC）で、ハイビジョン放送を見られます。MUSE-NTSCコンバーターの取扱説明書も必ずご覧ください。

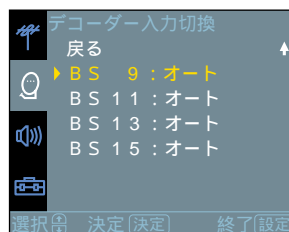
本機リモコンのBS9ボタンでハイビジョン放送を見るには

BSデコーダー（WOWOW）をつながないときは、以下の接続と設定をしてください。本機リモコンのBS9ボタンで、ハイビジョン放送を見ることができます。MUSE-NTSCコンバーターとBSデコーダー（WOWOW）の両方をつなぐときは、次ページをご覧ください。



設定には本体のボタンを使います。

- 1 本機でBS放送を映す。
- 2 設定ボタンを押して、設定メニューを出す。
- 3 選択 \triangle / \square ボタンで「 $\text{\textcircled{9}}$ (BS設定)」を選び、決定ボタンを押す。
- 4 選択 \triangle / \square ボタンで「デコーダー入力切換」を選び、決定ボタンを押す。
- 5 選択 \triangle / \square ボタンで「BS9」を選び、決定ボタンを押す。
「BS9」は、 \square ボタンを押し続けると出てくる画面にあります。



- 6 選択 \triangle / \square ボタンで「デコーダー」を選び、決定ボタンを押す。
- 7 選択 \triangle / \square ボタンで「BS5」を選び、決定ボタンを押す。
- 8 選択 \triangle / \square ボタンで「テレビ」を選び、決定ボタンを押す。
- 9 設定ボタンを押して、設定メニューを消す。
- 10 MUSE-NTSCコンバーターで、画面モードを「フル」にする。
MUSE-NTSCコンバーターの取扱説明書もご覧ください。
- 11 本機リモコンのBS9ボタンを押す。
ハイビジョン放送が映ります。

ご注意

MUSE-NTSCコンバーターによっては、ハイビジョン放送を見るときにオートワイドが正しく働かないことがあります。このときは、ワイド切換ボタンをくり返し押して、画面モードを選んでください。

ちょっと一言

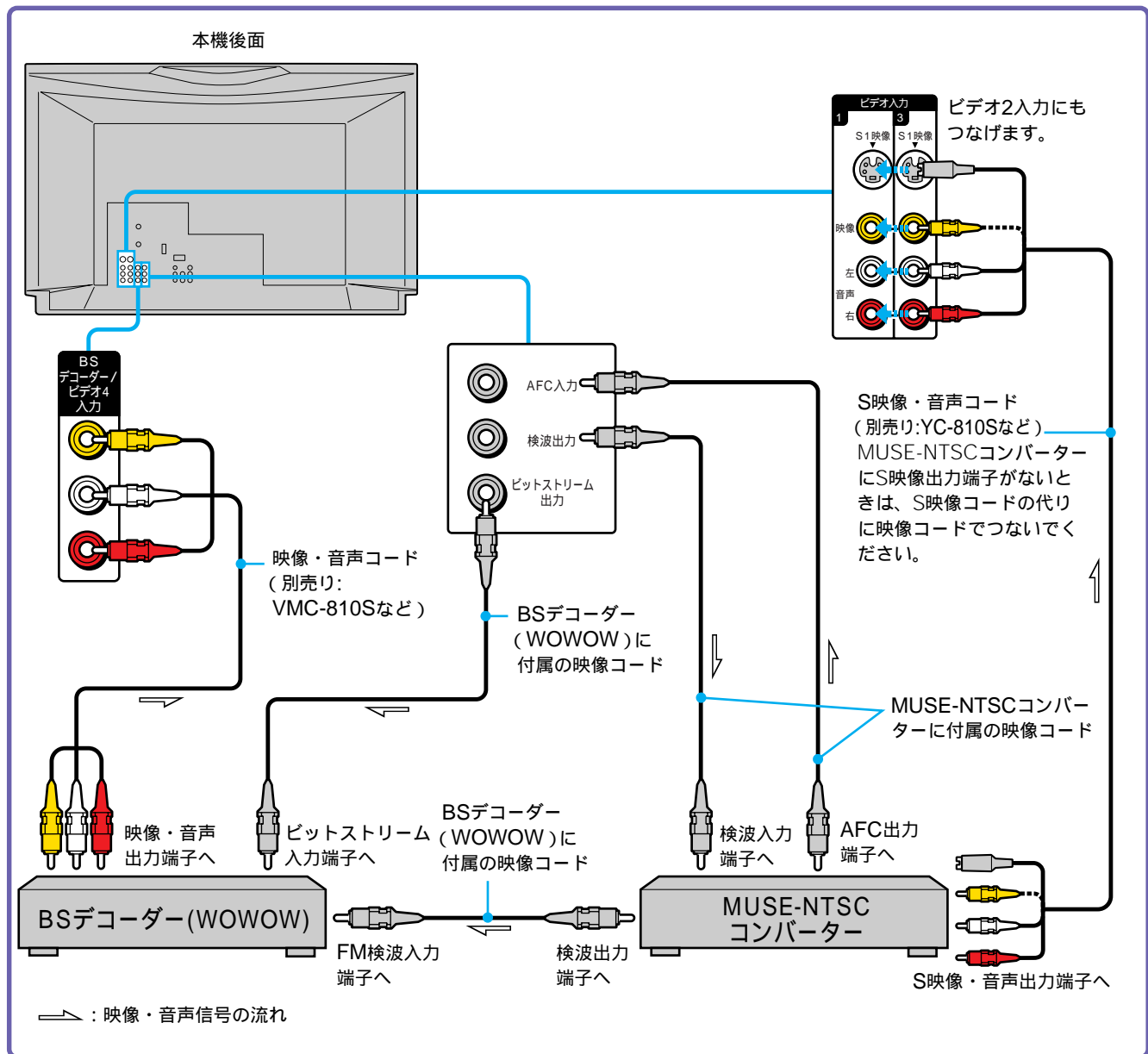
お買い上げ時「デコーダー入力切換」は、すべてのBSチャンネルとも「オート」に設定されています。「オート」にすると、デコーダー入力端子につないだ機器から入るWOWOWなどBS放送のスクランブルを、自動的に判別して映します。

MUSE-NTSCコンバーターとBSデコーダー(WOWOW)の両方をつなぐときは

以下の接続をしてください。また、MUSE-NTSCコンバーターとBSデコーダー(WOWOW)の取扱説明書も必ずご覧ください。

ご注意

この接続では、本機リモコンのBS9ボタンを押しても、ハイビジョン放送は映りません。MUSE-NTSCコンバーターがビデオ入力端子に接続されているためです。



ハイビジョン放送を見るには

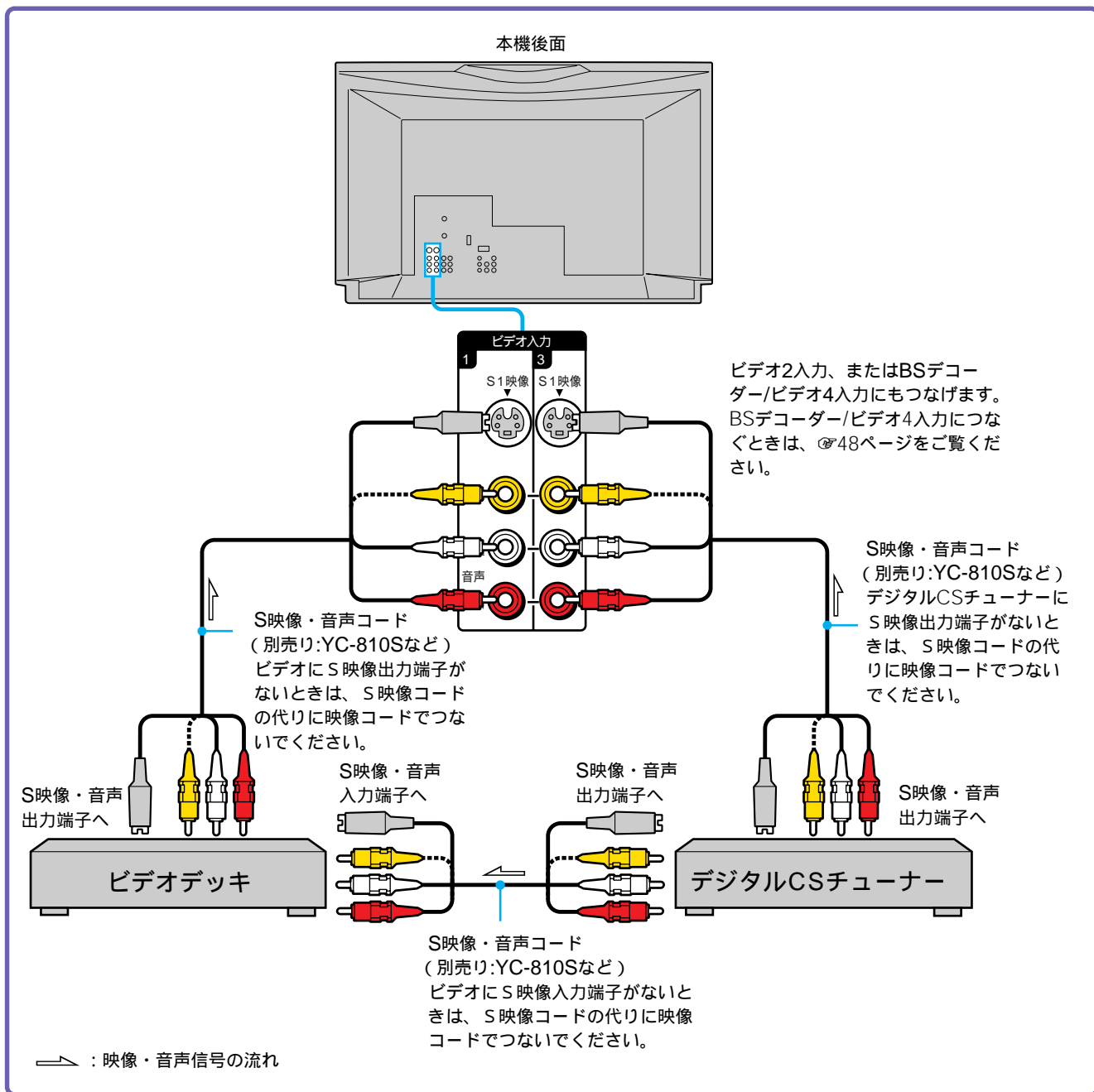
- 1 本機リモコンのBS9ボタンを押す。
- 2 MUSE-NTSCコンバーターをつないだビデオ入力(「ビデオ1」~「ビデオ3」のいずれか)を表示させる(☞16ページ)。
- 3 MUSE-NTSCコンバーターで、画面モードを「フル」にする。
詳しくは、MUSE-NTSCコンバーターの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

MUSE-NTSCコンバーターによっては、ハイビジョン放送を見るときにオートワイドが正しく働かないことがあります。このときは、ワイド切替ボタンをくり返し押して、画面モードを選んでください。

デジタルCSチューナーをつなぐ

デジタルCS放送を見るには、デジタルCS放送局と受信契約が必要です。詳しくはデジタルCS放送局へお問い合わせください。
デジタルCSチューナーの取扱説明書もあわせてご覧ください。



デジタルCS放送を見るには

ビデオボタンをくり返し押して、デジタルCSチューナーをつないだビデオ入力(「ビデオ1」~「ビデオ4」のいずれか)を表示させる。
詳しくは、④16ページをご覧ください。

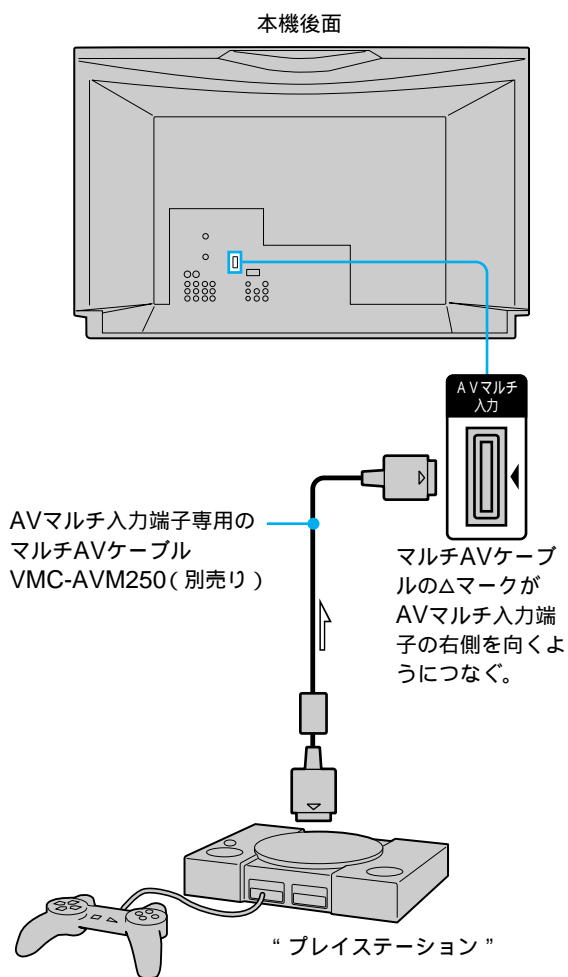
テレビゲームをつなぐ

本機後面のAVマルチ入力端子や、本機前面のビデオ2入力端子にテレビゲームをつなぎます。“プレイステーション”やテレビゲームの取扱説明書もあわせて、お読みください。

“プレイステーション”は、(株)ソニー・コンピュータエンタテインメントの登録商標です。

“プレイステーション”をAVマルチ入力端子につなぐ

RGB接続になり、よりきれいな画像でゲームを楽しむことができます。




“プレイステーション”をするには

AVマルチボタンを押す。

詳しくは、④16ページをご覧ください。

“プレイステーション”の画面の左右位置を調整するには

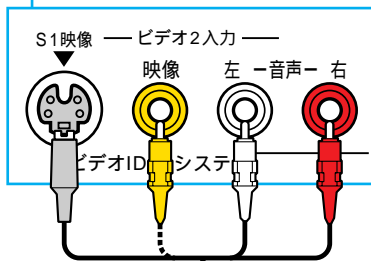
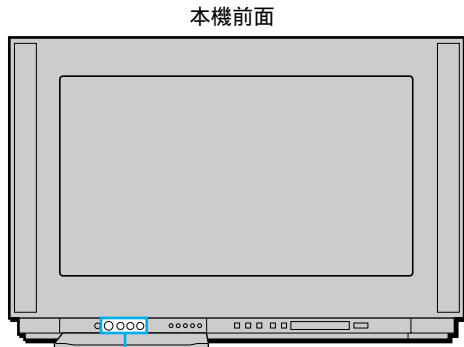
- 1 メニューボタンを押して、メニューを出す。
- 2 ▲/▼で「 (各種切換)」を選び、真ん中を押しこんで決定する。
- 3 ▲/▼で「AVマルチ画面位置」を選び、真ん中を押しこんで決定する。
- 4 ←/→で画面の左右位置を調整する。
- 5 メニューボタンを押して、メニューを消す。

ご注意

- AVマルチ入力端子は、RGB映像信号のため、ビデオ入力端子に比べて色の帯域が広がっています。色あいが異なる場合がありますが、本機に影響はありません。
- 電子的なライフルやガン(銃)などで標的にして楽しむシューティングゲームなどは、本機の画面を使用できないことがあります。詳しくは、ゲームソフトの取扱説明書をご覧ください。
- AVマルチ入力端子につないだ機器の映像のときは、DRC-MFモード切換ボタン(④7ページ)が動かないことがあります。テレビゲームの映像がプログレッシブ信号のときは自動的に判断して、プログレッシブモードに固定するためです。

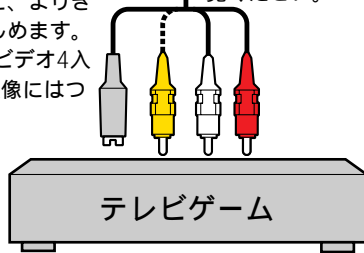
テレビゲームをつなぐ(つづき)

ビデオ2入力端子につなぐ



テレビゲームに付属のケーブル、またはテレビゲームに対応した別売りのケーブルや映像・音声コード(VMC-810Sなど)
 テレビゲームにS映像出力端子があるときはS映像コードでつなぐと、よりきれいな映像が楽しめます。(BSデコーダー/ビデオ4入力の場合は、S映像にはつなげません。)

本機後面のビデオ1、3入力、またはBSデコーダー/ビデオ4入力にもつなげます。BSデコーダー/ビデオ4入力につなぐときは、[P.48](#)ページをご覧ください。



⇒ : 映像・音声信号の流れ

テレビゲームをするには

ビデオボタンをくり返し押して、テレビゲームをつないだビデオ入力(「ビデオ1」~「ビデオ4」のいずれか)を表示させる。
 詳しくは、[P.16](#)ページをご覧ください。

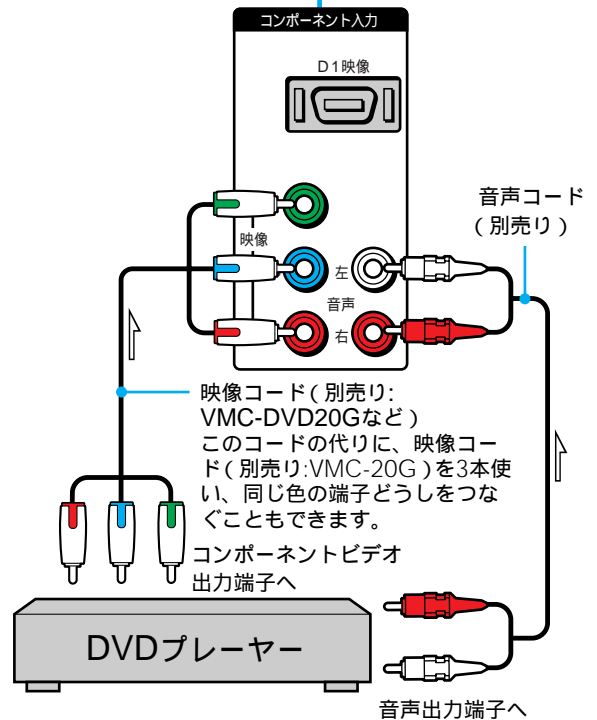
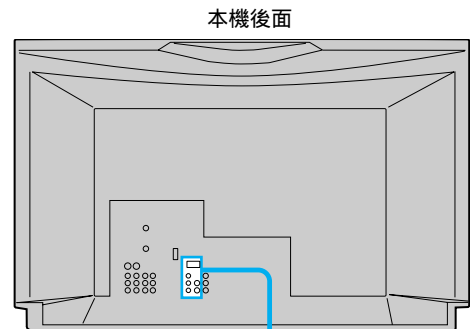
ご注意

電子的なライフルやガン(銃)などで標的にして楽しむシューティングゲームなどは、本機の画面を使用できないことがあります。詳しくは、ゲームソフトの取扱説明書をご覧ください。

DVDプレーヤーをつなぐ

コンポーネントビデオ出力端子のあるDVDプレーヤーは本機のコンポーネント入力の映像端子につなぐと、より高画質の画像をお楽しみいただけます。
 DVDプレーヤーの取扱説明書もあわせてご覧ください。

コンポーネントビデオ出力端子のあるDVDプレーヤーのときは



映像コード(別売り: VMC-DVD20Gなど)
 このコードの代わりに、映像コード(別売り: VMC-20G)を3本使い、同じ色の端子どうしをつなぐこともできます。

コンポーネントビデオ出力端子へ

音声出力端子へ

DVDプレーヤーのコンポーネントビデオ映像端子は、メーカーにより色や名前が異なります。右表のようにつないでください。

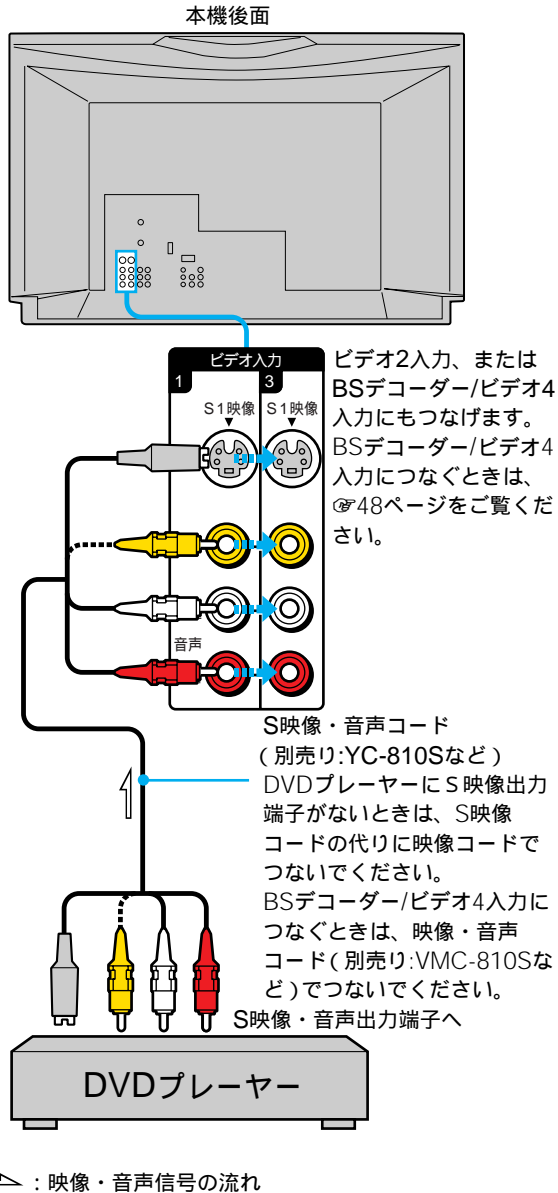
DVDプレーヤーの映像端子	本機の映像端子
Y端子	Y端子
C _B 、B-Y、P _B 端子	C _B 端子
C _R 、R-Y、P _R 端子	C _R 端子

⇒ : 映像・音声信号の流れ

DVDを見るには

コンポーネントボタンを押す。
詳しくは、④16ページをご覧ください。

コンポーネントビデオ出力端子のないDVDプレーヤーのときは

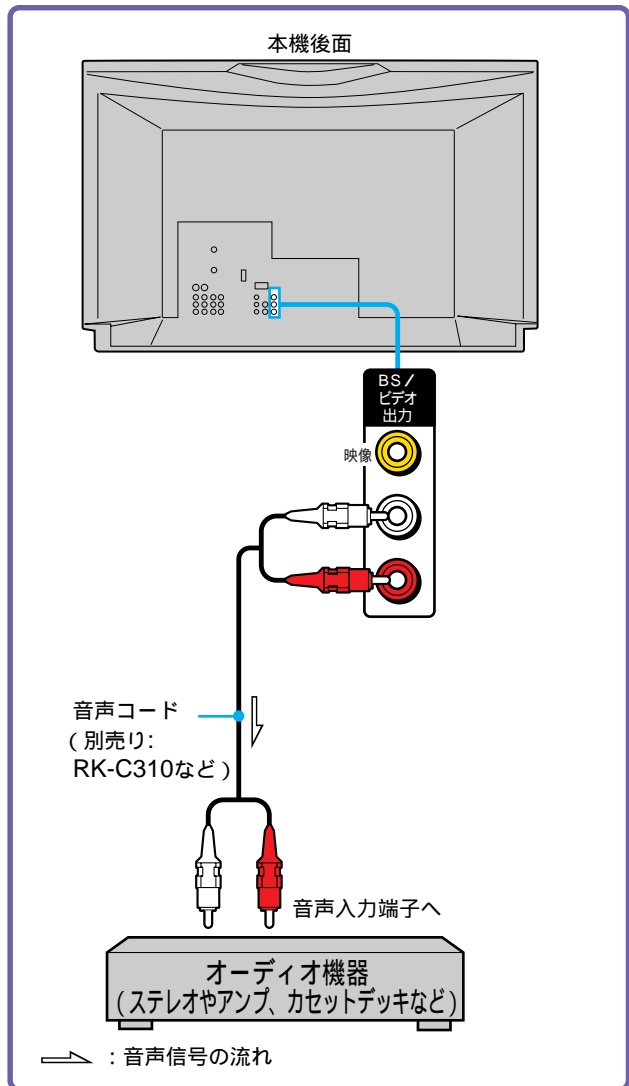


DVDを見るには

ビデオボタンをくり返し押して、DVDプレーヤーをつないだビデオ入力(「ビデオ1」~「ビデオ4」のいずれか)を表示させる。
詳しくは、④16ページをご覧ください。

オーディオ機器をつなぐ

つないだオーディオ機器でテレビの音量を調整したり、つないだスピーカーからテレビの音声を聞いたりできます。
オーディオ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。



ご注意
コンポーネント入力につないだ機器の映像信号は出力しません。

ちょっと一言
お買い上げ時は、ビデオ1入力につないだ機器の映像および音声信号は出力しない設定になっています。ビデオ1入力につないだ機器の映像および音声を出力するときは、設定メニューの「 (初期設定)」で、「ビデオ出力設定」を「ビデオ1あり」にしてください(④48ページ)。

その他

ここでは、本機が正常に動かないときに解決する方法や、お手入れのしかたなどについて説明しています。

また、各部の名前や索引を使って、知りたい情報を探すこともできます。



故障かな？ と思ったら

自己診断表示 - 画面が消え、スタンバイ/オフタイマーランプが点滅したら







本機には自己診断表示機能がついています。これは本機に異常が起きたときに、スタンバイ/オフタイマーランプの点滅およびその回数でテレビの状態をお知らせし、よりスムーズにサービス対応させていただくための機能です。スタンバイ/オフタイマーランプが赤く点滅したら、下の手順にそって、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。










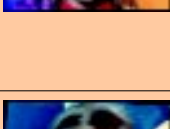
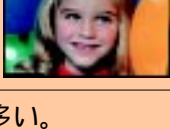


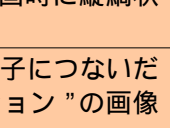
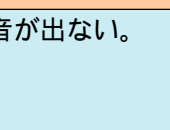

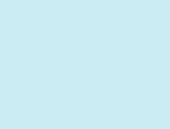


スタンバイ/オフタイマーランプ(赤)







- 1 スタンバイ/オフタイマーランプの点滅回数を数えてください。3秒おきに点滅します。
たとえば、2回点滅→3秒あき→2回点滅...この場合の点滅回数は2回です。
- 2 お買い上げ店またはソニーサービス窓口にて点滅回数を知らせてから、テレビ本体の電源スイッチで電源を切り、電源コンセントを抜いてください。

本機の症状と対処のしかた

症状	対処のしかた	
画像が出ない	すべてのチャンネルが映らない。	<ul style="list-style-type: none"> 電源コードをしっかりとつないでください。 テレビ本体の電源を入れてください。 アンテナ線をしっかりとつないでください。
	特定のチャンネルだけが映らない。	<ul style="list-style-type: none"> チャンネルを合わせ直してください(☎35ページ)。
	テレビの電源が突然切れた/いつのまにか消えていた(スタンバイ状態になった)。	<ul style="list-style-type: none"> テレビの消し忘れを防ぐため、放送終了後(2画面では操作画面、メモでは左画面、インデックス画面では中央画面の放送終了後)または放送のないチャンネルを受信している状態やつないだ機器からの入力信号がない状態で約10分過ぎると、「オートシャットオフ」と表示されて、自動的にスタンバイ状態になります。 オフタイマーを設定していませんか?(☎27ページ)
	つないだ機器の画像が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> 接続コードをしっかりとつないでください。 リモコンの入力切換ボタンを押してください(☎16ページ)。 S映像入力のときは、メニューの「 (各種切換)」で「S映像:入」にしてください(☎48ページ)。
BS放送が映らない/乱れる	BS放送が映らない/画像が乱れている。	<p>マンションなどの共同受信システムの場合</p> <ul style="list-style-type: none"> 設定メニューの「 (BS設定)」で「BSアンテナ電源:切」にしてください(☎38ページ)。 サテライト分波器でVHF/UHFとBSを分けてください(☎33ページ)。 ケーブルの芯線をコネクターに正しく差し込んでください。 <p>BSアンテナを直接つないでいる場合</p> <ul style="list-style-type: none"> 設定メニューの「 (BS設定)」で「BSアンテナ電源」を「オート」または「連動」にしてください(☎38ページ)。 BSアンテナ側は防水型コネクターをつないでください。 アンテナの大きさが適切かを確認してください。 アンテナの前方に障害物があれば取り除いてください。 アンテナの方向・角度を調整してください(☎39ページ)。 <p>複数のBS機器をサテライト分波器でつないでいる場合</p> <ul style="list-style-type: none"> BSアンテナ用電源を供給する機器のスイッチを「入」にしてください。 <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> BSの放送時間を確認してください。 雨や雪が降ると、映りが悪くなることがあります。 BS専用のケーブルを使ってください(☎34ページ)。 アンテナコネクター(バルーン)を使っていないかを確認してください。 設定メニューの「 (BS設定)」で「デコーダー入力切換」を確認してください(☎40、54ページ)。 WOWOWなどのスクランブル放送でないかを確認してください。
	BS放送のチャンネルが切り換わらない。	<ul style="list-style-type: none"> BS固定にしていないかを確認してください(☎25ページ)。
	WOWOWが映らない。	<ul style="list-style-type: none"> WOWOWを見るには、WOWOWと受信契約が必要です。詳しくはWOWOWへお問い合わせください。 BSデコーダー(WOWOW)は、本機のBSデコーダー/ビデオ4入力端子につないでください。 設定メニューの「 (BS設定)」の「デコーダー/ビデオ」を「デコーダー」にしてください(☎53ページ)。 設定メニューの「 (BS設定)」の「デコーダー入力切換」で、BS5チャンネルを「オート」または「デコーダー」にしてください(☎40ページ)。

故障かな?と思ったら (つづき)

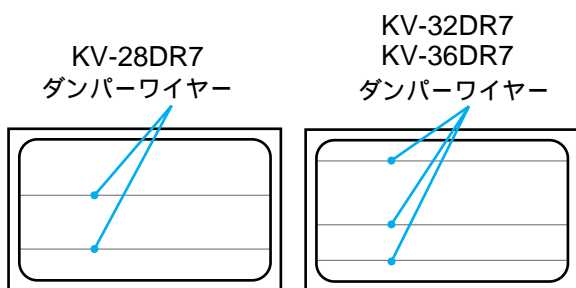
症状	対処のしかた	
画像が二重、三重になる。 	<ul style="list-style-type: none"> アンテナ線をしっかりつないでください。 アンテナの位置、方向、角度を調整してください。 設定メニューの「 (テレビ設定)」の「GR設定変更」で「GR:入」にしてください(④42ページ)。 	
雪が降るような画面、うすい画面、風がふくとちらつく。 	<ul style="list-style-type: none"> アンテナが風でこわれたり曲がったりしていないか確認してください。 アンテナの寿命を確認してください(通常3~5年、海辺では1~2年)。 	
斑点や点模様が走る。 	<ul style="list-style-type: none"> ヘアードライヤー、自動車、バイクなどからの雑音電波の干渉を受けています。アンテナはなるべく道路から離して設置してください。 	
色がつかない、色がおかしい、画面が暗い。 	<ul style="list-style-type: none"> お好み画質ボタンを押して、画質設定を選んでください(④6ページ)。 メニューの「 (画質/音質)」で画質を調整してください。 「消費電力:減」のときは、画面が暗くなります(④8ページ)。 	
画面がまぶしい。 	<ul style="list-style-type: none"> お好み画質ボタンを押して、画質設定を選んでください(④6ページ)。 	
画面の一部に色むらがある。 	<ul style="list-style-type: none"> テレビをマンションの壁、金属スタンド、ビデオデッキまたはスピーカーなどから離して置いてください。 テレビをしばらく見た後、テレビの向きを変えると色むらが発生することがあります。このときは、地磁気の影響を受けています。1度電源を切り、約30分後にテレビを見る向きにしてから電源を入れ直すと、自動消磁回路が働き、地磁気の影響が軽減されます。 	
画像が傾いている、上下にかたよっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 設定メニューの「 (初期設定)」で「方角補正 回転」と「方角補正 上下」を調整してください(④43ページ)。 	
縞状のノイズが多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 付属のアンテナ接続ケーブルを使って、テレビアンテナをつないでいるかを確認してください。 アンテナ線は他の電源コードや接続ケーブルからできるだけ離してください。 室内アンテナは特に電波妨害を受けやすいため、使わないでください。 	
ビデオの再生/録画時に縦縞状のノイズが出る。 	<ul style="list-style-type: none"> ビデオヘッドが干渉しています。できるだけビデオをテレビから離して置いてください。 	
AVマルチ入力端子につないだ“プレイステーション”の画像がずれる。 	<ul style="list-style-type: none"> メニューの「 (各種切換)」で「AVマルチ画面位置」を調整してください(④57ページ)。 	
きれいに映らない 音がでない / 雑音が多い	画像は出るが、音が出ない。 	<ul style="list-style-type: none"> 音量が下がりきっていないか確認してください。 画面に「消音」の表示が出ているときは、リモコンの消音ボタンが音量+ボタンを押して表示を消してください。 ヘッドホンを抜いてください。
	雑音が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 付属のアンテナ接続ケーブルを使って、テレビアンテナをつないでいるかを確認してください。 アンテナ線は他の電源コードや接続ケーブルからできるだけ離してください。 室内アンテナは特に電波妨害を受けやすいため、使わないでください。 設定メニューの「 (音声設定)」で「オートステレオ」を「切」にしてください(④24ページ)。

症状		対処のしかた
メニューが選べない／表示が消えない	メニューで選べない項目がある。	<ul style="list-style-type: none"> • 黒色で表示されている項目は選べません(見ている画像の種類やメニューの設定によって、選べないように制約されています)
	「BSアンテナ電源を確認してください」の表示が消えない。	<ul style="list-style-type: none"> • マンションなどの共同受信システムのときは、設定メニューの「 (BS設定)」で「BSアンテナ電源」を「切」にしてから、いったんテレビの電源を切ってください(38ページ) • BSアンテナをつないでいるときは、BSアンテナのアンテナ線がショートしています。テレビ本体の電源を切って、お買い上げ店またはサービス窓口にご相談ください。
ワイド画面が切り換わる	オートワイドのときに画面モードが勝手に切り換わる。	<ul style="list-style-type: none"> • CMが入ったり番組が変わったりするときなどに、画面サイズが変わって不自然に見えたり、変わるまでに数秒間かかったりすることがあります。番組に最適なワイド画面を本機が判断しているためです(9ページ) • 識別制御信号のある画像を受信して、自動的に信号に対応した画面モードになるためです(9ページ) • オートワイドが働いているときに、ワイド切替ボタンでワイド画面を切り換えていませんか。チャンネルや入力を変えたりするとオートワイドが働き、自動的にワイド画面に切り換わります。ワイド切替ボタンで切り換えた画面モードで固定したいときは、オートワイドを「切」にしてください(19ページ)
テレビから異音が出る	「ピシッ」というきしみ音が出る。	<ul style="list-style-type: none"> • 周囲の温度変化でキャビネットが伸縮し、「ピシッ」という音が出ることがありますが、本機に影響はありません。
	電源を入れたときにブーンという音がする。	<ul style="list-style-type: none"> • 地磁気などの影響を取り除く消磁回路の動作音で、本機に影響はありません。
	テレビの電源を切った直後に、テレビの後ろからパチパチ音がする。	<ul style="list-style-type: none"> • テレビ内部で発生する静電気が原因で、本機に影響はありません。
一瞬光る画面が	暗い部屋で電源を入れたときに、画面周辺が一瞬光って見える。	<ul style="list-style-type: none"> • ブラウン管内で、電源が入る際に発生する高電圧のために、ブラウン管内の蛍光部が光るためです。本機の性能その他に影響はありません。
リモコンが働かない	リモコンで操作できない。	<ul style="list-style-type: none"> • 電池を交換してください。 • 電池のを正しい向きに入れてください。 • 本体のスタンバイ/オフタイマーランプが赤く点灯していないときは、本体の電源スイッチを押してください。 • リモコンをリモコン受光部に正しく向けて、近くから操作してください。 • リモコン受光部の近くに蛍光灯などの強い照明があたっているときは、離して置いてください。
	リモコンのチャンネル数字ボタンを押しても、チャンネルが選べない。	<p>ダイレクト選局の場合(40ページ)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 設定メニューの「 (テレビ設定)」の「選局」が「ダイレクト」になっているかを確認してください。 <p>10キー選局の場合(40ページ)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 設定メニューの「 (テレビ設定)」の「選局」が「10キー」になっているかを確認してください。 • 11チャンネルは①を2回、12チャンネルは①と②を続けて押してから、/選局を押してください。 • チャンネル数字ボタンに続けて/選局を押してください。

故障かな？と思ったら (つづき)

画面に細い横線が出たら(ダンパーワイヤー)

画像によっては、極めて細い水平線が見ることがあります。これは、ダンパーワイヤーと呼ばれる線材の影で、位置は下図に示されているとおりです。ダンパーワイヤーはトリニトロン管内部のアパチャグリルの振動を抑えるために取り付けられており、より高画質な映像をお楽しみいただけるように工夫されたものです。



ブラウン管表面の お手入れについて

ブラウン管表面が汚れているときは、市販のガラスクリーナー、または研磨剤の入っていない中性洗剤を水で薄め、柔らかい布に含ませ固く絞ってから、拭き取ってください。

表面を傷つけることがあるため、固い布の使用や、から拭きはやめてください。また、塩素系や塩酸などの酸性洗浄液や、クレンザーや歯磨粉など研磨剤入りの洗浄剤も使わないでください。

保証書とアフターサービス

本機は日本国内専用です。電源電圧や放送規格の異なる海外ではお使いになれません。

保証書について

- この製品は保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げの店からお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。ただし、ブラウン管代およびブラウン管の交換にもなる技術料、出張料は2年間無料です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを「故障かな？と思ったら」の項を参考にして、故障かどうかをお調べください。

それでも具合が悪いときはサービス窓口へお買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にある、お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

部品の保有期間について
当社では、カラーテレビの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後最低8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後でも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。
なお、補修用性能部品の保有期間は通商産業省の指導によるものです。

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

型名 : KV-28DR7, KV-32DR7, KV-36DR7

故障の状態 : できるだけ詳しく

購入年月日 :

お買い上げ店

TEL.

お近くのサービスステーション

TEL.

This television is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

主な仕様

システム

受信方式 NTSC方式
 受信チャンネル VHF 1～12チャンネル
 UHF 13～62チャンネル
 CATV C13～C35(ケーブルテレビ放送会社との受信契約が必要)
 BS1、3、5、7、9、11、13、15

ブラウン管* KV-28DR7:FDトリニオン102度偏向28型
 KV-32DR7:FDトリニオン102度偏向32型
 KV-36DR7:FDトリニオン102度偏向36型

* テレビの型(28型など)は画面寸法を表すものではなく、ブラウン管の外径対角寸法を基準とした大きさの目安です。

画面寸法 KV-28DR7:57.5×32.4、66cm対角
 KV-32DR7:66.2×37.3、76cm対角
 KV-36DR7:75.1×42.2、86.1cm対角
 (幅×高さ、対角径)

使用スピーカー KV-28DR7:ウーファー10cm×2、
 ミッドハイレンジスピーカー(4×10cm楕円)×2
 KV-32DR7:ウーファー10cm×2、
 ミッドハイレンジスピーカー(5×9cm楕円)×2
 KV-36DR7:ウーファー10cm×2、
 ミッドハイレンジスピーカー(5×9cm楕円)×2

音声出力 実用最大
 KV-28DR7:7W×2(EIAJ)
 KV-32DR7:7W×2(EIAJ)
 KV-36DR7(EIAJ準拠)
 ミッドハイレンジスピーカー
 5W×2(1kHz、10%、8)
 ウーファー
 5W×2(100Hz、10%、8)

入出力端子

アンテナ端子 VHF/UHF、BS IF 75Ω F型コネクタ
 (コンバーター用電源出力、DC15V最大4W)

ビデオ1、2、3入力端子
 S1映像:
 4ピンミニDIN
 Y:1Vp-p、75Ω、不平衡、同期負
 C:0.286Vp-p(パースト信号) 75Ω
 映像:ピンジャック、1Vp-p、
 75Ω、不平衡、同期負
 音声:ピンジャック、2チャンネル、
 500mVrms、インピーダンス 47kΩ

BSデコーダー/ビデオ4入力端子
 映像:ピンジャック、1Vp-p、
 75Ω、不平衡、同期負
 音声:ピンジャック、2チャンネル、
 500mVrms
 入力インピーダンス 47kΩ

コンポーネント入力端子
 D1映像:
 Y:1Vp-p(0.3V負同期付き)
 C_B/C_R:±350mVp-p
 入力インピーダンス 75Ω
 映像:ピンジャック
 Y:1Vp-p(0.3V負同期付き)
 C_B/C_R:±350mVp-p
 入力インピーダンス 75Ω
 音声:ピンジャック、2チャンネル、
 500mVrms、インピーダンス
 47kΩ以上

AVマルチ入力端子 12ピン
 BS/ビデオ出力端子

映像:ピンジャック、1Vp-p、75Ω、
 不平衡、同期負
 音声:ピンジャック、2チャンネル、
 500mVrms
 インピーダンス 4.7kΩ以下
 テレビ放送の音声の100%変調時、またはBS放送のFS-18dB時の数値です。

ヘッドホン端子 ステレオミニジャック
 負荷インピーダンス16Ω以上
 検波出力端子 ピンジャック、75Ω、0.67Vp-p
 ビットストリーム出力端子
 ピンジャック、75Ω、0.5Vp-p
 AFC入力端子 ピンジャック、75Ω

電源部・その他

消費電力 KV-28DR7:185W
 (リモコン待機時 BS固定「切」:0.4W)
 (リモコン待機時 BS固定「入」:14W)
 KV-32DR7:185W
 (リモコン待機時 BS固定「切」:0.4W)
 (リモコン待機時 BS固定「入」:14W)
 KV-36DR7:200W
 (リモコン待機時 BS固定「切」:0.4W)
 (リモコン待機時 BS固定「入」:14W)

年間消費電力量** KV-28DR7:235kW・h/年
 KV-32DR7:235kW・h/年
 KV-36DR7:257kW・h/年

**年間消費電力量とは、省エネルギー法に基づいて、型サイズや受信機の種類の算定式により、一般家庭での平均視聴時間(4～5時間)を基準に算出した、一年間に使用する電力量です。

最大外形寸法 KV-28DR7:75.4×49.6×52.5cm
 KV-32DR7:87.4×56.3×57.2cm
 KV-36DR7:95.8×61.3×59.2cm
 (幅×高さ×奥行き)

質量 KV-28DR7:約48.8kg
 KV-32DR7:約67.4kg
 KV-36DR7:約86.9kg

電源 AC100V、50/60Hz
 付属品 リモートコンマダー RM-J231(1)
 乾電池 単3形(2)
 アンテナ接続ケーブル(1)
 取扱説明書(1)
 保証書(1)
 ソニーご相談窓口のご案内(1)
 安全のために(1)
 安全点検のおすすめ(1)

別売りアクセサリ

テレビスタンド KV-28DR7:
 SU-F200P、SU-F200、SU-28V
 KV-32DR7:
 SU-F300P、SU-F300、SU-32V
 KV-36DR7:
 SU-F300P、SU-F300

ステレオヘッドホン MDR-AV55
 テレビラック固定ベルト
 BLT-R10

BSアンテナなど
 接続ケーブルなど

- 本機は「高調波ガイドライン」適合品です。「高調波ガイドライン」適合品とは、通商産業省・資源エネルギー庁の定めた「家電・汎用高調波抑制対策ガイドライン」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルを考慮して設計・製造した製品です。
- このテレビは日本国内用ですから、電源電圧、放送規格の異なる外国ではお使いになれません。
- 仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。

用語集

五十音順

ア行

アンテナレベル

アンテナから入ってくる電波の強さです。天候や気温、時間帯、アンテナ接続ケーブルの長さなどによって影響を受けます。

インターレース(飛び越し走査)

走査線525本のうち、まず奇数番目の走査線(262.5本)を1/60秒かけて描き(この1画面を1フィールドという)、次にその間を埋めるように偶数番目の走査線(262.5本)を描き、合わせて走査線525本の1枚の完全な画面(フレーム)を作っていく飛び越し走査のことです。

本機のDRC-MFモード切替ボタンで選べる「DRC4倍密(標準)モード」は、走査線を通常のNTSC映像の2倍の1050本にして、1フィールド目で走査線の525本全部(本来の1フレーム分)を1/60秒で描き、次のフィールドは、1フィールド目の間を525本で飛び越し走査します。

カ行

ケーブルテレビ(CATV)

契約者と放送局をケーブルで直接結んで番組を提供する有線放送です。通常のテレビ番組やBS放送に加え、スポーツや映画の専門チャンネル、地域情報番組や文字放送などを見ることができます。

検波

放送衛星から送られてくるFM電波を復調することです。

ゴースト

放送局からの電波が、テレビアンテナに届く前に、建物や地形の影響で妨害波となり、時間がズレて二重、三重に受信されることです。そのため、正しく送られてきた画像に妨害波の画像が重なって表われた、見にくい画面となります。

サ行

三次元Y/C分離回路

本機で使っている回路の1つで、映像信号を構成するY信号とC信号を別々に処理し、より鮮明な画像を再現します。

シネマビジョン

画面の横縦比が2.35:1になっている映像ソフトのことです。一般的には黒帯に字幕が入る映画などに使われています。

スクランブル

映像、音声の信号を暗号化することです。民間BS放送(WOWOWなど)では、契約者以外は視聴できないように、電波にスクランブルをかけて(暗号化して)送信しています。スクランブルのかかった放送を視聴するためには、スクランブルを解除する機器(デコーダーなど)が必要です。

走査線

テレビは、左から右へ流れる電子ビームを上から下へ送ることで画面を作っています。この電子ビームが作る線を走査線と呼び、走査線によって、どのように画面を作っていくかで、インターレースやプログレッシブなどの方式があります。

タ行

チューナー

電波を受信して各チャンネルに合わせるための機器です。本機はテレビチューナーおよびBSチューナーを内蔵しています。

デジタル・リアリティ・クリエーション:マルチファンクション(DRC-MF)

テレビ放送やビデオなどのNTSC映像を、ソニー独自のデジタル信号処理アルゴリズムによって、高精細なリアル映像につくり換えます。従来の線形補間方式の処理とは全く異なり、動画部分の輪郭のボケが少ないスッキリとした画像になります。また、映像によって、通常のNTSC映像の4倍の情報量で映し出す「DRC4倍密(標準)モード」と、順次走査を行い、チラツキを抑えた映像にする「DRCプログレッシブモード」を切り換えられます。

デジタルCS放送

通信衛星を使ったCS放送の一種です。従来のアナログCS放送とは違い、映像や音声をデジタル化することで、大量の情報を扱えます。これにより、多チャンネルの放送を高画質・高音質で楽しめます。

独立音声放送

民間BS放送(St. GIGAなど)の中には、1つのチャンネルで映像の音声とは別に、音声だけの放送が行われている場合があります。これが独立音声放送です。

八行

ビスタビジョン

画面の横縦比が1.85:1になっている映像ソフトのことです。一般的には画像の中に字幕が入る映画などに使われています。

ビットストリーム

BS放送で送られてくる電波のデジタル信号(音声とデータ)です。データ信号は、文字放送などに使われています。

プログレッシブ(順次走査)

飛び越し走査(「インターレース」の項目を参照)をしないで、1フィールド目で525本全部の走査線を順番どおりに描き、次のフィールドも同じ場所を525本全部の走査線で描いていく順次走査のことです。

本機のDRC-MFモード切替ボタンで選べる「DRCプログレッシブモード」は、走査線525本の順次走査を行い、静止画の文字やグラフィック、横線などの多い画像で、チラツキを抑えた映像にします。

ヤ行

有効走査線数

走査線のうち、映像信号が載っている走査線の数のことを言います。通常のテレビ放送やBS放送では、525本ある走査線のうち有効走査線数は480本です。ハイビジョン放送では同じく1125本中1035本、将来予定されているデジタルハイビジョン(HD)放送では、1125本中1080本となっています。なお、有効走査線数に含まれていない残りの走査線(映像信号の載っていない走査線)には、画面の横縦比を規定した識別制御信号などが載っています。

数字・アルファベット順

BSデコーダー (WOWOW)

WOWOWなど民間BS放送の電波にかかったスクランブルを解除する機器です。

D端子

将来予定されているBSデジタル放送などに対応したコンポーネント映像端子です。BSデジタル放送受信アダプターなどと、1本のケーブルで簡単に映像信号を接続できます。コンポーネント映像で接続するため、より高画質な画像を楽しめます。D端子には対応する信号フォーマットによって、次の種類があります。本機にはD1入力端子が付いています。

- D1端子:525i(480i)の信号に対応
- D2端子:525i(480i)と525p(480p)の信号に対応
- D3端子:525i(480i)と525p(480p)、1125i(1080i)の信号に対応

iはインターレース、pはプログレッシブの略です。()内は有効走査線数で数えたときの別称です。

ID-1方式 (ビデオID-1システム)

ビデオ信号の一部にデジタルのID信号を加算することにより、画面の横縦比(16:9、4:3またはレターボックス)の情報を記録するシステムの名前です。本機はID-1方式に対応しています。ID-1方式対応のビデオカメラやビデオデッキなどを、本機のビデオ1~3入力端子およびBSデコーダー/ビデオ4入力端子につなぐと、ID-1方式の画像となります。ただし、あらかじめビデオカメラなどで「ワイドTV」モードを「入」にして録画した画像に限ります。

MUSE-NTSC (M-N) コンバーター

MUSE方式のハイビジョン放送を現行の放送方式(NTSC)に変換するための機器です。画質は現行の放送方式(NTSC)と同等になります。

NTSC方式

日本やアメリカなどで使われているカラーテレビ方式で、毎秒30コマ、水平走査線数525本などが特長です。アメリカの連邦テレビジョン方式委員会(National Television System Committee)が制定し、1954年に放送が正式に開始されました。欧州や中国などで使われているPAL方式やSECAM方式とは互換性がありません。

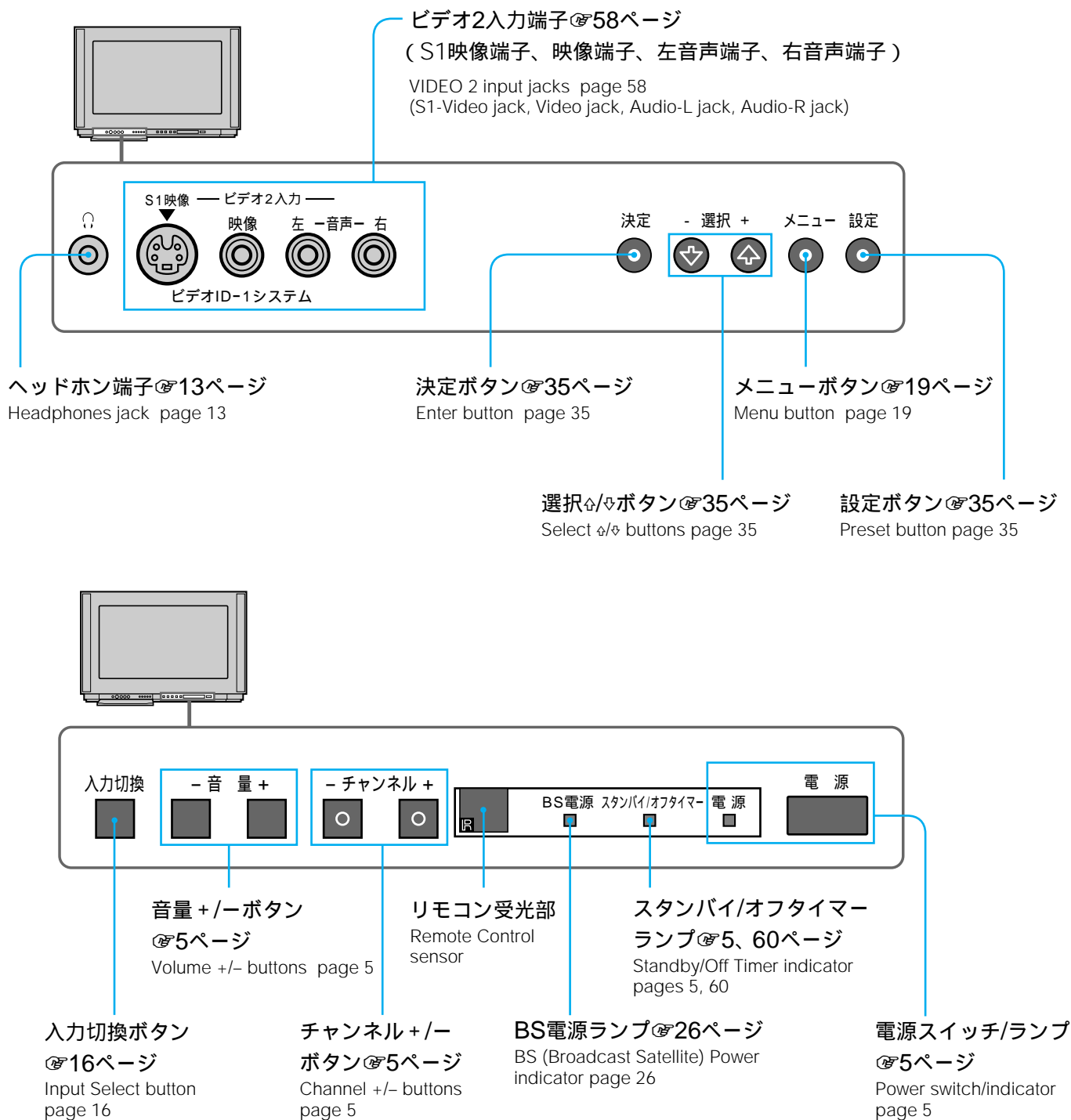
S1方式 (S1映像)

S映像のC端子へ直流5Vを重畳することにより、画面の横縦比(16:9または4:3)の情報を記録するシステムの名前です。本機はS1方式に対応しています。S1映像出力端子が付いたビデオカメラなどを、本機のS1映像入力端子につなぐと、S1方式の画像となります。ただし、あらかじめビデオカメラなどで「ワイドTV」モードを「入」にして録画した画像に限ります。

各部の名前/

Identifying parts and controls

本機前面/TV Front Panel



リモコン/Remote Control

画面表示ボタン ④4ページ
Display button page 4

消音ボタン ④4ページ
Mute button page 4

DRC-MFモード切替ボタン
④7ページ
DRC-MF Mode Selection button page 7

お好み画質ボタン ④6ページ
Favorite Picture button page 6

メニューボタン ④19ページ
Menu button page 19

▲/▼/◀/▶/決定/左拡大/右拡大
④11、19ページ
▲/▼/◀/▶/Select/Left Enlarge/Right Enlarge pages 11, 19

入力切替ボタン ④16ページ
ビデオボタン
コンポーネントボタン
AVマルチボタン
Input Select buttons page 16
Video button
Component button
AV Multi button

BSチャンネルボタン
④5、25ページ
BS (Broadcast Satellite) Channel buttons pages 5, 25

音量 +/- ボタン ④5ページ
Volume +/- buttons page 5

ワイド切替ボタン ④10ページ
Wide Mode Select button page 10

二重音声ボタン ④23ページ
Audio Mode (Bilingual) button page 23

電源スイッチ ④5ページ
Power switch page 5

消費電力ボタン ④8ページ
Power Saving button page 8

メモ ④15ページ
Memo button page 15

インデックスボタン ④14ページ
Index button page 14

2画面/左/右ボタン ④11、12ページ
Picture-and-Picture/Left/Right Picture Operation buttons pages 11, 12

チャンネル数字ボタン
④5ページ
Channel Number buttons page 5

チャンネル +/- ボタン ④5ページ
Channel +/- buttons page 5

オフタイマーボタン ④27ページ
Off Timer button page 27

BS固定ボタン ④25ページ
BS Recording button page 25

▲/▼/◀/▶の使いかた

選択するには

移動させたい方向の矢印の部分を押す

決定するには

真ん中を下に向けて押しこむ

メニュー一覧

リモコンの を押すと出るメニュー

リモコンの を押すと出るメニュー

画質調整 (20ページ)

画質 / 音質 (20ページ)

戻る
DRC-MF: DRC4倍密・標準
お好み画質: リビング
画質調整
音質調整

AVプロ画質調整
戻る
NR: 入
VM: 弱
色温度: 高
Hホワイト: 切
黒補正: 弱
ガンマ補正: 切

音質調整 (22ページ)

音質調整
戻る
高音
低音
バランス

画面モード (19、24ページ)

画面モード
戻る
オートワイド設定
ワイドズーム
ズーム
字幕入
フル
ノーマル

画面モード
ワイドズーム
ズーム
字幕入
フル
ノーマル
画面位置 上下: 0
縦サイズ: 0

2画面 (11ページ)

2画面
戻る
2画面: 入
操作入替: 左操作
左拡大 / 右拡大
ヘッドホンモード: 1

タイマー (27ページ) 時刻設定 (27ページ)

タイマー
戻る
オフタイマー: 切
BS固定: 切
時刻設定
時刻表示: 切

時刻設定
戻る
取消

各種切換 (23、48、53、57ページ)

各種切換
戻る
消費電力: 標準
二重音声: 主
画面表示: 入
AVマルチ画面位置: 0
TV / 独立音声: TV
音像定位: 強

各種切換
消費電力: 標準
二重音声: 主
画面表示: 入
AVマルチ画面位置: 0
TV / 独立音声: TV
音像定位: 強
S映像: 入

本体の を押すと出るメニュー

本体の を押すと出るメニュー

テレビ設定 (35ページ)

テレビ設定
戻る
自動チャンネル設定: 入
チャンネル設定変更
チャンネル表示書換
GR設定変更
バンド: UHF
選局: ダイレクト

チャンネル設定変更 (36ページ)

チャンネル設定変更
戻る CH
1: 1
2: 2
3: 3
4: 4
5: 42
6: 6

チャンネル表示書換 (37ページ)

チャンネル表示書換
戻る CH 表示
7: 7 7
8: 8 8
9: 16 16
10: 10 10
11: 42 42
12: 12 12

GR設定変更 (42ページ)

GR設定変更
戻る CH GR
1: 1 入
2: 2 入
3: 3 入
4: 4 入
5: - 入
6: 6 入

BS設定 (38ページ)

BS設定
戻る
アンテナレベル
アンテナ / ヒアイ: デコーダー
デコーダー入力切換
BSアンテナ電源: オート

アンテナレベル (39ページ)

アンテナレベル
戻る
ビ・ブ音: 切

音声設定 (24ページ)

音声設定
戻る
オートステレオ: 入

デコーダー入力切換 (54ページ)

デコーダー入力切換
戻る
BS 9: オート
BS 11: オート
BS 13: オート
BS 15: オート

初期設定 (43、48ページ)

初期設定
戻る
ビデオ出力設定: ビデオなし
方角補正 回転: 0
方角補正 上下: 0

- メニューは↑/↓/←/→で選び、真ん中を押さむかまたは▶で決定します。
- 黄色で表示される部分が選ばれています。
- 黒色で表示される部分は選べません。

索引

五十音順

あ行

インデックス	14
衛星放送	BS参照
オートワイド	9
切る	19
設定する	19
お好み画質	6
オフタイマー	27
音質調整	22
音像定位	23

か行

各部の名前	68
画質調整	20
画像の傾き補正	43
画面位置調整	
“プレステーション”の画面位置調整	57
ワイド画像の上下位置調整	24
ケーブルテレビ	36
ゲーム	57
ゴースト・リダクション	42
コンポーネント	58

さ行

時刻表示	27
自己診断表示	60
字幕入	9
主音声	23
消音	4
消費電力	8
ズーム	9
接続する	
オーディオ機器	59
端子の名前とはたらき	45
デジタルCSチューナー	56
テレビ(VHF/UHF)アンテナ	32
テレビゲーム	57
早わかり	30
ビデオ機器	47
“プレステーション”	57
BSアンテナ	34
BSデコーダー(WOWOW)	51
DVDプレーヤー	58
MUSE-NTSCコンバーター	54

設定する

選局方法	40
チャンネル	35
デコーダー入力切り換え	40、54
S映像切り換え	48
節電	8

た行

ダイレクト選局	40
縦サイズ調整	24
チャンネル合わせ(設定)	35
自動設定	35
手動設定	36
ダイレクト選局	40
10キー選局	40
チャンネル表示書き換え	37
調整	
音質調整	22
画質調整	20
ワイド画面	24
BSアンテナレベル	39
デジタル・リアリティー・ クリエーション:マルチファンクション (DRC-MF)	7
デジタルCS放送	56
テレビ(VHF/UHF)アンテナの接続	32
テレビゲーム	57
独立音声放送(St.GIGA)	53

な行

二重音声	23
入力切換	16
ノーマル	9

は行

ビデオ	
接続する	47
見る	16
副音声	23
付属品	29
フル	9
“プレステーション”	57
ヘッドホンモード	13

ま行

メニュー一覧	70
メモ	15

ら行

リモコン	
各部の名前	69
電池を入れる	29

わ行

ワイド切換	10
ワイドズーム	9

数字・アルファベット順

数字

2画面	11
10キー選局	40

アルファベット

AVマルチ画面位置	57
BS(衛星放送)	
裏録画する	25
設定する	38
見る	5
予約録画	25
録画のための接続	49
BS固定	25
BSアンテナ	34
アンテナレベルを調整する	39
接続する	34
BSアンテナ電源	38
BSデコーダー(WOWOW)	51
CATV	36
D端子	67
DRC-MF	7
DVDプレーヤー	58
GR(ゴースト・リダクション)	42
MUSE-NTSCコンバーター	54
S映像切り換え	48
St.GIGA	53
VHF/UHFアンテナ	32
VHF/UHFのチャンネル設定	35
WOWOW	51

万一、異常が起きたら

- 煙が出たら
- 変なにおいや音がしたら
- 内部に異物が入ったら
- 音は出るが画面が映らないときは
- テレビを落としたり、キャビネットを破損したときは



- ① 電源を切る
- ② 電源プラグをコンセントから抜く
- ③ お買い上げ店またはソニーサービス窓口にて修理を依頼する

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35

お問い合わせはおお客様相談センターへ

●東京(03)5448-3311 ●名古屋(052)232-2611 ●大阪(06)6539-5111

Sony online <http://www.world.sony.com/>

「Sony online」は、インターネット上のソニーのエレクトロニクスとエンターテインメントのホームページです。

この説明書は再生紙を使用しています。